

令和6年度 全国学力・学習状況調査
報 告 書

令和6年10月

香川県教育センター

目 次

はじめに	1
令和6年度 調査結果を踏まえた授業改善の重点	2
調査の結果から見られる特徴	4
I 特集	7
特集1 「児童生徒主体の学び」	8
特集2 「ICTの活用場面」	10
特集3 「教職員の支え合う集団づくり」	11
特集4 「開かれた学校づくり」	12
II 調査の概要	13
令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について	14
数値、グラフ等を見るうえでの留意点	16
香川県重点項目に関わる質問事項	18
III 調査結果（概論）	19
全体的な状況	20
正答数分布	21
無解答率	23
香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問調査】	24
香川の児童生徒質問調査 選択肢別の平均正答率	26
香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問調査】	29
Question 1 「学習意欲に関わる質問項目」	32
Question 2 「言語活動に関わる質問項目」	34
Question 3 「学習習慣に関わる質問項目」	35
Question 4 「自己有用感等に関わる質問項目」	36
Question 5 「学校生活に関わる質問項目」	38
Question 6 「ICTの活用に関わる質問項目」	40
IV 教科に関する調査結果及び分析	41
1 小学校国語	42
2 小学校算数	50
3 中学校国語	58
4 中学校数学	66
5 理科・英語	74
◇ 「個別最適な学び」の充実に向けて	76
V 質問調査結果（児童生徒質問調査・学校質問調査）	77
1 児童生徒質問調査 結果一覧	78
2 児童生徒質問調査 回答結果グラフ	83
3 学校質問調査 結果一覧	98
4 学校質問調査 回答結果グラフ	104

はじめに

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度に始まり、令和 6 年度の実施で合計 16 回を数えることになりました。

その間、東日本大震災の影響（平成 23 年度）や、新型コロナウイルス感染症の影響（令和 2 年度）で実施が見送られた年はあったものの、「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」「教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る」という調査の目的は一貫して継続されています。

令和 6 年度調査の特徴は、児童生徒質問調査について、全面的に児童生徒の活用する ICT 端末を用いたオンラインによる回答方式で実施されたことです。

県教育委員会では、本県の状況を全国との関係の中でより具体的に示し、課題が浮き彫りとなるよう、教科に関する調査だけでなく、児童生徒質問調査や学校質問調査も含めて、それぞれについて分析し、その結果をまとめています。今年度は、以下の点を工夫して報告書を作成しました。

- 冒頭に、「調査結果を踏まえた授業改善の重点」を示しています。
- 「調査の結果から見られる特徴」を、見開き 2 ページにまとめています。
- 香川の結果に特徴の見られる質問とつないで、4 つの特集記事「児童生徒主体の学び」「ICT の活用場面」「教職員の支え合う集団づくり」「開かれた学校づくり」を作成しました。
- これまでの課題としての香川県重点項目に関する 6 つの事項を Q & A で整理しています。
- 特集および Q & A のページは、どのように改善すれば回答状況が変化するのか、学校の取組の状況と児童生徒の学習の状況を捉え、今後の方針を「コラム」で提案しています。

なお、昨年度と同様に本報告書に掲載した設問や質問の結果について、自校のデータを表やグラフに表示する「活用ツール」を当センター Web サイトに掲載しています。

各市町（学校組合）教育委員会や各学校におかれましては、本報告書や「活用ツール」も活用いただき、市町（学校組合）教育委員会や自校の現状把握・分析・改善とともに、同一校区内の小・中学校間の連携にも取り組んでいただきますようお願いいたします。

当センターといたしましても、指導主事が直接学校に出向き、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞご相談ください。

令和 6 年 10 月

香川県教育センター
所長 福田 宏志

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

1 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

令和3年1月の『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」において、コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめとする社会の急激な変化の中で再認識された学校の役割や課題を踏まえ、2020年代を通じて実現を目指す学校教育として「令和の日本型学校教育」が、また、その具体的な姿として「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」が示されました。本県においても、この「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業改善が熱心に展開されています。

ここでは、この度の全国学力・学習状況調査における教科に関する調査問題から何うことのできる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けての授業改善のポイントについて考えていきます。

2 教科に関する調査から伺える授業改善の視点

(1) 課題が見られる設問からの授業改善

教科に関する調査結果をみると、平均正答率の低い設問を把握することができます。通常、授業改善はこのような課題が見られる設問について、その趣旨を確認することから始まります。それぞれの設問には、出題の意図があり、設問を通してどのような力を把握しようとしているのかを確認することができます。課題が見られる設問があるということは、その設問で把握しようとした力に課題があるということであり、日々の授業を改善し、それを育む必要があるということになります。授業改善に当たっては、そのような課題が見られる力を育むための学習活動等を授業の中に取り入れていくこととなります。このような授業改善の方策については、具体的に本報告書の中にも掲載しておりますし、国の報告書の中でも扱われておりますので、ぜひ参考にしていただきたいと思います。

(2) 設問が示す学習場面からの授業改善

加えて、教科に関する調査における設問には、授業における学習場面や学習する児童生徒の姿が示されています。それらを考察することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に係る授業改善の視点を見出すことができます。具体例を挙げながら、確認していきます。

① 自己選択・自己決定の機会

アの設問には、「山岡さんは、国語の時間に【フィルターバブル現象の資料】をもとに、グループで話題を決めて話し合っています。」という学習場面が示されており、その中で下線部のように、児童生徒がやり取りの中で、話題を決定している様子が示されています。ここからは、児童生徒一人一人の問いから、グループで学びたい話題を自己選択・自己決定できるよう、学びを生徒に委ねていることが伺えます。

これは、児童生徒一人一人の興味・関心に応じた学習活動を提供するものであり、このことは、児童生徒が自身の学びを自己調整することにつながります。

【話し合いの1部】

山岡さん: 皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。

今井さん: 私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、趣味にしている将棋に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。

山岡さん: 〈解説〉の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、話題を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。

今井さん: 身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

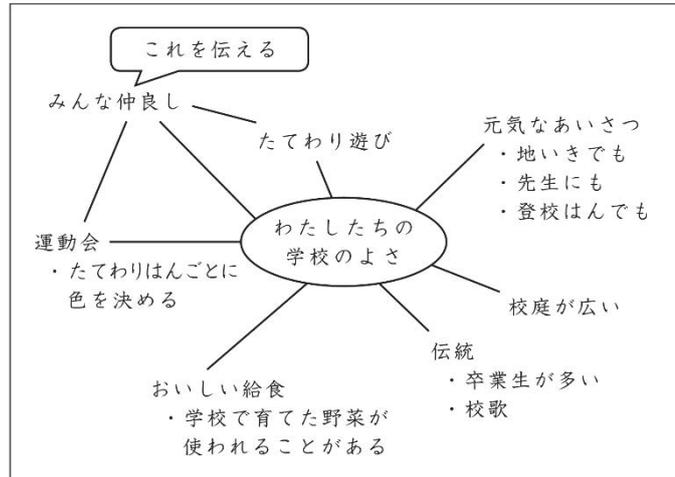
ア R6中学校国語設問 1 より(一部抜粋)

② 個別の表現の機会

イの設問には、「高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことに決めました。」という学習場面が示されています。

個々の児童生徒が、「わたしたちの学校のよさ」について、自分自身がとらえる学校のよさをメモとして自由に表現できる活動を単元の中に位置付けていることが伺えます。その様な個別の表現を通して、自分が一番伝えたい学校のよさを見いだすことができ、「文章に書いて伝えたい」という意欲を高めている様子が示されています。

【高山さんのメモ】



イ R6小学校国語設問 2 より(一部抜粋)

③ 協働的な問題解決の機会

ウの設問には、「海斗さんと咲希さんは、安全性を高めるためにセンサーで障害物を感知して止まる自動車があることを知り、興味を持ちました。そこで、車型ロボット用のプログラムによって走らせることのできる車型ロボットを使って実験をすることにしました。」という学習場面が示されています。興味をもったことに対して、二人で協働的に問題解決を進めていくのですが、その過程で、それぞれの問いにあわせて別々の実験を進めたり、二人で解決策を求めて話し合ったりする様子が示されています。これらの様子から、単元を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実していく姿が伺えます。

車型ロボットの説明

○ 障害物からの距離を測定できるセンサーがついている。

○ プログラムの ⑦、④ に値を入れることによって、車型ロボットの速さと、障害物からの距離を設定し、車型ロボットの動きを止めることができる。

○ ⑦ は、速さとして最も遅い段階1から最も速い段階5まで設定できる。

○ ④ は、距離として3cmから500cmまで設定できる。

ウ R6中学校数学設問 7 より(一部抜粋)

このように、設問が示す学習活動の様子を詳しく考察することで、授業における「個別最適な学び」や「協働的な学び」の具体的な姿を確認することができ、授業づくりや単元づくりのヒントを得ることができます。設問が示す学習活動や児童生徒の学習の姿からも、国が求めている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善に向けてのメッセージを読み取ることができるのです。

【個別最適な学び】

個別最適な学びは、次の通り「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つにより整理されています。

指導の個別化

教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなど

学習の個性化

子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整すること 令和の日本型学校教育の構築を目指して(答申)より

個別最適な学びを充実させるためには、子供の学びが教師から与えられた単線ではなく、子供の興味・関心や特性に応じて自己選択・自己決定できるよう選択肢を増やすなど、複線となるよう支援する必要があると言われています。





調査の結果から見られる特徴

教科に関する調査

国語

自分の考えが伝わるように表現を工夫することや、目的や状況に応じて質問しながら内容を捉えることに、課題が見られた。

- 小学校国語では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が54.7%であった。(€ p49)
- 中学校国語では、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率が59.5%であった。(€ p64)

算数・数学

図形の構成要素に着目し、考えることや、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに、課題が見られた。

- 小学校算数では、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかをみる問題の正答率が31.5%であった。(€ p56)
- 中学校数学では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題の正答率が17.1%であった。(€ p72)

質問調査

学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる取組が進んでいる。

- ・「^{□31}学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、R4年度以降、増加傾向が見られる。(€3p8、34、79、89)

「自分には、よいところがあると思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合が増えている。

- ・「^{□9}自分には、よいところがあると思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、R3年度以降、増加傾向が見られる。(€3p36、78、84)

授業でのICT活用が中学校で進んでいる。

- ・「^{□27}ICT機器を週3回以上使用している」と回答した児童生徒の割合は、R5年度より、小学校で2.5pt減少したが、中学校は10.1pt増加した。(€3p40、79、87)

家庭での時間の使い方に変化が見られる。

- ・「^{□21}普段、1日当たり1時間以勉強している」と回答した児童生徒の割合は、R3年度より、10pt以上減少した。(€3p35、79、86)

I 特 集

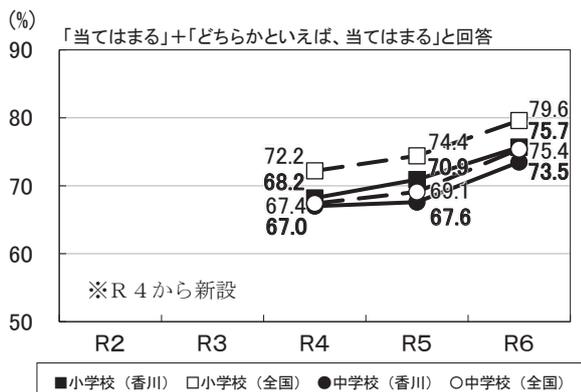
～特集1～

児童生徒主体の学び

1 一人一人に考えを表現する機会を

(1) 学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる取組が進む

□31 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか 【児童生徒質問調査】



Column

「□31 学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」と、肯定的に回答した児童生徒の割合が増加しています。各学校で、「個を活かす協動的な学び」の実現に向けた取組が進んでいると考えられます。

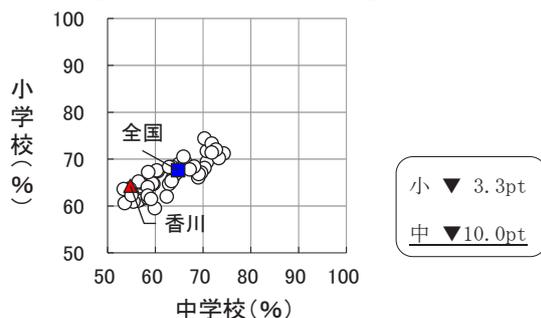
一人一人が学んだことを生かして自分の考えをつくったり、他者との意見交流や対話を通して自分の考えを見直したりすることは、理解を深めるだけでなく、思考力、判断力、表現力等の育成にもつながるのではないのでしょうか。

小学校国語、算数・数学でも、同様の傾向が見られました。

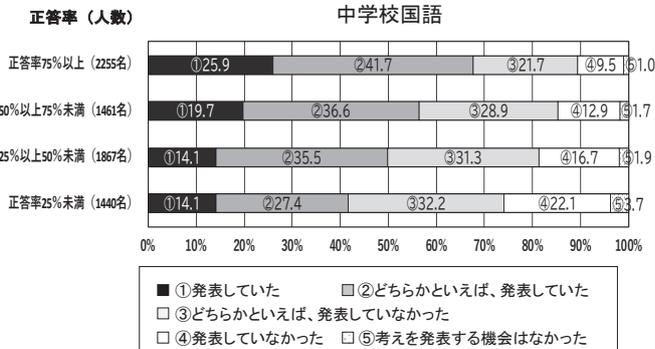
(2) 自分の考えを工夫して発表することに課題

□29 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか 【児童生徒質問調査】

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



教科の正答率と選択肢とのクロス集計



Column

中学校で、「□29 自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」と肯定的に回答した生徒の割合は54.8%でした。また、各教科の正答率が高いほど、「工夫して発表している」と、肯定的に回答しています。

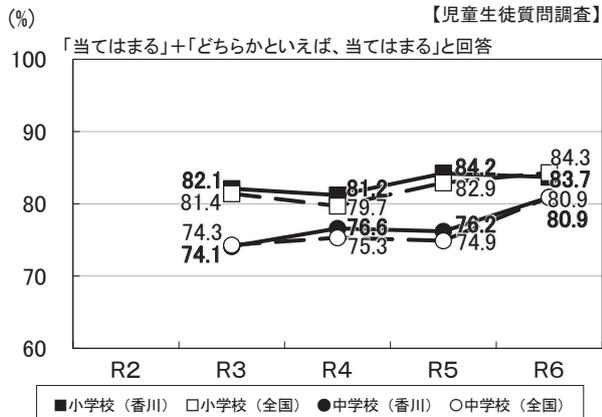
国語科で、発表に向けて、どの資料をどのタイミングで提示するか吟味したり、算数・数学科で、式と図、グラフなどを関連させて解決の方法を発表したりするなど、一人一人が、目的意識や相手意識をもって、活動に取り組めるように課題設定場面でしかけ、全体で発表するだけでなく、一人一人が発言できる機会を設けましょう。



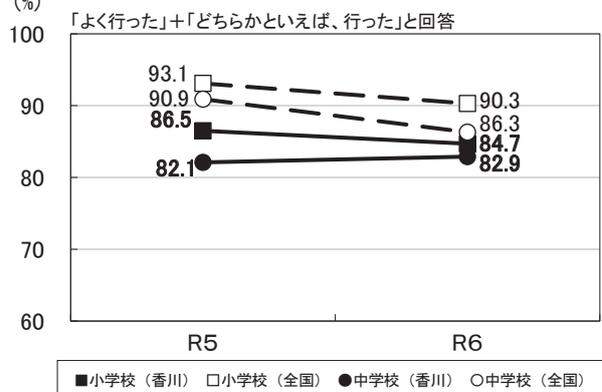
2 授業の中で学び方を学べるように

(1) 個に応じた指導が進む

□32 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



■30 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

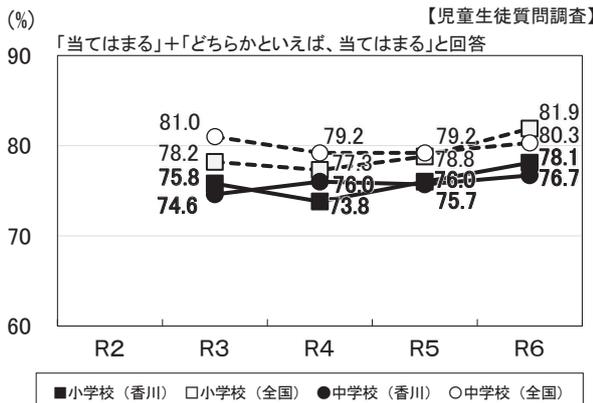


Column

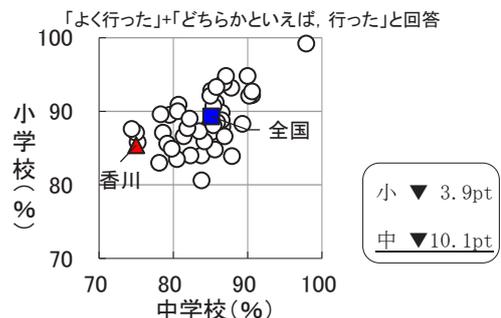
「□32 自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに80%を上回っています。各学校で、個々の特性や学習状況に応じて指導している成果だと考えられます。今後は、解決に向けて粘り強く考えている様子を見守り、「いろんな方法を試しているね」「考えを見直しているね」などと褒め、価値付けるとともに、自己選択・自己決定しながら学べる環境を整えていきましょう。

(2) 主体的に学ぶ取組が増加している今こそ、さらなる充実を

□30 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



■33 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



Column

「□30 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに増加しています。今後さらに、児童生徒主体の学びを進めるには、授業を通して、見通しのたて方を学び、自分たちで学びを計画する力の育成が必要です。

問題や学習課題を提示するだけでなく、子供自身が問いを見出し、見通しをもって取り組めるように、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う場を設け、やりとりの中で、「何を解決するのか」「どうすれば解決できそうか」を明確にする活動を取り入れるとよいでしょう。

～特集3～

教職員の支え合う集団づくり

チームで支える環境が資質向上につながる

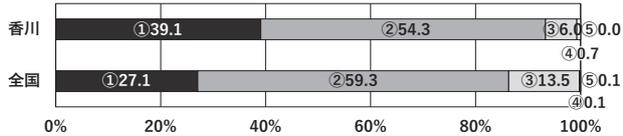
(1) 教職員の資質向上に向けた取組に特徴

 P104、105

【教員の専門性を高める研修】

■18 個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む) 【学校質問調査】

【小学校】



【中学校】



- ① よくしている
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない
- ⑤ その他・無回答

Column

「■18 自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している」と肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに、全国を上回っています。多忙な日々であっても、自らの資質向上を目指して、熱心に学ぶ先生方の姿が伺えます。

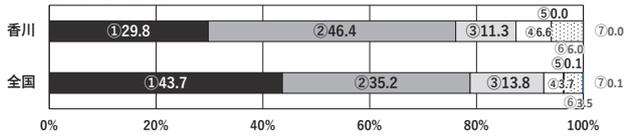
個々の教員が校外の研修等に参加して身に付けたことを、日々の授業改善に生かすだけでなく、互いに授業を見せ合うなど、現職教育の充実を図ることが大切です。

(2) チームで支える職場の雰囲気づくりが進む

【授業で問題を抱えた教員への対応】

■9 前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか 【学校質問調査】

【小学校】



【中学校】

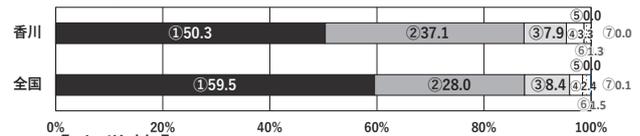


- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度行った
- ④ 年に数回程度行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

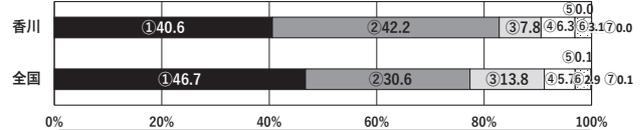
【学級の問題を抱えた教員への対応】

■10 前年度に、教員が学級で問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか 【学校質問調査】

【小学校】



【中学校】



- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度行った
- ④ 年に数回程度行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

Column

「■9 授業で教員が問題を抱えている場合」に「月に数回程度以上、率先して話し合いを行った」と回答した学校の割合は、小学校は約80%、中学校は約60%でした。日々の授業や生徒指導上の問題について、困ったことを相談し、助言を受けて改善したり、共に問題を解決したりする経験は、個々の資質向上につながります。

そして、このような雰囲気を醸成するには、校内研修や学年団会といった会議の場だけでなく、気軽に相談できる職場の環境づくりが大切です。



開かれた学校づくり

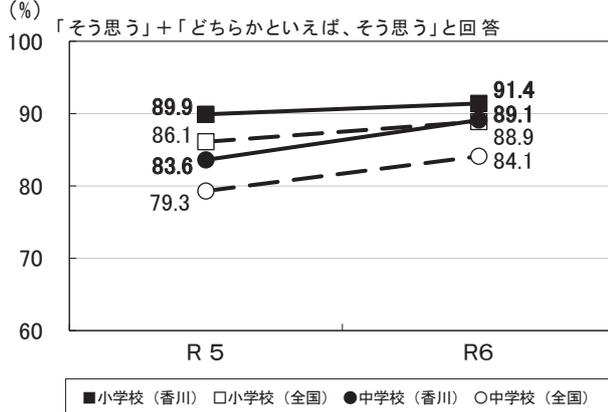
小中で教科の教育課程の接続を考える

(1) 学校と地域や保護者の相互理解が進む

 P87, 117

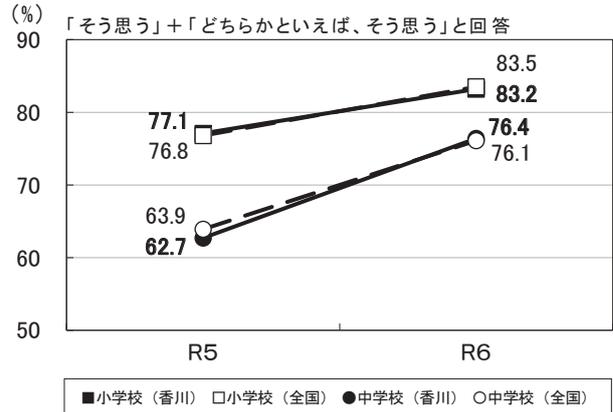
【学校と地域や保護者の相互理解】

■70/74 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか 【学校質問調査】



【児童生徒の意識】

□25 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか 【児童生徒質問調査】



Column

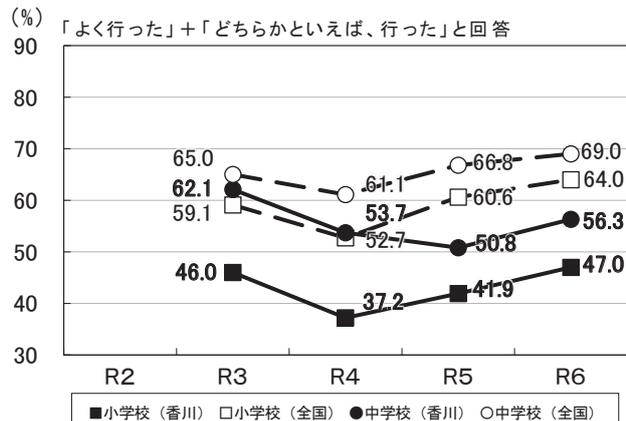
「■70/74 学校と地域や保護者の相互理解は深まった」と、肯定的に回答した学校の割合は、昨年度より増加し、全国を上回っています。登下校の見守りや、家庭科の補助、総合的な学習の講師など、各校で学校と地域が力を合わせて子供たちのよりよい環境づくりに取り組まれてきた成果ではないでしょうか。このことが、「□25 地域や社会をよくするために何かしてみたい」という子供たちの思いを高めているかもしれません。

今後、学校のマネジメント等に係る業務を専門的に支援するための人材が配置され、さらに充実した協働体制が整えられることが期待されています。

(2) 小中連携、再び

 P116

■68/72 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか 【学校質問調査】



Column

「■68/72 近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」と、肯定的に回答した学校の割合は、R4 年度以降、増加傾向にあります。

各地区で、英語教育での小中連携など、長期的な視野で教育活動が行われているのではないのでしょうか。

その際、児童生徒に身に付けさせたい力を学習到達目標として明確に示すことで、目標達成に向けた授業の実現及び指導と評価の一体化が一層推進されます。目指す子供の姿について交流する機会を設けることが大切です。

Ⅱ 調査の概要

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（公立大学附属学校）を含む。
 - ア（小学校調査）小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
 - イ（中学校調査）中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

(3) 調査事項

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

【出題内容】 ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 イ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
【調査問題】 ・上記アとイを一体的に問う。 ・記述式の問題を一定割合で導入する。

② 質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

※ 児童生徒質問調査は、原則全ての児童生徒を対象に、オンライン方式により実施。

(4) 調査実施日

令和6年4月18日（木）

(5) 調査を実施した本県の県立及び市町立学校数、児童生徒数

	学校数	児童生徒数 (国語)	児童生徒数 (算数・数学)	児童生徒数 (質問調査)
小学校調査	151校	7,552人	7,556人	7,602人
中学校調査	64校	7,206人	7,220人	7,212人

※ 本報告書では、国立、私立を除いた公立小・中・特別支援学校の結果を掲載している。

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれの結果として、以下の事項等を示す。

(1) 教科に関する結果

- ① 国語、算数・数学のそれぞれの教科（以下「各教科」という。）に係る問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 各教科の平均正答数等の分布等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 各教科の設問ごとの解答類型別児童生徒数の割合

(2) 児童生徒質問調査及び学校質問調査の結果

- ① 児童生徒質問調査及び学校質問調査の回答状況
- ② 児童生徒質問調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
- ③ 学校質問調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

(3) その他、調査目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力の基に適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省は、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委員会及び学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めることとする。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

その際、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値、グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度より実施(平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度・令和 2 年度は未実施)されているが、本報告書では、過去 5 年間(令和 2 年度以降)の回答状況を分析している。

なお、「全国的な学力調査の今後の改善方策について」(平成 29 年 3 月 29 日)では、「平均正答率については、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、国としては、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を提供することとする。」とされており、平成 29 年度から都道府県別の平均正答率については、国から整数値で提供されている。

■ 2 数値について

表記された数値は、端数処理のため 0.1 の誤差が生じることがある。

■ 3 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 4 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】

- ・ □ は、児童生徒質問調査を示す
- ・ ■ は、学校質問調査を示す
- ・ 数 / 数 は、(小学校の番号) / (中学校の番号)を示す

- ・ 質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問調査と学校質問調査を次のように文字の背景色で区別している

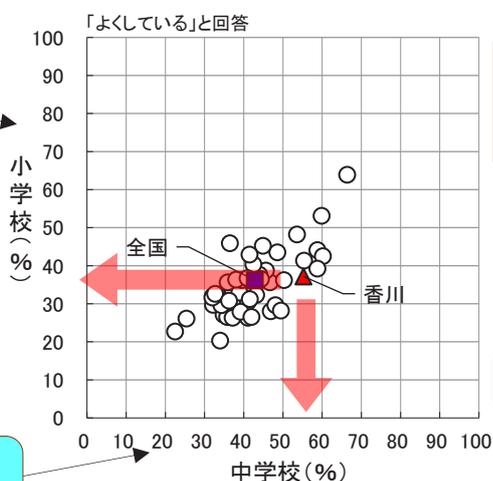
児童生徒質問調査 → ○○○○
 学校質問調査 → ■■■■

【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

考え、議論する道徳の指導

■ 40/40 特別の教科 道徳において、児童(生徒)自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

縦軸は小学校の割合



▲は、香川県を、
■は、全国の結果をプロットしたものである

・ 香川県と全国の差を「n」で示す

$$n = (\text{香川県}) - (\text{全国})$$

(例)

◎	$5 \leq n$	◎7.2pt
○	$3 \leq n < 5$	○4.8pt
○	$0 < n < 3$	○2.3pt
	$n = 0$	○0.0pt
▽	$-3 < n < 0$	▽1.4pt
▼	$-5 < n \leq -3$	▼3.6pt
	$n \leq -5$	▼6.1pt

小 ○1.0pt
 中 ◎12.4pt

横軸は中学校の割合

※ 5 pt 以上の差が見られる場合にはアンダーラインを引いています。

活用ツールで自校のデータを CHECK

本報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。活用ツール(Excelファイル)を使えば、全国と香川県の状況に加え、**自校の状況をグラフや表に表示、経年比較したり、散布図等ファイル内の表を貼り付けて活用したり**することができます。

① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール(Excelファイル)と使用説明(PDFファイル)をダウンロードします。(認証領域にログインが必要です。)

香川県
教育センター
Web サイト



<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/>

② 自校のデータの用意

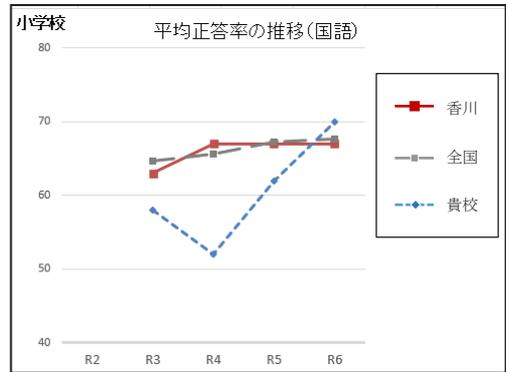
文部科学省指定のWebシステムからダウンロードした調査結果の電子データをコンピュータのデスクトップに展開します。(別途文部科学省から送付されているはがきのパスワードが必要です。)

③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、ボタンを押すと、データを読み込むことができます。

※ 児童生徒質問調査については、質問項目ごとに、全国・県・自校のデータをプロットした散布図と回答状況を示す帯グラフ、令和元年度からの経年変化を示す折れ線グラフが表示されます。

※ 令和5年度から、「英語(話すこと)」のデータの取り込みができるようになりました。自校と全国の比較や、次回以降の経年比較ができるようになります。



Column

学力調査を活用した「カリキュラム・マネジメント」

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査からは、多様なデータを得ることができます。普段から気になっていることについて、根拠を見付けたり、把握していなかった成果や課題に気付いたりすることができるようになります。この2つの調査を学校にとっての定期健診(学校ドック)と考え、十分に活用しましょう。

全国学力・学習状況調査では、国から届いた「各学校の結果データ」や「支援ツール」とともに、香川県教育センターが作成した「活用ツール」や「報告書」等を使って、全国と香川県、そして各学校の状況を比較しながら、自校の良さや課題を明確にしましょう。

分析の際は、次のような観点から学校や児童生徒の状況をみる事で、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(カリキュラム・マネジメントの充実につなぐこと)が大切です。



- 今年度の結果だけでなく、経年変化によって児童生徒の変容を知る。
- 学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連を知る。
- 全国調査と県調査の結果を関連させて、PDCA サイクルを検証する。



活用ツールの使い方だけでなく、調査結果の活用や調査結果を基にした取組等、各学校で困っていることがありましたら、香川県教育センターの「研究相談」や「研修サポート」をご利用ください。

香川県重点項目に関わる質問事項

重点項目	Q & A (ページ)	質問 番号	質問事項
学習意欲	Q 1 (P32)	30	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
		34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
		42	国語の勉強は好きですか
		44	国語の授業の内容はよく分かりますか
		50	算数（数学）の勉強は好きですか
		52	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
言語活動	Q 2 (P34)	29	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		31	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
		33	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
学習習慣	Q 3 (P35)	20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
		21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
		22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
自己有用感等	Q 4 (P36)	9	自分には、よいところがあると思いますか
		10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
		11	将来の夢や目標を持っていますか
		12	人が困っているときは、進んで助けていますか
		13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
		15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
学校生活	Q 5 (P38)	14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
		16	学校に行くのは楽しいと思いますか
		17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
		18	友達関係に満足していますか
ICTの活用	Q 6 (P40)	27	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
		28 (1)～(7)	あなたは、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することをどのように感じていますか
		4	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

Ⅲ 調査結果（概論）

令和6年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【小・中学校】

Point

・教科に関する調査結果について、小学校、中学校で、国語、算数・数学ともに、おおむね全国平均と同等である。

※ 令和2年度は、実施していないためデータなし。

※ 平成29年度から都道府県の平均正答率については、国から整数値で提供されている。

【小学校調査】

令和3年度～令和6年度平均正答率

調査年度	国語				算数			
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 3	R 4	R 5	R 6
香川（公立） 平均正答率（%）	63	67	67	67	71	65	63	64
全国（公立） 平均正答率（%）	65 64.7	66 65.6	67 67.2	68 67.7	70 70.2	63 63.2	63 62.5	63 63.4
香川と全国との 差（pt）	-2	+1	0	-1	+1	+2	0	+1

【中学校調査】

令和3年度～令和6年度平均正答率

調査年度	国語				数学			
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 3	R 4	R 5	R 6
香川（公立） 平均正答率（%）	64	70	70	57	56	55	53	53
全国（公立） 平均正答率（%）	65 64.6	69 69.0	70 69.8	58 58.1	57 57.2	51 51.4	51 51.0	53 52.5
香川と全国との 差（pt）	-1	+1	0	-1	-1	+4	+2	0

令和6年度全国学力・学習状況調査

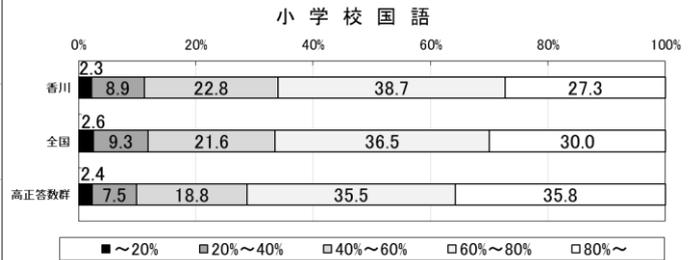
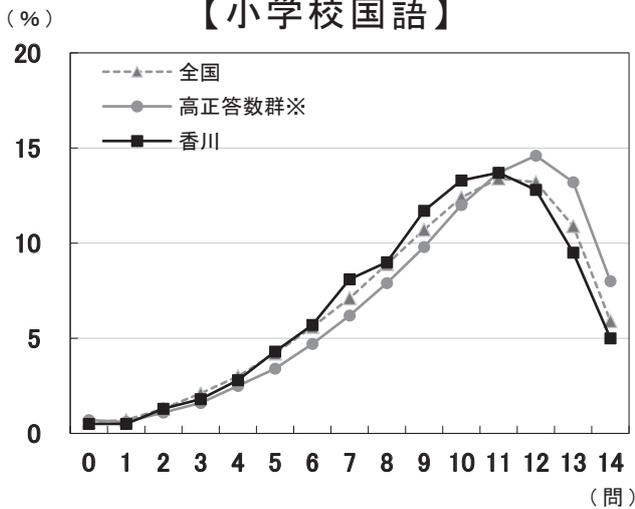
正答数分布【小学校】

Point

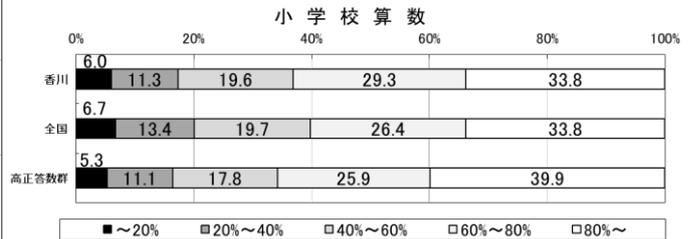
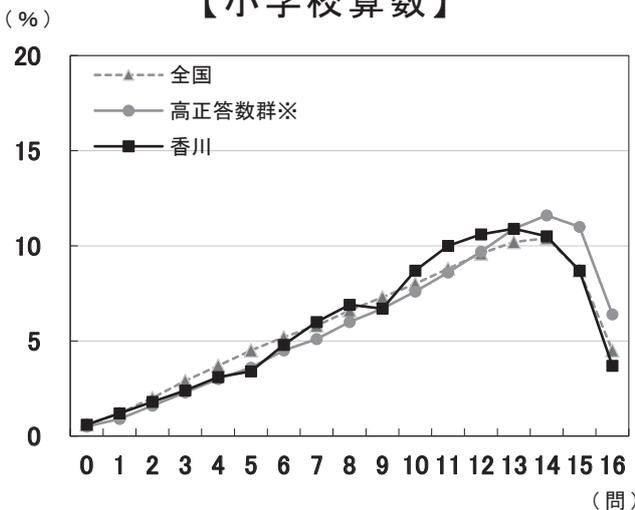
1. 国語、算数ともに、正答率が40%未満の児童の割合は、全国を下回っている。
2. 正答率が80%以上の児童の割合は、国語で全国を下回り、算数で全国と同等である。
3. 高正答率群は、国語、算数ともに、正答率80%以上の区間の割合が、他の区間と比較して最も高くなっている。本県は、国語で、正答率60%～80%の区間の割合が最も高く、算数で、正答率80%以上の区間の割合が、最も高くなっている。

※ 高正答数群：高正答数の5都道府県の平均

【小学校国語】



【小学校算数】



令和6年度全国学力・学習状況調査

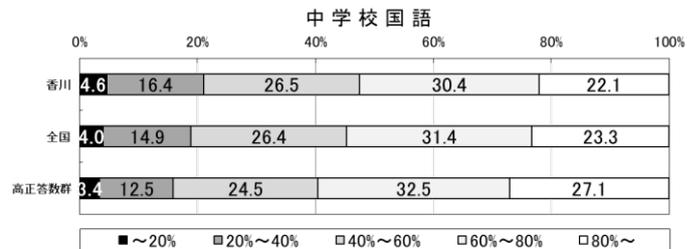
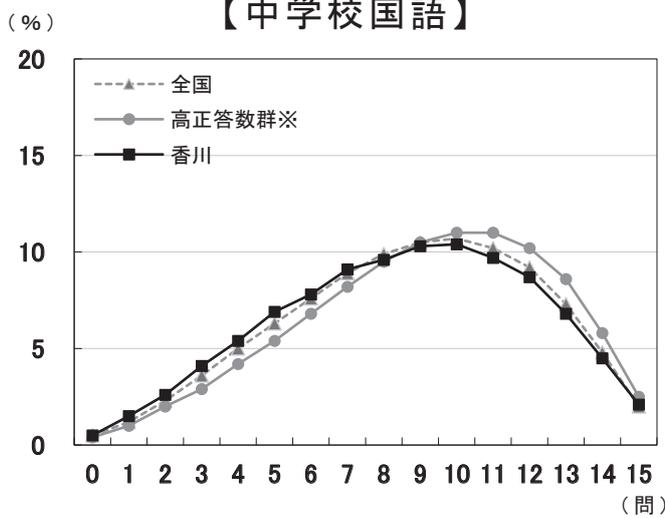
正答数分布【中学校】

Point

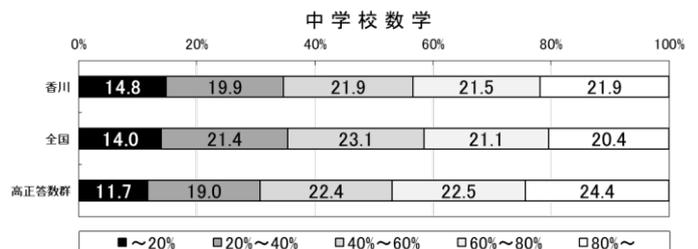
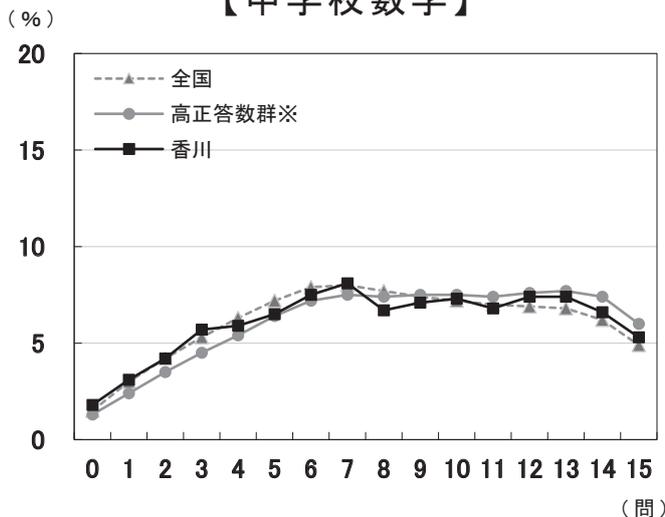
1. 正答率が 40%未満の生徒の割合は、国語で全国を上回っている。数学では、正答率が 40%未満の生徒の割合は全国を下回っているものの、正答率 20%未満の生徒の割合は、全国を上回っている。
2. 正答率が 80%以上の生徒の割合は、国語で全国を下回り、数学で全国を上回っている。

※ 高正答数群：高正答数の5都道府県の平均

【中学校国語】



【中学校数学】



無解答率【小・中学校】

Point

1. 小学校では、無解答率が全国平均を上回った問題はなかった。
2. 中学校では、無解答率が全国平均を上回った問題が、昨年度より多くなっている。
3. 無解答率が高いのは、小・中学校ともに記述式問題であるが、選択式、短答式問題であっても無解答率が高くなった問題があった（P44、52、60、68参照）。

◆ 無解答率が全国平均を上回った問題数

小学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）			
	選択式	短答式	記述式	合計
国語	0 / 10	0 / 2	0 / 2	0 / 14
算数	0 / 5	0 / 7	0 / 4	0 / 16

中学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）			
	選択式	短答式	記述式	合計
国語	7 / 9	1 / 3	3 / 3	11 / 15
数学	4 / 5	5 / 6	4 / 5	13 / 16

◆ 前回の調査における無解答率が全国平均を上回った問題数

小学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）	中学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）
国語（R5）	0 / 14	国語（R5）	8 / 15
算数（R5）	0 / 16	数学（R5）	9 / 15

香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問調査】

Point

- 1.小・中学校ともに、「^{□29}授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国を下回った。
 「^{□27}授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」、「週に3回以上」と回答した児童生徒の割合の合計も全国を下回った。
- 2.小学校では、「^{□21}学校の授業以外に、普段、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、1時間以上、「^{□22}学校が休みの日に、1日当たりどのくらい勉強をしますか」の質問に対して、2時間以上と回答した児童の割合は、どちらも全国を下回った。
- 3.中学校では、「^{□国2}国語の解答時間は十分でしたか」の質問に対して、「余った」「ちょうどよかった」と回答した生徒の割合の合計が全国を上回った。
 「^{□38}総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は全国を下回った。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。質問番号21、22は回答選択肢1+2+3を指す。(回答選択肢一覧…P82)

※ 「R5番号」欄の「新」は、R6年度新たに問われた質問。「R4～」は、R5年度にはなかったが、R4年度にはあった質問。

○肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
国2	96	国2	解答時間は十分でしたか(国語)	5.1	4.9

▽肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
30/30	88	33/37	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	-4.1	-3.8	-1.7	-3.6
29/29	88	32/36	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	-2.4	-3.3	-3.3	-10.0
7/7	84	R4 4/4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-6.2	-3.3	-3.1	-4.0

▽肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

【小学校のみ】

質問 番号	掲載P	R5 番号	質問事項	小学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
42	90	43	国語の勉強は好きですか	-5.5	-8.7
31	89	34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	-3.6	-3.9
9	84	4	自分には、よいところがあると思いますか	-2.0	-3.7
44	91	45	国語の授業の内容はよく分かりますか	-5.9	-3.4
10	84	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	-4.1	-3.2
56	93	新	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	-2.2	-3.0

【中学校のみ】

質問 番号	掲載P	R5 番号	質問事項	中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
38	90	43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-6.5	-7.1
60	94	R4 67	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	-1.4	-4.4
50	92	55	数学の勉強は好きですか	-2.5	-3.8
48	92	新	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	-1.8	-3.2
49	92	新	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	-2.2	-3.0

□頻度に関する回答が3pt以上全国と開きがある質問

【小・中共通】

質問 番号	掲載P	R5 番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
27/27	87	29/33	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	-8.9	-12.1	-16.2	-23.4

【小学校のみ】

質問 番号	掲載P	R5 番号	質問事項	小学校	
				選択肢1+2 の差(pt)	選択肢1+2+3 の差(pt)
21	86	17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	-4.2	-3.9
22	86	18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	-3.6	-3.4

【中学校のみ】 なし

香川の児童生徒質問調査 選択肢別の平均正答率

※ 調査区分全てにおいて、児童生徒質問調査の選択肢別の平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4>回答5>回答6」の関係である調査結果を示す。質問番号5、質問番号23については、「回答1<回答2<回答3<回答4<回答5<回答6」の関係である調査結果を示す。ただし、教科に関する質問を除く。

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
1	朝食を毎日食べていますか	① している	68.7	66.3
		② どちらかといえば、している	62.6	58.5
		③ あまりしていない	58.3	54.0
		④ 全くしていない	53.8	48.8
		差①-④	14.9	17.5
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	① している	68.8	66.6
		② どちらかといえば、している	68.1	66.1
		③ あまりしていない	62.5	57.8
		④ 全くしていない	58.0	50.7
		差①-④	10.8	15.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	① している	68.5	66.0
		② どちらかといえば、している	67.0	64.6
		③ あまりしていない	61.6	58.0
		④ 全くしていない	52.5	42.9
		差①-④	16.0	23.1
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	① 4時間以上	57.3	52.8
		② 3時間以上、4時間より少ない	62.2	59.1
		③ 2時間以上、3時間より少ない	66.6	63.5
		④ 1時間以上、2時間より少ない	69.6	67.9
		⑤ 1時間より少ない	73.6	71.5
		⑥ 全くしない	74.7	73.0
		差①-⑥	-17.4	-20.2
9	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	69.8	67.9
		② どちらかといえば、当てはまる	66.0	62.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.4	61.8
		④ 当てはまらない	63.8	59.2
		差①-④	6.0	8.7
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	68.7	65.8
		② どちらかといえば、当てはまる	64.1	62.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.9	59.3
		④ 当てはまらない	57.9	53.0
		差①-④	10.8	12.8
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	68.5	65.9
		② どちらかといえば、当てはまる	67.4	64.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.6	60.6
		④ 当てはまらない	61.9	58.1
		差①-④	6.6	7.8
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	70.1	67.8
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	64.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.7	62.1
		④ 当てはまらない	62.3	57.5
		差①-④	7.8	10.3
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	① よくある	68.2	65.4
		② ときどきある	66.9	64.5
		③ あまりない	64.9	62.1
		④ 全くない	56.3	51.9
		差①-④	11.9	13.5
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	① できている	70.9	69.3
		② どちらかといえば、できている	67.6	64.7
		③ どちらかといえば、できていない	62.6	59.5
		④ できていない	57.1	53.0
		差①-④	13.8	16.3
24	新聞を読んでいますか	① ほぼ毎日読んでいる	73.2	72.0
		② 週に1~3回程度読んでいる	72.6	70.5
		③ 月に1~3回程度読んでいる	69.1	66.9
		④ ほとんど、または、全く読まない	66.0	63.2
		差①-④	7.2	8.8
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	① 当てはまる	68.4	65.6
		② どちらかといえば、当てはまる	67.2	64.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.3	61.9
		④ 当てはまらない	61.8	59.5
		差①-④	6.6	6.1
28-1	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	① とても思う	69.3	67.3
		② そう思う	67.2	64.4
		③ あまりそう思わない	64.4	61.0
		④ そう思わない	58.9	55.4
		差①-④	10.4	11.9
28-2	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	① とても思う	70.0	67.6
		② そう思う	65.2	62.0
		③ あまりそう思わない	56.9	55.1
		④ そう思わない	56.2	51.5
		差①-④	13.8	16.1
28-3	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる	① とても思う	69.1	66.9
		② そう思う	66.7	63.7
		③ あまりそう思わない	63.3	60.3
		④ そう思わない	58.7	54.4
		差①-④	10.4	12.5
28-4	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	① とても思う	69.2	66.6
		② そう思う	66.5	64.0
		③ あまりそう思わない	62.5	59.0
		④ そう思わない	58.9	54.4
		差①-④	10.3	12.2

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
28-5	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	① とても思う	69.2	67.1
		② そう思う	67.7	64.7
		③ あまりそう思わない	63.9	61.6
		④ そう思わない	59.1	55.2
		差①-④	10.1	11.9
28-6	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	① とても思う	69.8	67.5
		② そう思う	66.4	63.3
		③ あまりそう思わない	61.8	59.7
		④ そう思わない	58.8	55.0
		差①-④	11.0	12.5
28-7	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる	① とても思う	68.0	65.1
		② そう思う	67.0	64.5
		③ あまりそう思わない	66.4	64.3
		④ そう思わない	61.9	57.6
		差①-④	6.1	7.5
29	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた	73.0	71.2
		② どちらかといえば、発表していた	68.3	65.9
		③ どちらかといえば、発表していなかった	63.2	60.0
		④ 発表していなかった	61.3	57.2
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	52.6	47.1
差①-⑤	20.4	24.1		
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	72.7	71.2
		② どちらかといえば、当てはまる	67.7	64.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.5	57.1
		④ 当てはまらない	54.7	50.3
		差①-④	18.0	20.9
31	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	72.0	69.9
		② どちらかといえば、当てはまる	67.3	64.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.6	59.4
		④ 当てはまらない	58.5	54.9
		差①-④	13.5	15.0
32	5年生までに受けた授業は、自分にあった教える方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	70.9	68.8
		② どちらかといえば、当てはまる	66.6	64.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.8	57.9
		④ 当てはまらない	59.8	55.2
		差①-④	11.1	13.6
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	① 当てはまる	71.2	68.5
		② どちらかといえば、当てはまる	66.1	63.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.2	57.1
		④ 当てはまらない	58.3	54.3
		⑤ 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	51.3	49.1
差①-⑤	19.9	19.4		
34	学習した内容について、分かった点や、よく分らなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	71.4	69.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.2	64.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.9	58.2
		④ 当てはまらない	58.0	53.3
		差①-④	13.4	16.0
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	① 当てはまる	70.3	67.9
		② どちらかといえば、当てはまる	66.7	64.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.4	59.2
		④ 当てはまらない	60.2	55.2
		差①-④	10.1	12.7
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	① 当てはまる	69.7	66.8
		② どちらかといえば、当てはまる	66.1	63.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.4	56.6
		④ 当てはまらない	57.7	54.3
		差①-④	12.0	12.5
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	70.5	68.2
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	64.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.6	60.1
		④ 当てはまらない	58.8	54.7
		差①-④	11.7	13.5
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる	68.7	66.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.2	64.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.3	62.5
		④ 当てはまらない	62.8	59.7
		差①-④	5.9	6.6
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	69.2	66.2
		② どちらかといえば、当てはまる	66.2	63.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.7	62.2
		④ 当てはまらない	60.2	57.6
		差①-④	9.0	8.6

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)	
			国語	数学
1	朝食を毎日食べていますか	① している	58.7	55.6
		② どちらかといえば、している	53.7	48.1
		③ あまりしていない	48.3	40.6
		④ 全くしていない	45.5	40.5
		差①-④	13.2	15.1
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	① 4時間以上	46.3	38.9
		② 3時間以上、4時間より少ない	49.5	44.4
		③ 2時間以上、3時間より少ない	54.0	50.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	59.8	57.7
		⑤ 1時間より少ない	64.9	62.3
		⑥ 全くしない	66.3	62.6
		差①-⑥	-20.0	-23.7
9	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	58.2	55.4
		② どちらかといえば、当てはまる	57.6	53.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	55.1	50.0
		④ 当てはまらない	52.4	45.6
		差①-④	5.8	9.8
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	58.1	54.5
		② どちらかといえば、当てはまる	57.4	53.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	52.3	49.2
		④ 当てはまらない	50.2	44.6
		差①-④	7.9	9.9

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)	
			国語	数学
16	学校に行くのは楽しいと思えますか	① 当てはまる	57.7	54.8
		② どちらかといえば、当てはまる	57.5	53.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	56.4	50.7
		④ 当てはまらない	51.8	46.2
		差①-④	5.9	8.6
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか	① 当てはまる	60.2	57.4
		② どちらかといえば、当てはまる	57.3	54.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	53.5	47.9
		④ 当てはまらない	50.5	43.8
		差①-④	9.7	13.6
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	① よくある	58.1	54.2
		② ときどきある	57.2	54.0
		③ あまりない	54.2	49.9
		④ 全くない	47.7	41.3
		差①-④	10.4	12.9
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	① できている	62.8	61.9
		② どちらかといえば、できている	57.7	54.0
		③ どちらかといえば、できていない	49.9	42.9
		④ できていない	43.6	34.6
		差①-④	19.2	27.3
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	① 4時間以上	63.2	62.0
		② 3時間以上、4時間より少ない	61.7	60.5
		③ 2時間以上、3時間より少ない	60.4	57.5
		④ 1時間以上、2時間より少ない	58.7	54.5
		⑤ 1時間より少ない	53.9	50.0
		⑥ 全くしない	46.5	39.4
		差①-⑥	16.7	22.6
23	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)	① 0~10冊	47.4	42.5
		② 11~25冊	55.4	50.9
		③ 26~100冊	59.1	55.5
		④ 101~200冊	61.3	58.4
		⑤ 201~500冊	64.7	61.6
		⑥ 501冊以上	65.2	65.4
		差①-⑥	-17.8	-22.9
29	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた	63.1	61.8
		② どちらかといえば、発表していた	60.6	57.9
		③ どちらかといえば、発表していなかった	53.6	48.9
		④ 発表していなかった	49.4	42.6
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	45.9	38.6
差①-⑤	17.2	23.2		
30	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	64.1	63.3
		② どちらかといえば、当てはまる	57.8	54.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	49.0	42.1
		④ 当てはまらない	39.9	29.3
		差①-④	24.2	34.0
31	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	62.8	60.8
		② どちらかといえば、当てはまる	58.0	54.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	51.2	45.7
		④ 当てはまらない	44.5	38.7
		差①-④	18.3	22.1
32	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	61.2	60.1
		② どちらかといえば、当てはまる	57.8	53.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	50.2	44.7
		④ 当てはまらない	46.5	38.4
		差①-④	14.7	21.7
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	① 当てはまる	61.0	58.6
		② どちらかといえば、当てはまる	57.3	53.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	49.0	44.6
		④ 当てはまらない	43.5	34.7
		⑤ 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	39.9	31.9
差①-④	17.5	23.9		
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	62.5	61.3
		② どちらかといえば、当てはまる	57.7	53.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	51.0	44.9
		④ 当てはまらない	43.0	35.6
		差①-④	19.5	25.7
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思えますか	① 当てはまる	60.4	57.8
		② どちらかといえば、当てはまる	57.5	53.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	52.4	47.2
		④ 当てはまらない	49.1	42.4
		差①-④	11.3	15.4
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださっていると思えますか	① 当てはまる	59.7	57.4
		② どちらかといえば、当てはまる	56.8	52.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	53.5	48.4
		④ 当てはまらない	47.8	42.1
		差①-④	11.9	15.3
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	① 当てはまる	59.3	56.4
		② どちらかといえば、当てはまる	56.8	52.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	49.8	43.9
		④ 当てはまらない	43.9	35.7
		差①-④	15.4	20.7
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	60.1	57.5
		② どちらかといえば、当てはまる	57.8	54.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	53.4	49.0
		④ 当てはまらない	49.8	42.0
		差①-④	10.3	15.5
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる	59.2	56.0
		② どちらかといえば、当てはまる	56.7	53.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	54.2	49.5
		④ 当てはまらない	52.2	45.7
		差①-④	7.0	10.3
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる	58.4	55.6
		② どちらかといえば、当てはまる	57.0	53.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	56.4	51.4
		④ 当てはまらない	53.1	47.9
		差①-④	5.3	7.7
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	59.2	55.5
		② どちらかといえば、当てはまる	56.4	52.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	49.1	45.8
		④ 当てはまらない	46.2	40.2
		差①-④	13.0	15.3

令和6年度全国学力・学習状況調査

香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問調査】

Point

- 「^{18/18}個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか」の質問に肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回った。
- 近隣の学校、家庭との連携に関する項目の一部で、肯定的に回答した学校の割合が、小・中学校ともに全国を下回っているものが見られる。
- ICTの活用頻度に関する項目の一部で、「ほぼ毎日」と「週3回以上」と回答した学校の割合の合計が、小・中学校ともに全国を下回っているものが見られる。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P103)

※ 「R5番号」欄の「新」は、R6年度新たに問われた質問。「R4～」は、R5年度にはなかったが、R4年度にはあった質問。

○肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
18/18	105	24/24	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	12.0	7.0	3.8	6.5

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
10	104	15	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たったことを行いましたか	-6.1	5.5
74	117	82	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	-2.0	5.0

▽肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
68/72	116	67/75	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	-6.9	-17.0	-2.9	-12.7
63/67	115	62/70	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	-16.0	-14.8	-14.7	-21.4
76/80	118	80/88	令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	-17.5	-14.0	-12.4	-17.6
40/40	109	R4 38/38	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	-9.4	-11.6	-10.6	-17.8
35/35	108	35/35	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	-4.7	-6.9	-8.5	-12.9
72/76	117	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	-6.2	-6.3	-16.9	-16.8

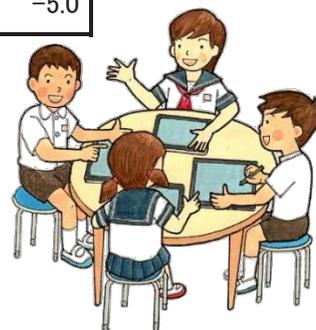
【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
52	112	49	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	-5.4	-10.5
73	117	77	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	-11.8	-9.0
30	107	31	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	-11.3	-5.6
38	109	39	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	-2.3	-5.2

▽肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

【中学校のみ】

質問 番号	掲載P	R5 番号	質問事項	中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
29	107	新	調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	-6.3	-25.6
36	108	37	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-17.4	-12.8
51	112	R4 51	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	-12.1	-12.2
34	108	34	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	-8.2	-11.6
46	111	47	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	-8.6	-10.7
33	108	33	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れられましたか	-15.2	-10.1
59	113	62	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	-17.9	-9.6
54	112	51	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	-12.3	-9.0
53	112	50	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	-13.7	-8.7
58	113	61	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか	-12.9	-7.9
41	109	新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか	-9.9	-7.9
14	105	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-17.2	-7.4
45	111	46	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-5.1	-7.2
52	112	49	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	-8.5	-7.0
9	104	14	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	-8.3	-6.9
15	105	21	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	-9.7	-6.7
12	104	新	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	-19.8	-6.5
49	111	R4 49	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	-14.2	-6.4
70	116	73	障害のある生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援をどの程度行いましたか	-1.8	-6.2
26	107	27	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	-3.7	-6.1
24	106	新	ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか	-13.6	-5.1
78	117	86	令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	-3.7	-5.1
37	109	38	調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	-9.8	-5.0



○頻度に関する回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

				中学校	
質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
73	117	78	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	-17.4	-8.2

※ 選択肢1：「実施していない」
選択肢2：「1日」

※ 質問番号73については、選択肢1：「実施していない」、選択肢2：「1日」となっているため、数値が小さいほど全国を上回ると表記している。

▽頻度に関する回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

				小学校		中学校	
質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
64/68	115	63/71	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	-14.0	-25.0	-21.9	-34.5
61/65	114	60/68	調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-8.0	-14.3	-7.0	-12.5
59/63	114	58/66	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-6.3	-14.0	-15.5	-24.6
58/62	114	57/65	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-3.8	-13.4	-13.1	-20.6
60/64	114	59/67	調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-7.5	-13.2	-7.5	-20.8
65-1/ 69-1	115	64-1/ 72-1	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校児童に対する学習活動等の支援((65-2/69-2)の授業配信を含む)	-4.7	-10.4	-15.8	-19.8
57/61	114	56/64	調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-13.5	-8.4	-14.2	-17.2
65-4/ 69-4	115	64-3/ 72-3	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)外国人児童に対する学習活動等の支援	-5.0	-7.1	-3.5	-7.8
65-6/ 69-6	116	64-5/ 72-5	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(6)児童に対するオンラインを活用した相談・支援	-5.1	-7.0	-4.2	-6.5
65-2/ 69-2	115	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)希望する不登校児童に対する授業配信	-4.4	-5.8	-16.2	-20.0

【小学校のみ】

				小学校	
質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
65-5	116	64-4	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童の心身の状況の把握	-7.6	-8.7

【中学校のみ】

				中学校	
質問番号	掲載P	R5番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
60	113	63	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	-28.4	-11.1
69-3	115	72-2	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)特別な支援を要する生徒に対する学習活動等の支援	-10.3	-8.3

Question 1
学習意欲
に関する
質問項目

「学習意欲」に関する質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

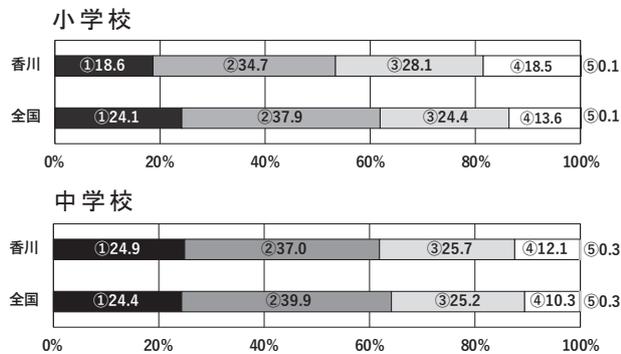
- 「⁴²国語の勉強は好きですか」「⁴⁴国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校では横ばいであるが、中学校では令和3年度以降最も高くなっている。
- 「⁵⁰算数（数学）の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より減少した。「⁵²算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度と同等であった。
- 「³⁰5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「³⁴学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より増加した。

1 国語に対する意識

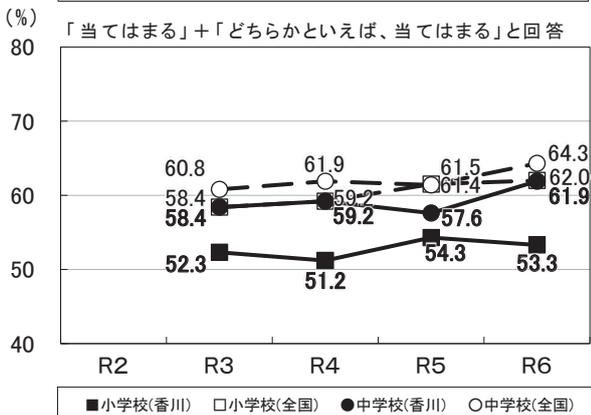


□42 国語の勉強は好きですか

【児童生徒質問調査】

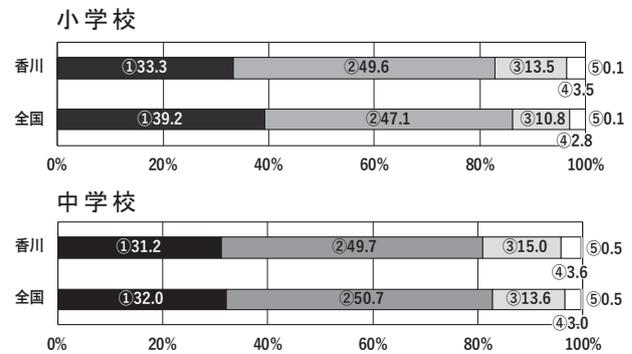


- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

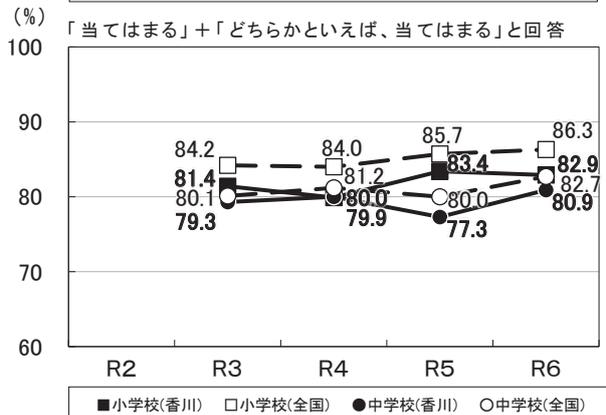


□44 国語の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問調査】

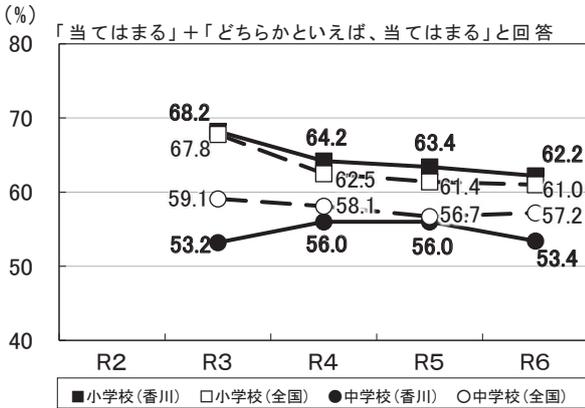
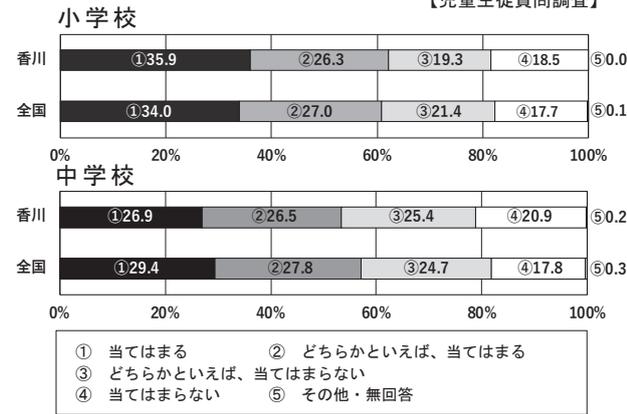


- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答



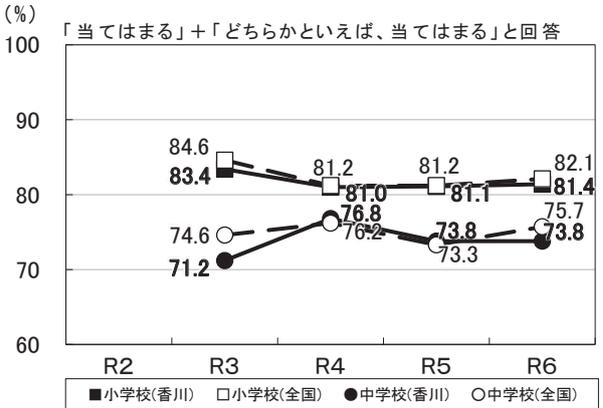
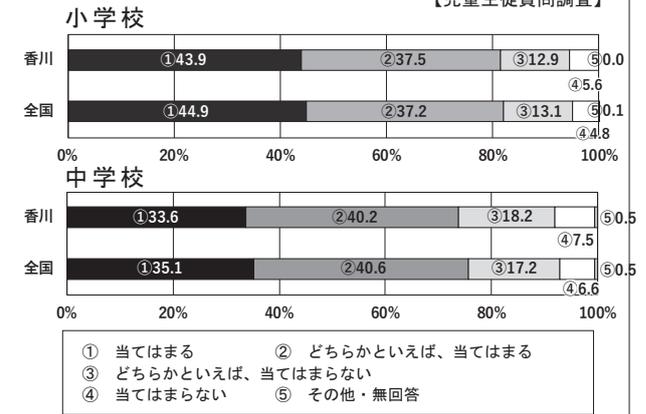
□50 算数(数学)の勉強は好きですか

【児童生徒質問調査】



□52 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか

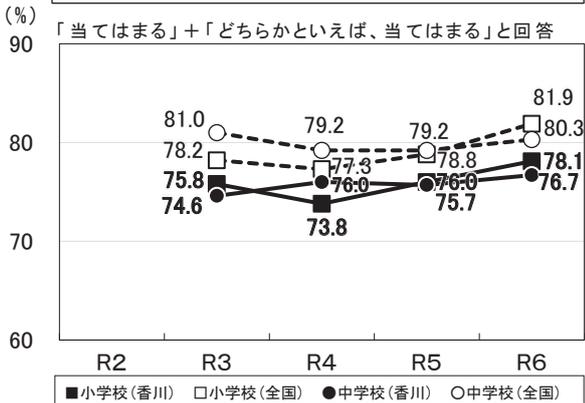
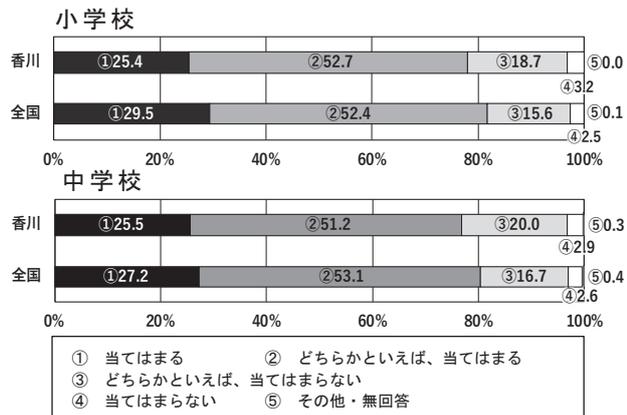
【児童生徒質問調査】



3 主体的に学習に取り組む態度

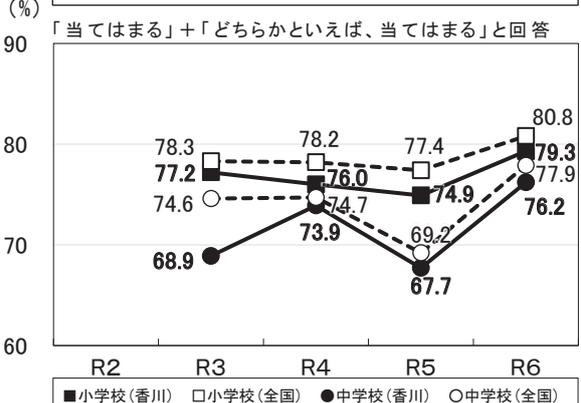
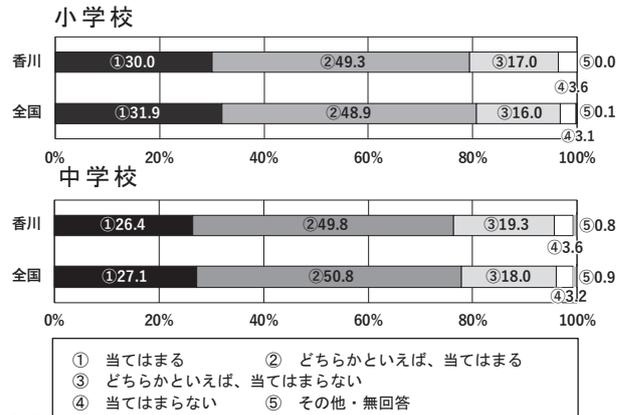
□30 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【児童生徒質問調査】



□34 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【児童生徒質問調査】



Question 2
言語活動
に関する
質問項目

「言語活動」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

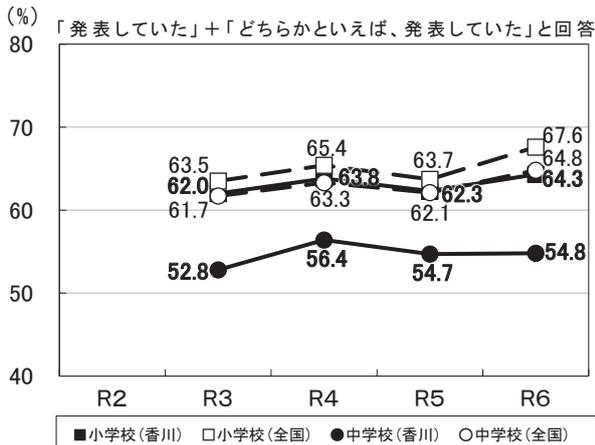
Answer

1. 「□³¹ 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より増加した。
2. 「□³³ 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、80%を上回った。
3. 「■³² 児童（生徒）の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」の質問に対して、肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに、90%を上回っている。

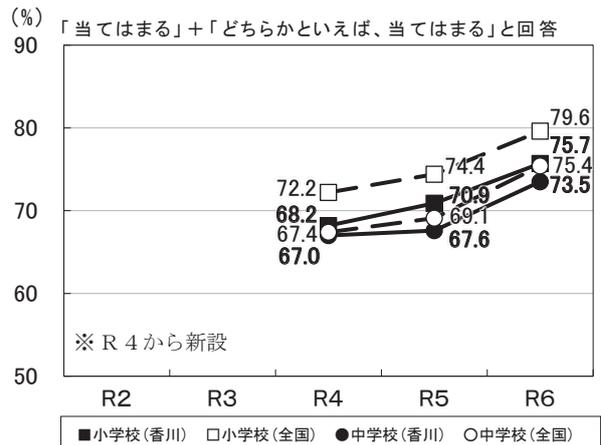
1 自分の考えの整理、表現

P88、89

□29 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
【児童生徒質問調査】



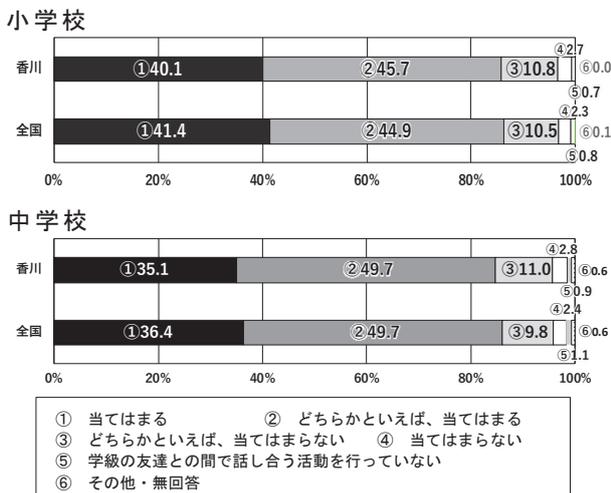
□31 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
【児童生徒質問調査】



2 自分の考えの深化・拡張

P89

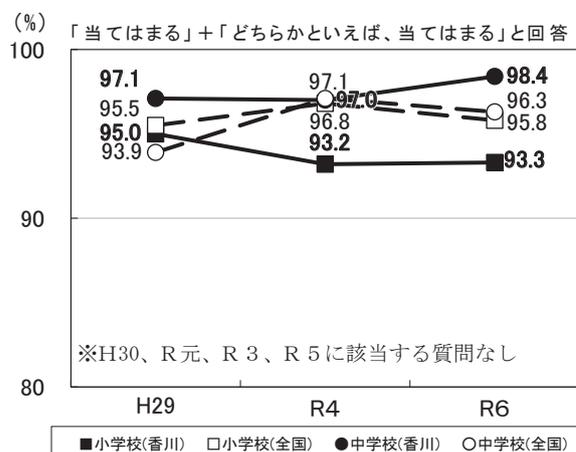
□33 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
【児童生徒質問調査】



3 学校全体での取組

P108

■32 授業において、児童（生徒）の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか
【学校質問調査】



Question 3
学習習慣
に関する
質問項目

「学習習慣」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

- 「□²¹ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、「1時間以上」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、減少傾向が見られる。
- 「■^{72/76} 家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか」の質問に対して、肯定的に回答した学校の割合は、小学校は80%を上回ったが、中学校は70%を下回った。

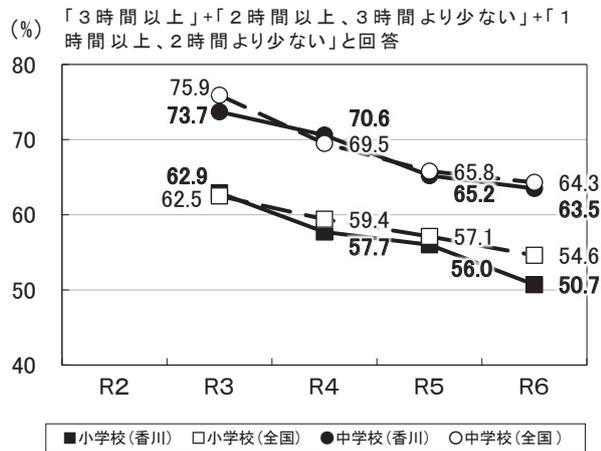
1 平日1日当たりの勉強時間



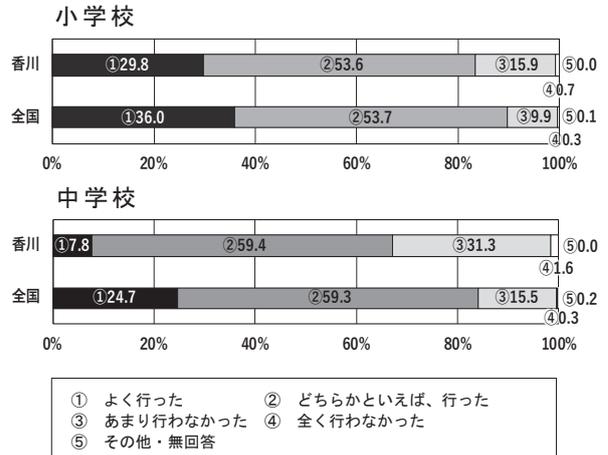
2 家庭での学習方法等の指導



□²¹ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
【児童生徒質問調査】



■^{72/76} 前年度までに、家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか
【学校質問調査】



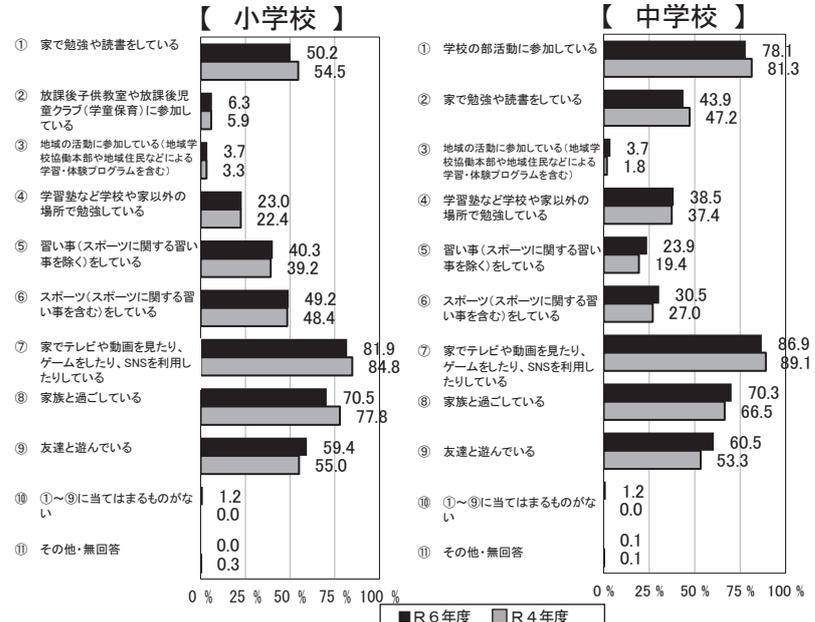
Column

～ 日々の授業の中で、自分らしい学び方を ～

児童生徒の、家庭での時間の使い方に、変化が見られます。児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるようにするためには、教師が学習方法を、具体例を挙げながら指導し、児童生徒が自己選択・自己決定しながら取り組めるようにすることが有効だと考えます。

例えば、授業の中で、分かったことを自分の言葉でまとめさせたり、練習問題に挑戦させたりして、児童生徒が自身の理解の状況を捉えられるようにします。その上で、具体的な学習方法を示すことで、児童生徒が工夫して家庭学習に取り組めるようになるのではないのでしょうか。

□²⁶ 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか（複数選択）【児童生徒質問調査】



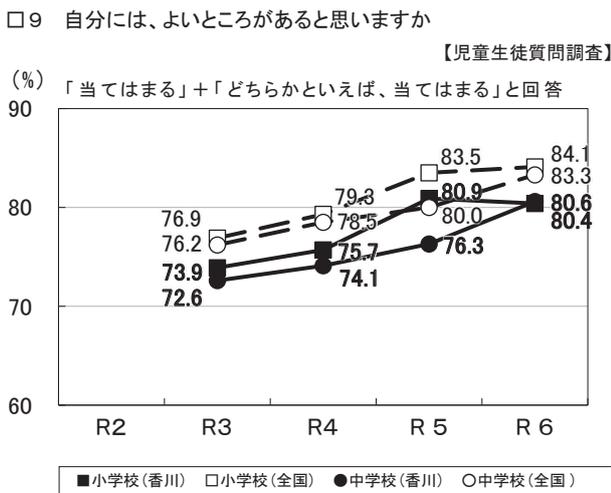
Question 4
自己有用感等
に関わる質問項目

「自己有用感等」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

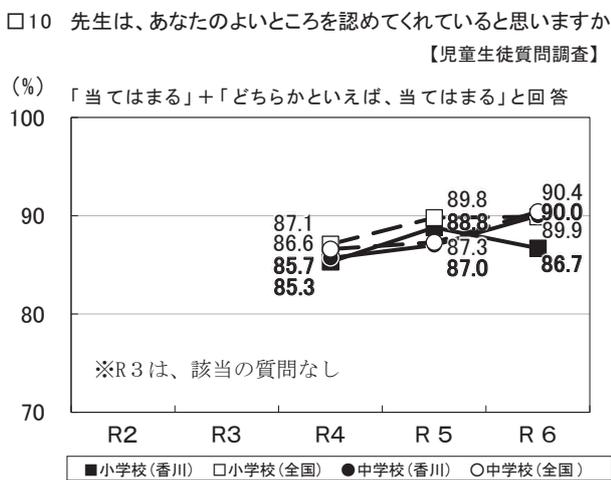
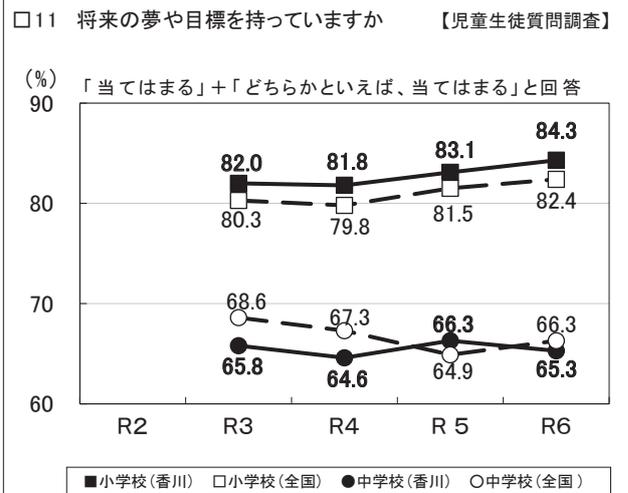
Answer

- 「^{□9}自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、増加傾向が見られる。「^{□10}先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で昨年度より減少し、中学校で増加した。
- 「^{□11}将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で、増加傾向が見られ、中学校はほぼ横ばいである。
- 「^{□12}人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より増加した。
- 「^{□13}いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国と同様に、令和4年度から減少傾向が見られる。

1 自分のよさ



2 将来の夢や目標



Column

児童生徒の自己有用感を高めるためには、その子らしく取り組んでいることを認め、励ます教師の働きかけが大切です。

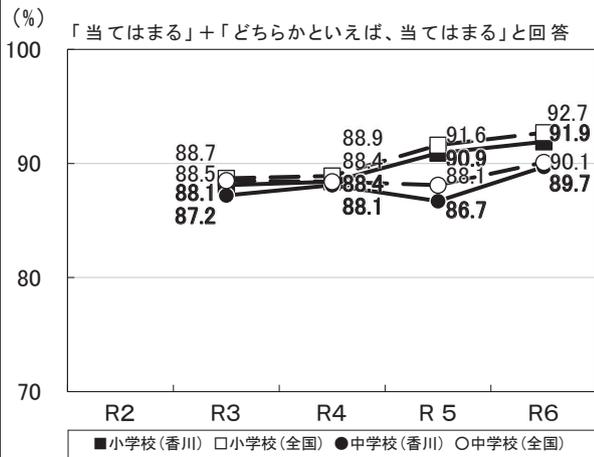


例えば、教師の基準で褒めるのではなく、その子がこだわりをもって取り組み、「認められたい」と感じていることを見取って、称賛したり励ましたりします。また、取り組む過程で、児童生徒がどのような思いをもって取り組んでいるのか、また、うまくいかなかった場合でも、次に向けてどのように取り組もうとしているのかなどを見取って、後押しすることも考えられます。

3 人との関わり

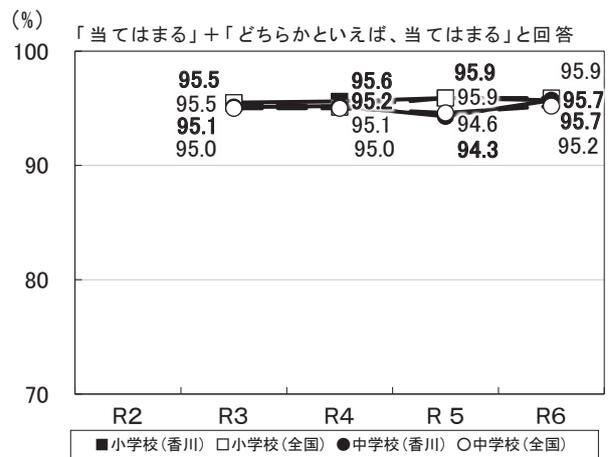
□12 人が困っているときは、進んで助けていますか

【児童生徒質問調査】



□15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

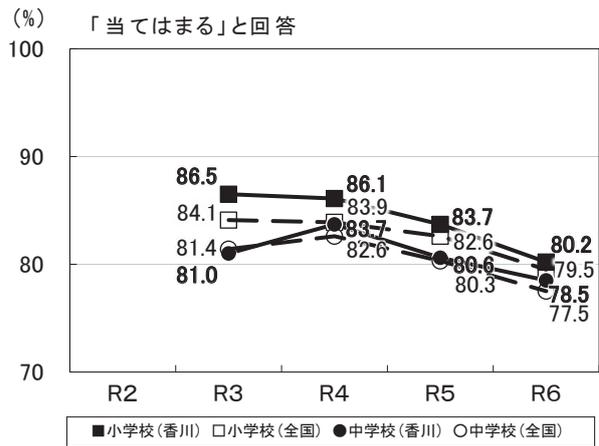
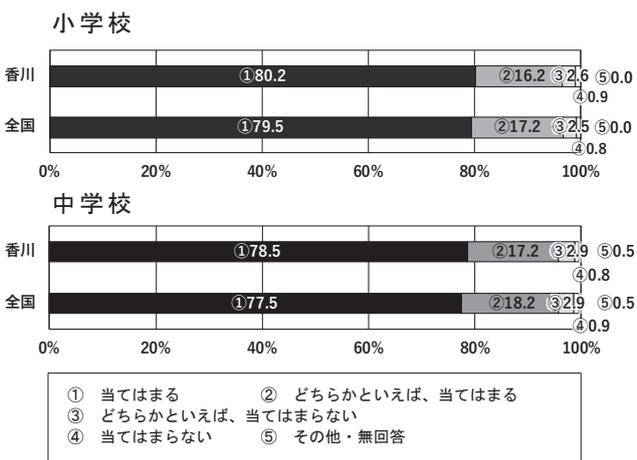
【児童生徒質問調査】



4 いじめ

□13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

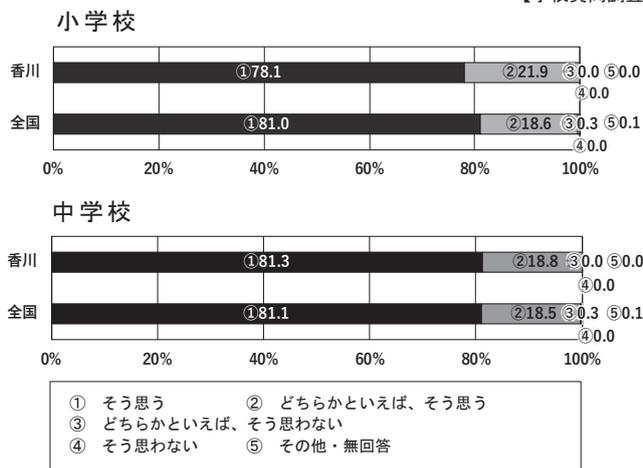
【児童生徒質問調査】



5 校内の連携・協働体制

■21 各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

【学校質問調査】



Column

「■21 各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか」の質問に対して、肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに100%となっています。

子供の発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められる中、また、教職員組織の若年化が進む中、担任が一人で問題を抱え込むのではなく、校内の教職員が連携・協働した対応がより一層重要となります。各校においては、管理職がリーダーシップを発揮し、よりよい連携・協働体制を築いていけるようにすることが大切です。

Question 5
学校生活
 に関わる
 質問項目

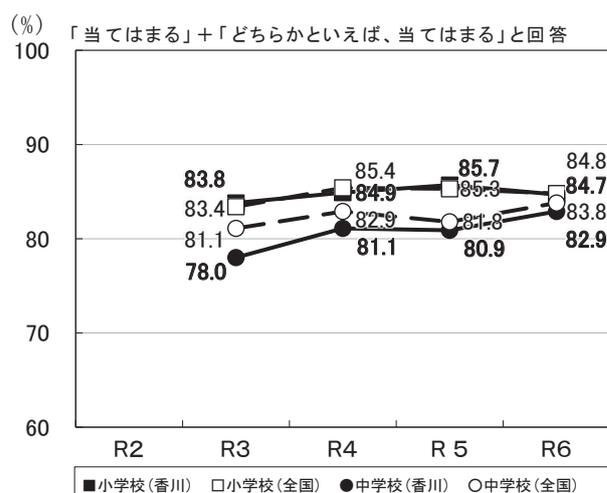
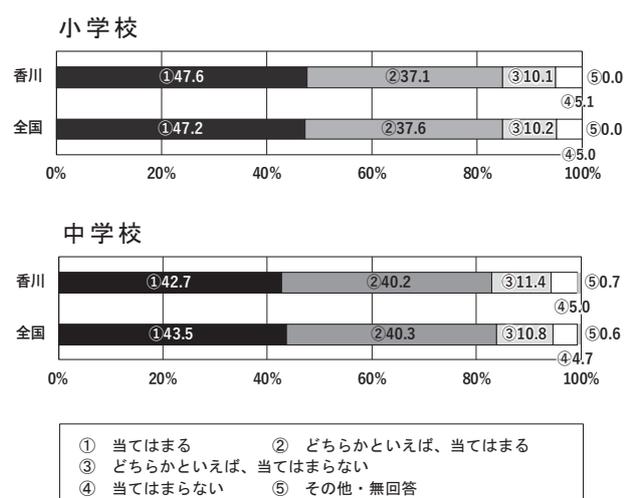
「学校生活」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

- 「^{□16}学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校はほぼ横ばいであるが、中学校は増加傾向が見られる。「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに約 15%であった。
- 「^{□14}困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対して、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに 30%を上回っている。「^{■8} スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童（生徒）が相談したい時に相談できる体制となっていますか」の質問に対して、肯定的に回答した学校の割合は、小学校はほぼ 90%、中学校はほぼ 100%であった。
- 「^{□39}あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」「^{□40}学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに令和 4 年度から増加傾向が見られる。
 「^{□18}友達関係に満足していますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにほぼ 90%であった。

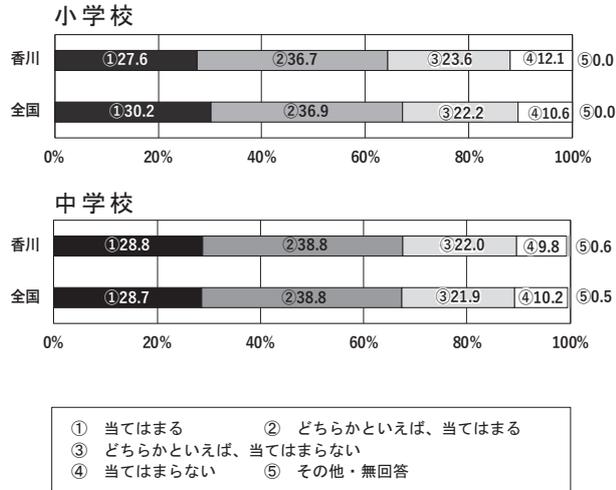
1 学校に対する意識

□16 学校に行くのは楽しいと思いますか 【児童生徒質問調査】

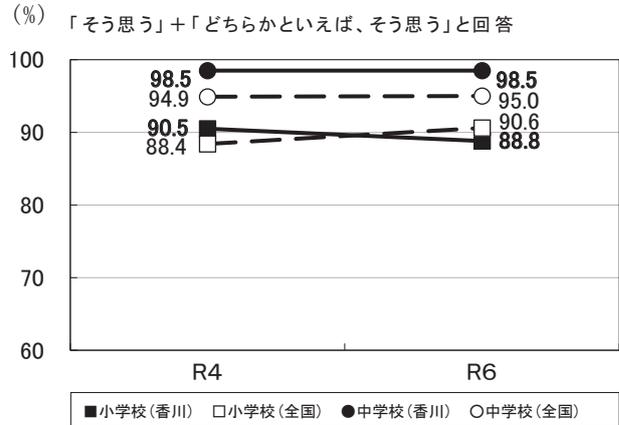


2 相談体制

□14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか 【児童生徒質問調査】

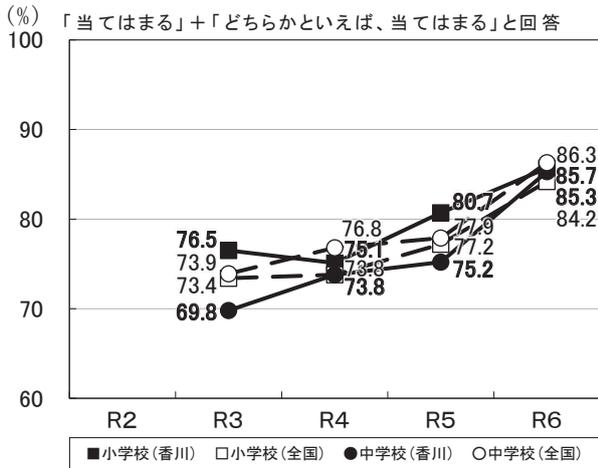


■8 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか 【学校質問調査】

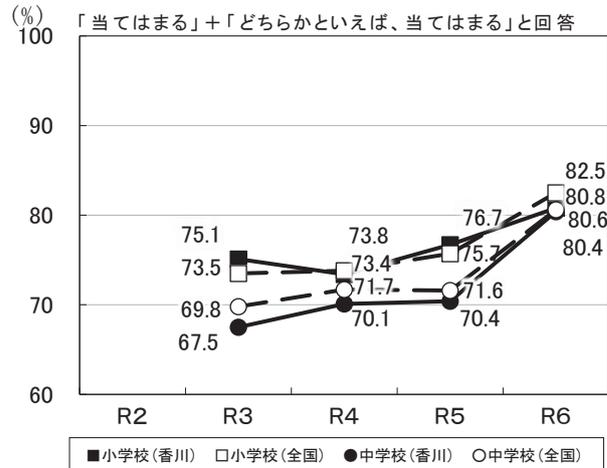


3 学級での話し合い、友達関係

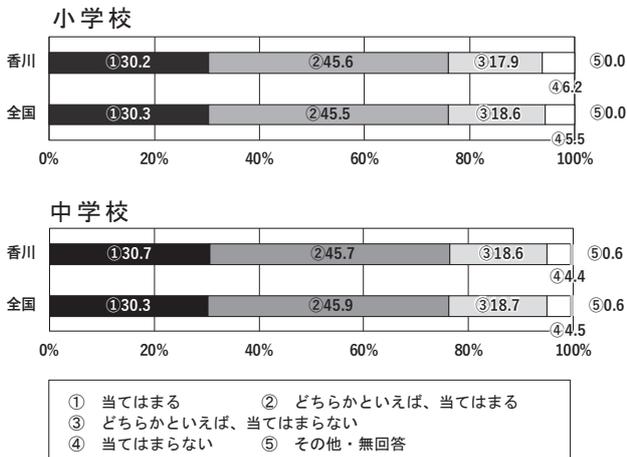
□39 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 【児童生徒質問調査】



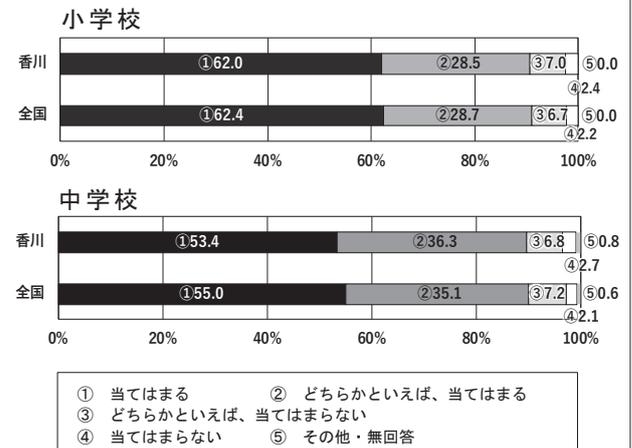
□40 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか 【児童生徒質問調査】



□17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか 【児童生徒質問調査】



□18 友達関係に満足していますか 【児童生徒質問調査】



Question 6
ICTの活用
に関わる
質問項目

「ICTの活用」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

- 「□27 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童生徒の割合は、全国と同様に、昨年度より小学校は減少し、中学校は増加した。
- 「■56/60 児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに、増加傾向が見られる。
- 「■64/68 児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか」の質問に対して、「毎日、もしくは時々持ち帰って、利用させている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに、増加傾向が見られる。

1 児童生徒の一人一台端末の活用状況

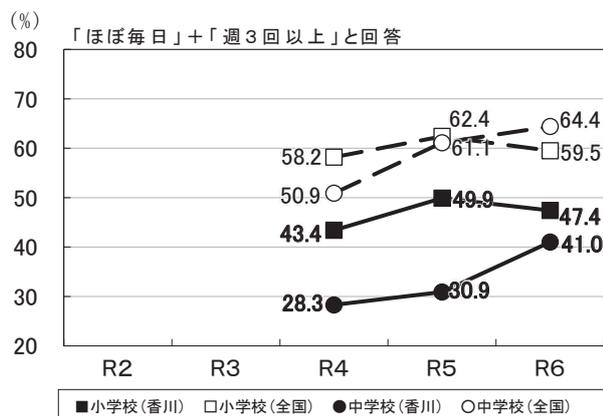


2 教師の一人一台端末の活用状況



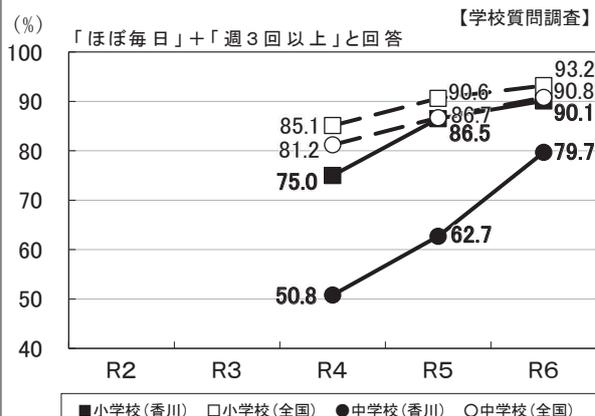
□27 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

【児童生徒質問調査】



■56/60 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校質問調査】

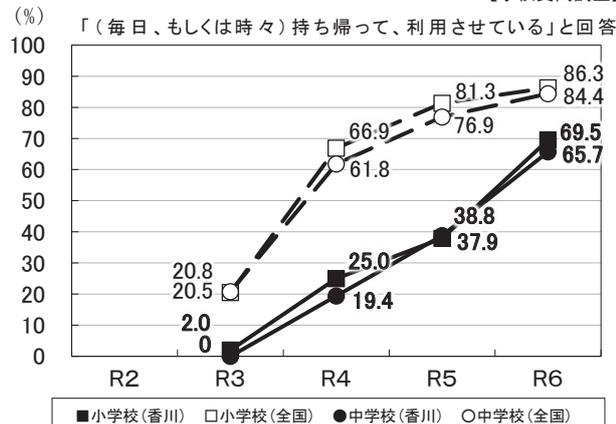


3 家庭への持ち帰り状況



■64/68 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校質問調査】



Column

一人一台端末の使用状況に変化が見られません。特に、家庭への持ち帰りについては、数年の内に大きく様変わりしたと考えられます。

小学校で、「□27 授業で、どの程度使用しましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合が、全国と同様に、減少していることから、今後は、使用頻度だけでなく、どのように使用するのか、使用内容についても、検討が必要なのかもしれません。



IV 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校国語

概要

国語について、平均正答率は、おおむね全国平均と同等である。

- 「書くこと」「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」で上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」で下回っている。

■令和6年度の香川県と全国の調査結果

小学校国語	児童数	学校数	平均正答数 / 設問数	平均正答率 (%)
香川 (公立)	7,552	151	9.4 / 14	67
全国 (公立)	947,364	18,466	9.5 / 14	68 (67.7)

■令和3～6年度の香川県と全国の調査結果

小学校国語				
調査年度	R 3	R 4	R 5	R 6
香川 (公立) 平均正答率 (%)	63	67	67	67
全国 (公立) 平均正答率 (%)	65 (64.7)	66 (65.6)	67 (67.2)	68 (67.7)
香川と全国との差 (pt)	▲2	1	0	▲1

■令和3～6年度の内容別調査結果

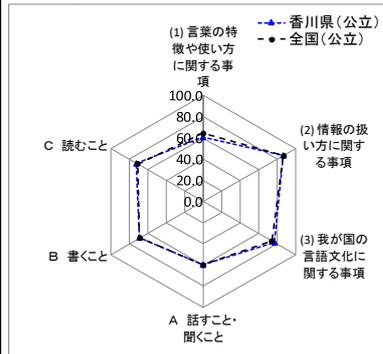
小学校国語							
学習指導要領の内容		思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項
令和六年度	香川（公立） 平均正答率（％）	59.6	68.6	72.5	60.7	86.7	77.2
	全国（公立） 平均正答率（％）	59.8	68.4	70.7	64.4	86.9	74.6
	香川と全国との差 （pt）	▲0.2	0.2	1.8	▲3.7	▲0.2	2.6
令和五年度	香川（公立） 平均正答率（％）	74.0	29.9	71.4	69.3	65.9	
	全国（公立） 平均正答率（％）	72.6	26.7	71.2	71.2	63.4	
	香川と全国との差 （pt）	1.4	3.2	0.2	▲1.9	2.5	
令和四年度	香川（公立） 平均正答率（％）	69.6	48.7	66.1	69.8		82.3
	全国（公立） 平均正答率（％）	66.2	48.5	66.6	69.0		77.9
	香川と全国との差 （pt）	3.4	0.2	▲0.5	0.8		4.4
令和三年度	香川（公立） 平均正答率（％）	77.0	56.9	44.5	67.9		
	全国（公立） 平均正答率（％）	77.8	60.7	47.2	68.3		
	香川と全国との差 （pt）	▲0.8	▲3.8	▲2.7	▲0.4		

IV
小
国
語

■ 問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	67.0	67.7	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	4	60.7	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	86.7	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	77.2	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	59.6	59.8
		B 書くこと	2	68.6	68.4
C 読むこと		3	72.5	70.7	
評価の観点	知識・技能	6	67.8	69.8	
	思考・判断・表現	8	66.7	66.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	10	70.0	69.9	
	短答式	2	52.9	59.7	
	記述式	2	67.3	64.6	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)					
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項										
1ー	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる			5・6ア	○	○	61.2	62.5	0.5	0.7				
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5・6イ			○	○	75.4	75.9	0.4	0.6				
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる			5・6ウ	○	○	54.7	52.9	0.5	0.7				
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものと、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる			5・6ア	○	○	62.7	63.8	0.6	0.9				
2ー(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる			5・6ア	○	○	79.5	80.3	0.6	0.9				
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6イ			○	○	86.7	86.9	0.6	0.9				
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる			5・6ウ	○	○	57.8	56.6	3.1	4.9				
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ			○	○	31.5	43.4	9.4	13.2				
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ			○	○	74.4	76.0	4.9	8.0				
3ー	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	3・4カ			○	○	61.4	62.3	1.4	2.0				
3二(1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけているかと考えられるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる			5・6イ	○	○	67.2	66.9	1.6	2.6				
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる			5・6エ	○	○	73.5	72.5	1.8	2.9				
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる			5・6エ	○	○	76.8	72.6	8.1	12.6				
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる	5・6オ			○	○	77.2	74.6	5.0	7.6				

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	読む	思判表	記述	76.8	8.1	4.2

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	言葉	知技	短答	31.5	9.4	▲11.9

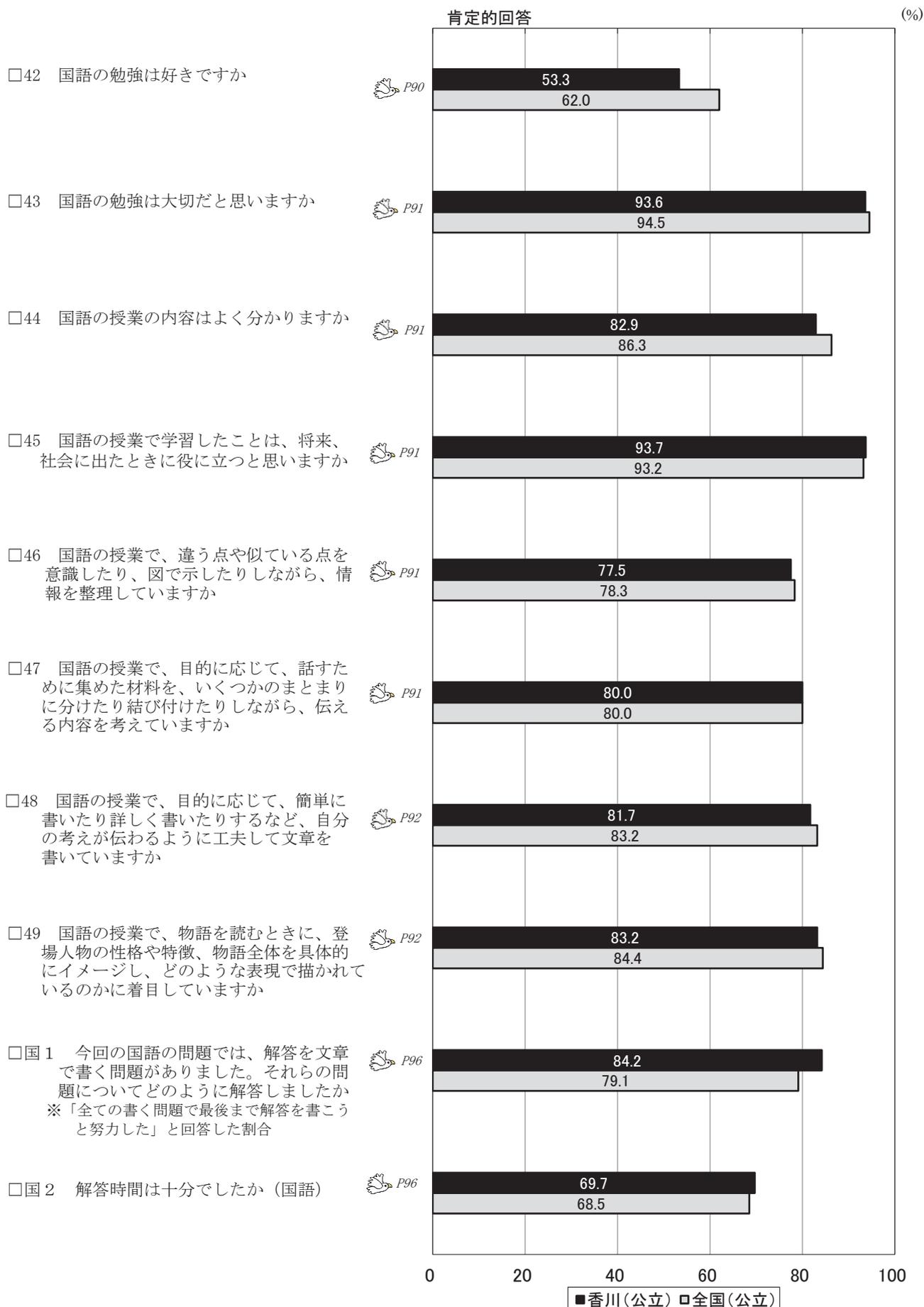
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	言葉	知技	短答	31.5	9.4	▲11.9

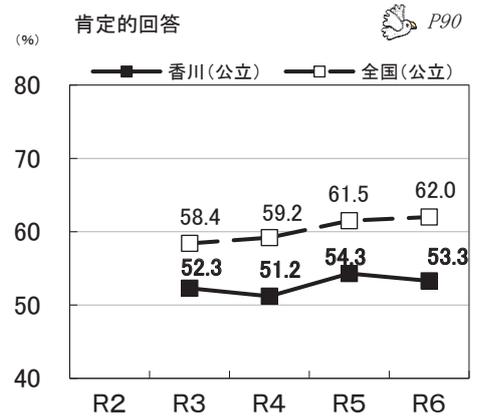
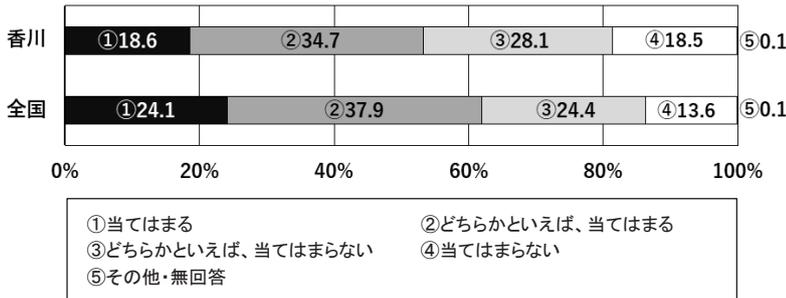
【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する事項 : 言葉 情報の扱いに関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 言文	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式: 選択 短答式: 短答 記述式: 記述

■小学校国語に関わる質問の全国との比較

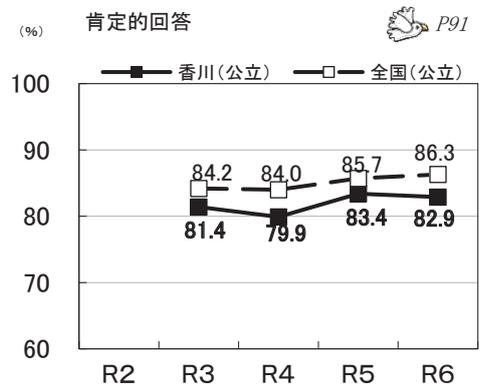
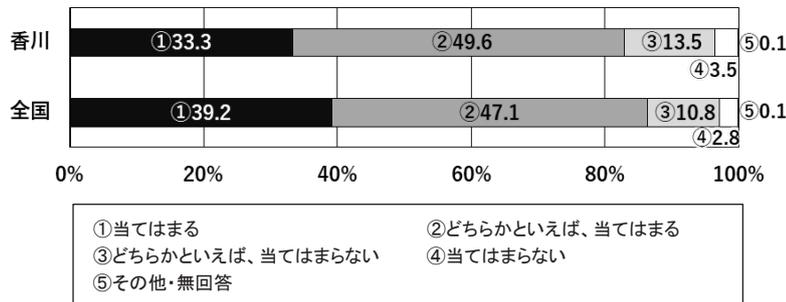


※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P82)

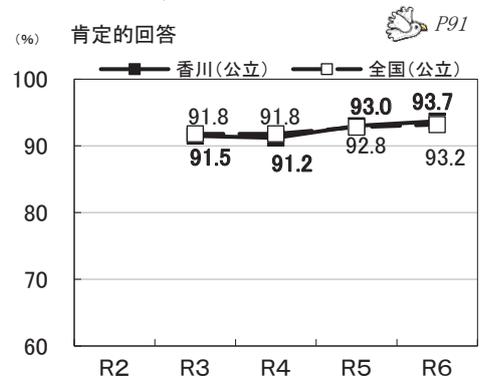
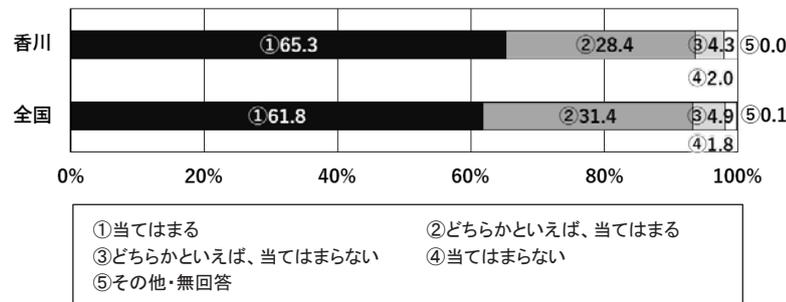
□42 国語の勉強は好きですか



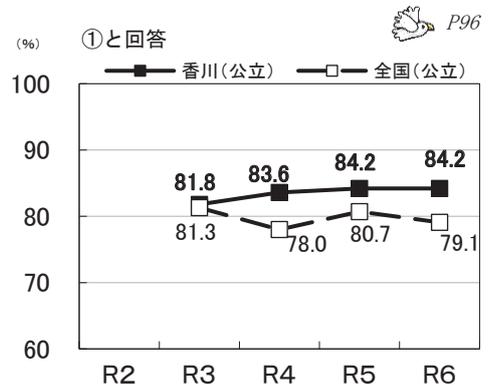
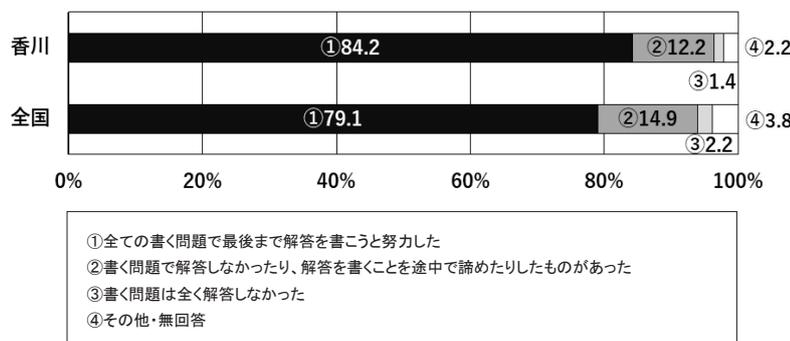
□44 国語の授業の内容はよく分かりますか



□45 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



□国 1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。

小学校国語

調査結果から授業改善へ

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 国語 2 三

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

上級生が遠くからボールをイ 上げる

問題番号	解答類型	香川 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
2 三 ア	1 「競技」と解答しているもの	31.5	43.4	◎
	2 「競」と解答しているが、「技」と解答していないもの	13.0	11.0	
	3 「競」と解答していないが、「技」と解答しているもの	16.4	14.0	
	99 上記以外の解答	29.7	18.4	
	0 無解答	9.4	13.2	
	正答率		31.5	43.4

【高山さんの文章】

みんな仲よし「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、ア きょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるころだと思っています。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイ 上げるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールを上げる

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 4年生 みんなが楽しそうであれよかった

2 三 高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていった。部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字でいねいに書きましよう。

分析・考察

- 本問題は、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は31.5%で、全国の状況を11.9ポイント下回っている。
- 「きょうぎ」を「競技」と捉えているとかがうことができる解答類型1、2、3の、本県児童の反応率の合計は60.9%で、全国の状況を7.5ポイント下回っており、その中でも「競」と「技」の両方の漢字とも正しく書くことができていない本県児童の反応率が全国の状況を11.3ポイント上回っていることから、本県の児童は、複数の意味で捉えることができる「きょうぎ」について、資料【高山さんの文章】に立ち戻り、文脈の中で、十分に吟味することができていない場合や、「競」の「立」の部分で「土」と解答したり、「口」の部分で「日」と解答したりするなど複雑な部分の間違い、また、一部を間違えて覚えている場合の「技」においては、同じへんやつくりをもつ漢字（枝、投等）と混同して覚えている場合等が考えられる。

授業改善のポイント

【対象と言葉、言葉と言葉との関係を問い直し、言語による見方・考え方を育む】

漢字の指導については、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。その際には、単語として漢字を書く学習をするだけでなく、漢字や熟語の成り立ちを丁寧に指導するなど、漢字の楽しさを味わう授業を行うことで、漢字の意味を捉えられるようにしたい。

また、書く文や文章の中で既習の漢字を使うということを意識させたり、推敲の際に既習の漢字を正しく使うことができているかという視点で推敲させたりすることが重要である。そして、読み手を意識して、文脈に沿った正しい漢字を使用することの大切さを実感させることも合わせて行いたい。

目的や意図に応じて、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 国語 1 二(2)

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
 - 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
 - 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
 - 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。
- (2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

④ せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

⑤ 説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んだことがない分野の本を読むことができました。

⑥ よく分かりました。おもしろそうですね。

⑦ そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際にクイズが出されたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。

1 海風小学校の和田さんの学級では、深緑小学校と学校の取り組みをオンラインでしようかいし合うことにしました。和田さんは、深緑小学校の村木さんとしようかいし合うようとしています。

二 和田さんは、【和田さんのメモ】を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。(略)

問題番号	解答類型	香川 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
1 二(2)	1 と解答しているもの	26.4	27.7	
	2 と解答しているもの	54.7	52.9	◎
	3 と解答しているもの	3.0	3.0	
	4 と解答しているもの	15.1	15.4	
	上記以外の解答	0.3	0.3	
	無解答	0.5	0.7	
正答率		54.7	52.9	

分析・考察

- 本問題は、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は54.7%で、全国と同様、課題がある。
- 正答の次に反応率が高い、解答類型1の児童は、⑥の短い発言から、相手が興味を持っていることには気付いているものの、実物を示しながら話したことを捉えていなかったと考えられる。また、この中には、資料として示された【和田さんに届いたメールの内容】を引用して話していると捉えた児童や、「そうなんです」と相手の話を受け止めている状況を引用していると判断した児童もいたと考えられる。

授業改善のポイント

【目的や意図に応じて、どのように伝えるのが効果的かを検討し、表現を工夫する力を高める】

目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、自分の伝えたいことを明確にしたり、聞き手の求めていることを正確に捉えたりすることが重要である。その上で、どのように表現するとより自分の伝えたいことが伝わるか、聞き手の求めていることに伝えられるかを吟味していく必要がある。

そのためには、言葉で説明するだけでなく、「資料や実物等の物を示す」「実際にやってみせる」等の表現の工夫について、その効果の実感を伴えるような指導をしておくことが重要である。そうすることで、それらの中から、自分の伝えたいことや相手が知りたいことと照らして、どの方法がより効果的かを児童自ら選択できるようにしたい。また、あらかじめ話す予定にしているものだけでなく、相手の反応を予想して、必要があれば出す(話の流れによっては出さない)資料等の重要性についても指導したい。

2 小学校算数

概要

算数について、平均正答率は、おおむね全国平均と同等である。

- 「数と計算」「データの活用」で上回っている。
- 「図形」「変化と関係」で下回っている。

■令和6年度調査結果の集計値

小学校算数	児童数	学校数	平均正答数 / 設問数	平均正答率 (%)
香川 (公立)	7,556	151	10.3 / 16	64
全国 (公立)	947,579	18,466	10.1 / 16	63 (63.4)

■令和3年度～令和6年度の香川県と全国の調査結果

小学校算数				
調査年度	R 3	R 4	R 5	R 6
香川 (公立) 平均正答率 (%)	71	65	63	64
全国 (公立) 平均正答率 (%)	70 (70.2)	63 (63.2)	63 (62.5)	63 (63.4)
香川と全国との差 (pt)	1	2	0	1

■令和3～6年度の領域別調査結果

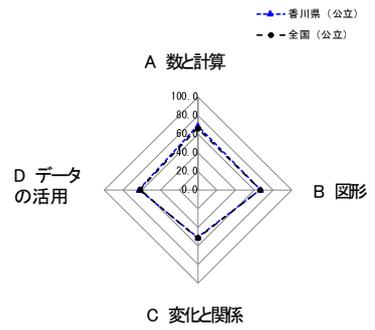
小学校算数						
学習指導要領の領域		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
令和六年度	香川（公立） 平均正答率（%）	68.7	66.2		51.2	62.8
	全国（公立） 平均正答率（%）	66.0	66.3		51.7	61.8
	香川と全国との差 (pt)	2.7	▲0.1		▲0.5	1.0
令和五年度	香川（公立） 平均正答率（%）	68.3	46.1		70.6	66.8
	全国（公立） 平均正答率（%）	67.3	48.2		70.9	65.5
	香川と全国との差 (pt)	1.0	▲2.1		▲0.3	1.3
令和四年度	香川（公立） 平均正答率（%）	71.3	69.4		51.3	70.7
	全国（公立） 平均正答率（%）	69.8	64.0		51.3	68.7
	香川と全国との差 (pt)	1.5	5.4		0.0	2.0
令和三年度	香川（公立） 平均正答率（%）	65.8	58.0	76.5	76.9	75.6
	全国（公立） 平均正答率（%）	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0
	香川と全国との差 (pt)	2.7	0.1	1.7	1.0	▲0.4

IV
小
算
数

問題別調査結果【算数】

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
全体		16	64	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	68.7	66.0
	B 図形	4	66.2	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	51.2	51.7
	D データの活用	4	62.8	61.8
評価の観点	知識・技能	9	74.9	72.8
	思考・判断・表現	7	51.0	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	76.9	75.3
	短答式	7	62.5	62.0
	記述式	4	52.3	51.0



(注)「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2(2) ア(エ)					○		○			64.9	62.1	0.2	0.2
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	3(7) ア(ア)					○		○			89.3	88.5	0.2	0.3
2(1)	$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(3) イ(ア)					○			○		59.3	56.9	2.1	3.4
2(2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5(3) ア(ア)					○		○			71.5	69.1	1.0	1.3
3(1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	4(2) ア(ア) ア(ア)					○		○			87.4	85.5	0.5	0.6
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	5(1) ア(エ)					○		○			71.6	71.3	0.5	0.8
3(3)	直径2.2cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さや立方体の一方の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	3(1) ア(ウ) イ(ア) ア(イ) イ(ア)					○			○		31.5	36.5	5.6	9.8
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	5(2) イ(ア) イ(ア)					○			○		74.5	72.0	1.0	1.8
4(1)	$540 \div 0.6$ を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5(3) ア(イ)					○			○		76.6	70.1	2.0	3.1
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800m歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる				5(1) イ(ア) イ(ア) イ(ア)		○			○		65.6	70.0	2.1	3.3
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				5(2) ア(ア) イ(ア)		○			○		31.2	31.0	1.6	2.4
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる				5(2) ア(ア)		○			○		56.6	54.1	2.6	4.6
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができかどうかをみる				5(1) ア(ア)		○			○		83.2	80.8	1.3	1.8
5(2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる				3(1) ア(ア)		○			○		73.2	73.3	2.5	3.9
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3(1) イ(ア) イ(ア) ア(イ)		○			○		44.0	44.0	7.4	12.6
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる				2(1) ア(ア)		○			○		50.9	49.3	3.0	4.0

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校算数】（全16問中1問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
4(1)	540÷0.6を計算する	計算	知技	短答	76.6	2.0	6.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校算数】（全16問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	図形	思判表	短答	31.5	5.6	▲5.0
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	変関	思判表	短答	65.6	2.1	▲4.4

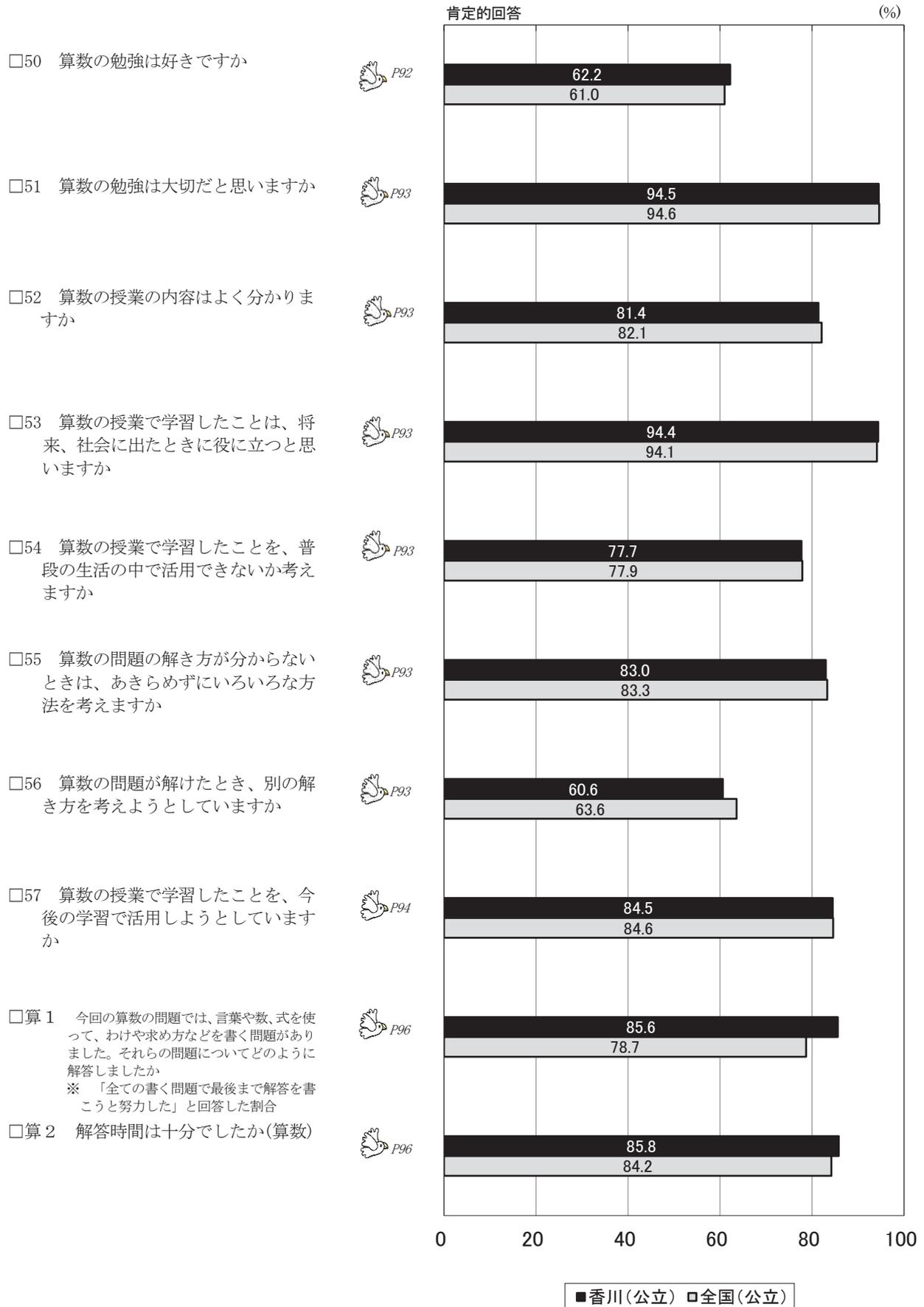
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校算数】（全16問中3問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	図形	思判表	短答	31.5	5.6	▲5.0
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	変関	思判表	記述	31.2	1.6	0.2
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	デ活	思判表	記述	44.0	7.4	0.0

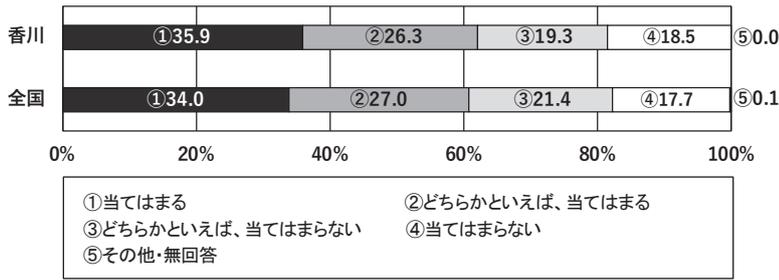
【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 : 計算 図形 : 図形 測定 : 測定 変化と関係 : 変関 データの活用 : デ活	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■小学校算数に関わる質問の全国との比較

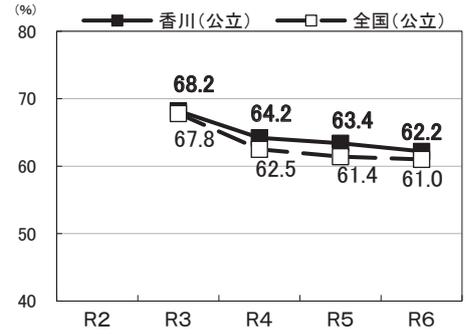


※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P82)

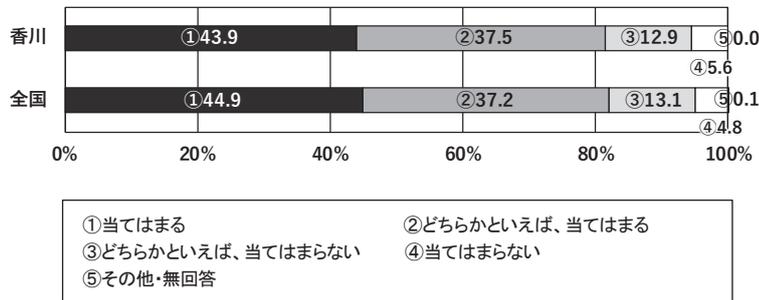
□50 算数の勉強は好きですか



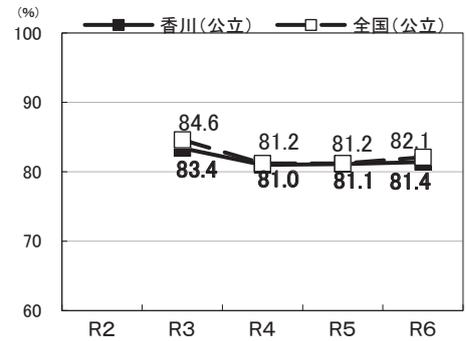
肯定的回答 P92



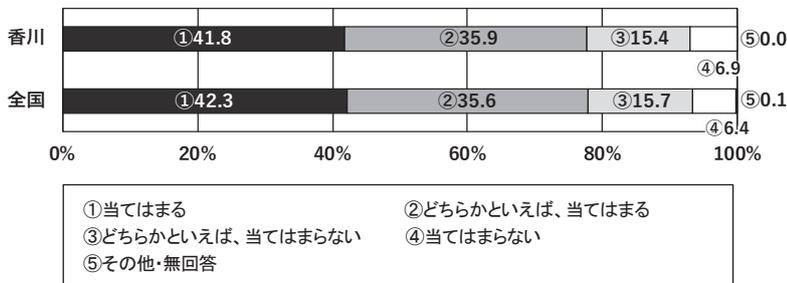
□52 算数の授業の内容はよく分かりますか



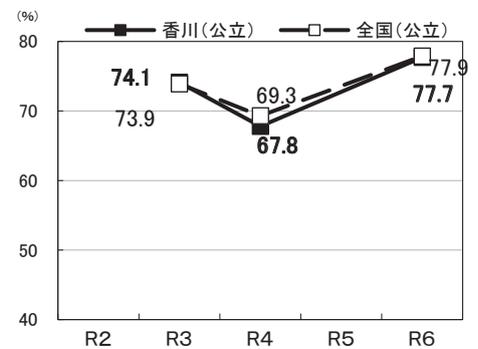
肯定的回答 P93



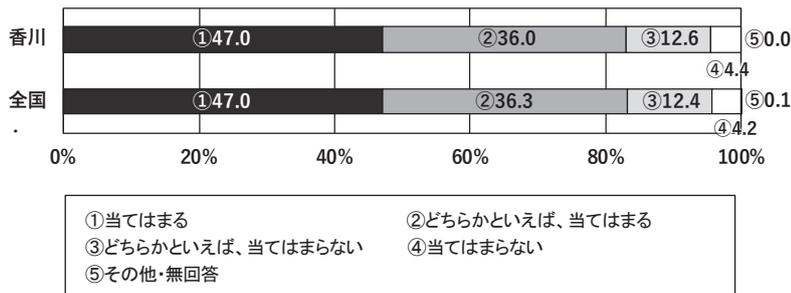
□54 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



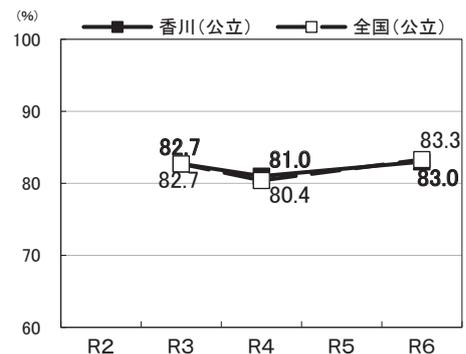
肯定的回答 P93



□55 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



肯定的回答 P93



※肯定的回答とは、回答選択肢①+②を指す。

小学校算数

調査結果から授業改善へ

身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるための必要な情報を判断できるようにする

授業改善のヒントとなる問題の概要

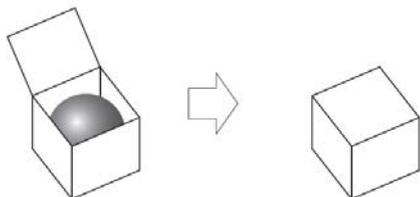
小学校 算数 3(3)

3

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³か求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

問題番号	解答類型	香川 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
1	22×22×22 と解答しているもの	31.5	36.5	◎
2	11×11×11 と解答しているもの 44×44×44 と解答しているもの	0.1	0.1	
3	22×22 と解答しているもの	9.9	8.5	
4	11×11 と解答しているもの 44×44 と解答しているもの	0.1	0.1	
3 (3)	5 22×3 と解答しているもの	2.0	2.6	
6	11×3 と解答しているもの 44×3 と解答しているもの	0.0	0.0	
7	3.14 を用いた式を解答しているもの	21.1	16.0	
99	上記以外の解答	29.7	26.4	
0	無解答	5.6	9.8	
	正答率	31.5	36.5	

分析・考察

- 本問題は球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は31.5%であり、全国の正答率を5pt下回っている。
- 県と全国の反応率を比較すると、22×22と解答しているものが1.4pt上回り、他にも、3.14を用いた式を解答しているものが5.1pt、解答類型以外の解答をしているものが3.3pt上回っている。
22×22と解答している児童は、立方体の一つの面の面積の求め方を式にしていると考えられる。また、3.14を用いた式を解答している児童は、球の直径の長さや円周率から立方体の体積を求めることができると誤って捉えていると考えられる。図形を構成する要素に着目し、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが大切である。

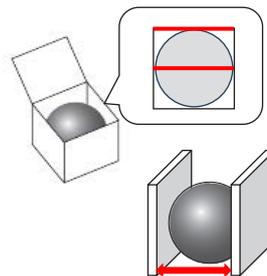
授業改善のポイント

【図形を構成する要素に着目し、考えられるよう指導する】

面積や体積を求める際、複数の構成要素から必要な辺の長さを捉えることが難しいと感じる児童も多い。そこで、児童が、どの構成要素に着目すればよいか、球を収める立方体の一辺の長さは、球のどの構成要素と関係しているのかを意識しながら考えるようにすることが大切である。例えば、「どの長さが分かれば体積を求められそうか」などと問い、話し合う場を設けることで、一人一人が体積を求めるために必要な長さに着目できるようにする。そして、見取り図などに必要だと考える辺の長さに印を付けるなど、図とつないで考える方法を指導することが、図形を構成する要素や図形どうしの関係に着目し、筋道を立てて考えることができるようにするために有効だと考える。

【一人一人が体験的な活動に取り組めるようにする】

観察や測定など、体験的な活動に一人一人が取り組むことができるようにすることが必要である。本設問であれば、球の直径の長さや、立方体の一辺の長さが一致することについて、実際にボールの入った箱を観察させ、いろいろな方向から見て、球はどこから見ても円であることや、その円の直径の長さは球の直径の長さや等しく、立方体の一辺の長さや等しいことが理解できるようにする。さらに、「別のボールではどうか」「数が変わるとどうか」など、身の回りの形から問題を見だし、体験する場を保障することで、図形の性質について、実感を持った深い理解を得ることができるようになりたい。



小学校算数

調査結果から授業改善へ

二つの数量の関係に着目し、その関係を用いることができるようにする

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 4(2)

4

(2) たけるさんは、3分間で180m歩きました。同じ速さで歩き続けると、1800mを歩くのに何分かかりますか。
答えを書きましょう。

問題番号	解答類型	香川反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
4	1 30 と解答しているもの	65.6	70.0	◎
	2 300 と解答しているもの	0.4	0.4	
	3 10 と解答しているもの	14.2	10.0	
	4 60 と解答しているもの	4.8	5.2	
	5 600 と解答しているもの	2.5	2.3	
(2)	6 540 と解答しているもの	0.4	0.6	
	5400 と解答しているもの			
	7 108000 と解答しているもの	0.0	0.1	
	99 上記以外の解答	9.9	7.9	
0 無解答	2.1	3.3		
正答率		65.6	70.0	

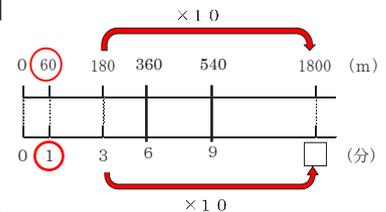
分析・考察

- 本問題は速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる問題である。本県の正答率は65.6%であり、全国の正答率を4.4pt下回っている。
- 県と全国の反応率を比較すると、10と解答しているものが4.2pt上回っており、道のりが10倍になっていることを答えとしたり、1分間で180m進むと誤って捉えたりしていると考えられる。

授業改善のポイント

【異種の二つの数量関係に着目し、その関係を図や表に表して捉える】

速さが一定である場合について、進んだ道のりとかかる時間の数量関係を用いて、問題を解決する数学的活動を設定することが大切である。その際に、数直線を用いることで、異種の二つの数量関係を捉えることができるようにすることが考えられる。



【児童の多様な考えを生かし、学びを深めることができるように導く】

図とつないで数量関係を説明する活動の中で、進んだ道のりがかかる時間に比例することなど、児童が用いた考えのよさを実感できるように働きかける。

1800÷180=10。答えは10分です。

道のりが10倍だから、かかる時間も10倍になるよ。3×10で、答えは30分。

速さを使って考えることもできます。180÷3=60で、1分あたりに進む道のりは60mだから、1800÷60をすると、何分かかるか分かります。

比例の勉強に似ているよ。道のりが2倍、3倍になると、かかる時間も、...

誤答を生かし、妥当性を検討する

答えは10分でよいのかな？

図とつないだ説明を促す

図を使って、もう少し詳しく教えてくれますか？

既習事項との関連を図る

これまでに、このような考え方をした経験はありますか？



このように、発言の理由を確認したり、図とつないで計算の意味を考えさせたりすることで、児童は自分の考えを見直し、理解を深めることができる。さらに、「もし、〇〇mだったら」「□□の場合なら」と発展的に考察する機会を設けることで、活用する力の育成につなげたい。

3 中学校国語

概 要

国語について、平均正答率は、おおむね全国平均と同等である。

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」で上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で下回っている。

■令和6年度調査結果の集計値

中学校国語	生徒数	学校数	平均正答数 / 設問数	平均正答率 (%)
香川 (公立)	7,206	64	8.5 / 15	57
全国 (公立)	875,574	9,268	8.7 / 15	58 (58.1)

■令和3年度～6年度の香川県と全国の調査結果

中学校国語				
調査年度	R 3	R 4	R 5	R 6
香川 (公立) 平均正答率 (%)	64	70	70	57
全国 (公立) 平均正答率 (%)	65 (64.6)	69 (69.0)	70 (69.8)	58 (58.1)
香川と全国との差 (pt)	▲1	1	0	▲1

■令和4～6年度の内容別調査結果

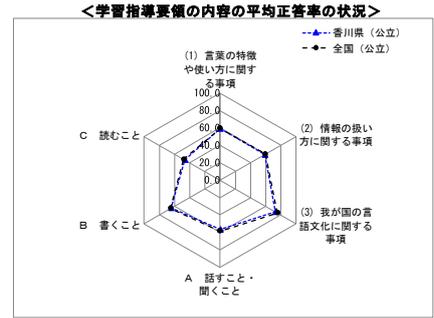
		中学校国語					
学習指導要領の内容		思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項
令和六年度	香川（公立） 平均正答率（％）	56.5	64.3	46.7	59.4	58.5	72.7
	全国（公立） 平均正答率（％）	58.8	65.3	47.9	59.2	59.6	75.6
	香川と全国との差 （pt）	▲2.3	▲1.0	▲1.2	0.2	▲1.1	▲2.9
令和五年度	香川（公立） 平均正答率（％）	81.8	62.8	63.8	64.4	64.5	77.4
	全国（公立） 平均正答率（％）	82.2	63.2	63.7	67.5	63.4	74.7
	香川と全国との差 （pt）	▲0.4	▲0.4	0.1	▲3.1	1.1	2.7
令和四年度	香川（公立） 平均正答率（％）	65.7	50.3	67.5	73.3	50.3	70.2
	全国（公立） 平均正答率（％）	63.9	46.5	67.9	72.2	46.5	70.2
	香川と全国との差 （pt）	1.8	3.8	▲0.4	1.1	3.8	0.0

■令和3年度の領域等別調査結果

		中学校国語			
学習指導要領の領域等		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
令和三年度	香川（公立） 平均正答率（％）	79.0	56.2	48.3	74.6
	全国（公立） 平均正答率（％）	79.8	57.1	48.5	75.1
	香川と全国との差 （pt）	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.5

■ 問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体		15	57	58.1	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	59.4	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	58.5	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	72.7	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	56.5	58.8
		B 書くこと	2	64.3	65.3
		C 読むこと	4	46.7	47.9
評価の観点	知識・技能	6	61.3	62.0	
	思考・判断・表現	9	53.9	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	59.8	61.0	
	短答式	3	60.6	61.8	
	記述式	3	44.2	45.5	



問題別集計結果

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の 観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)			
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等		香川県 (公立)	全国 (公立)	香川県 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉 の特徴 や使い 方に関 する事 項	(2) 情報 の扱い 方に関 する事 項	(3) 我が 国の言 語文化 に関す る事 項			A 話すこ と・聞 くこと	B 書くこ と				
1一	話し合いの中の発言について説明したものと して適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えるこ とができるかどうかをみる			1 エ		○	○	59.5	63.2	0.5	0.4	
1二	話し合いの中で発言する際に指し示している資 料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わ るように話すことができるかどうかをみる			2 ウ		○	○	66.3	68.5	3.8	3.5	
1三	話し合いの中の発言について説明したものと して適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理 解しているかどうかをみる	1 ア				○	○	42.3	44.0	0.6	0.5	
1四	話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからど のように本を選びたいか」について自分の考 えを書く	話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言 と結び付けて自分の考えをまとめることので きるかどうかをみる			1 オ		○	○	43.7	44.7	10.4	9.9	
2一	本文中の図の役割を説明したものととして適切 なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内 容を解釈することができるかどうかをみる			2 ウ		○	○	34.6	36.3	0.6	0.5	
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものと して適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理 解しているかどうかをみる	2 ア				○	○	74.7	75.2	0.7	0.6	
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまと めた文の空欄に入る言葉として適切なものを それぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主 張と例示との関係を捉えることができるかどう かをみる			2 ア		○	○	63.0	64.5	0.7	0.6	
2四	本文に書かれていることを理解するために、 着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約するこ とができるかどうかをみる			1 ウ		○	○	41.2	42.6	9.2	8.4	
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した 意図を説明したものととして適切なものを選 択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝 えたいことを明確にすることができるかどう かをみる			1 ア		○	○	80.9	81.4	0.8	0.7	
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置 を直した意図を説明したものととして適切な ものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているか どうかをみる	2 オ				○	○	52.4	53.8	1.3	1.0	
3三	漢字を書く(みちた)りた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができ るかどうかをみる	2 ウ				○	○	67.7	68.8	9.6	10.2	
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工 夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えながら描写するなど、自分の考 えが伝わる文章になるように工夫すること ができるかどうかをみる			2 ウ		○	○	47.7	49.3	15.8	15.0	
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明した ものととして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかを みる	1 オ				○	○	58.1	54.9	1.6	1.8	
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉 え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替 える	短歌の内容について、描写を基に捉えること ができるかどうかをみる			1 イ		○	○	47.8	48.3	3.2	3.4	
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明し たものととして適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる			1 エ (イ)		○	○	72.7	75.6	2.0	2.3	

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校国語】（全15問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	言葉	知技	選択	58.1	1.6	3.2

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校国語】（全15問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1一	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	話聞	思判表	選択	59.5	0.5	▲3.7

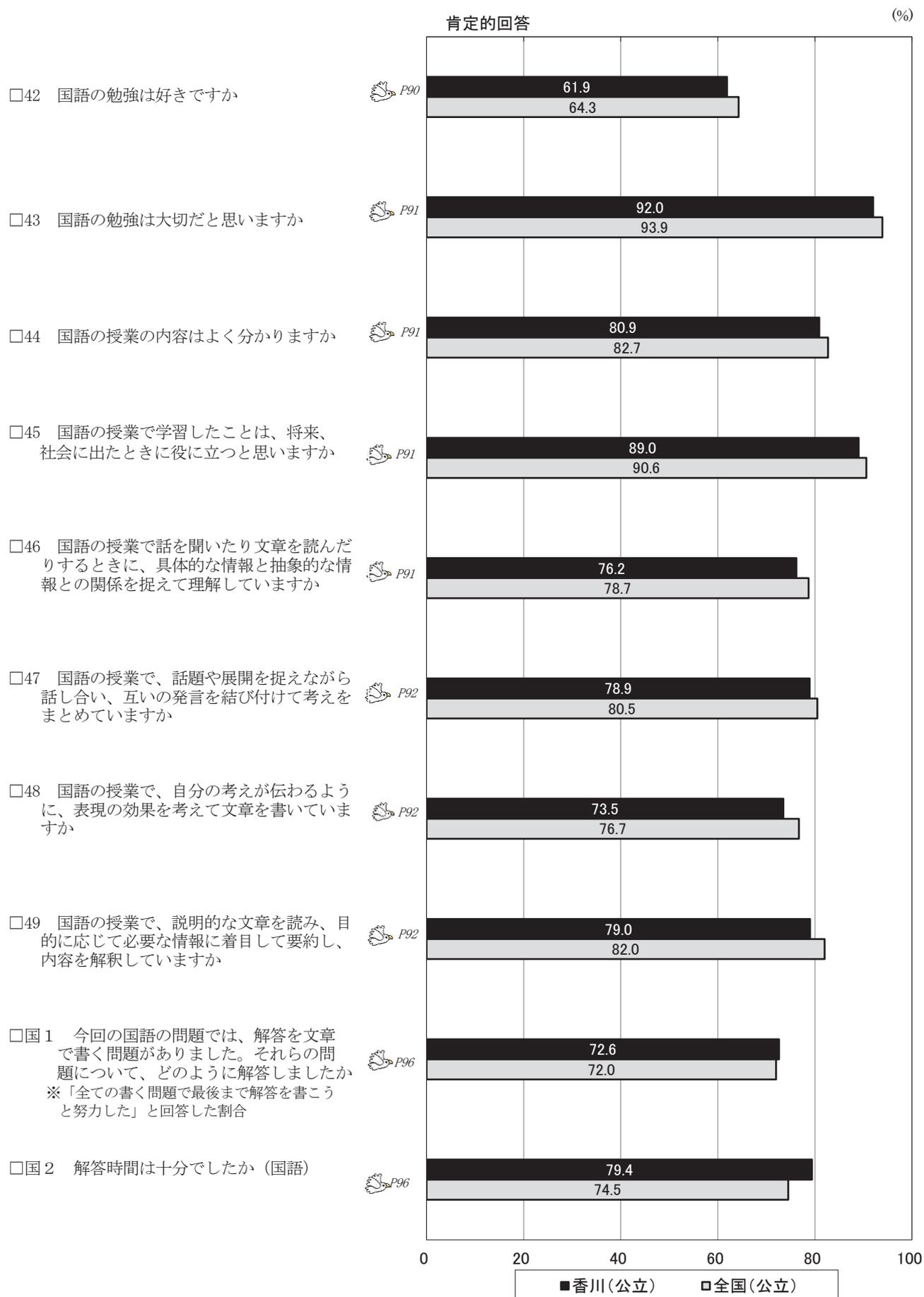
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校国語】（全15問中6問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1三	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	情報	知技	選択	42.3	0.6	▲1.7
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話聞	思判表	記述	43.7	10.4	▲1.0
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	読む	思判表	選択	34.6	0.6	▲1.7
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	読む	思判表	記述	41.2	9.2	▲1.4
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	書く	思判表	記述	47.7	15.8	▲1.6
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	読む	思判表	短答	47.8	3.2	▲0.5

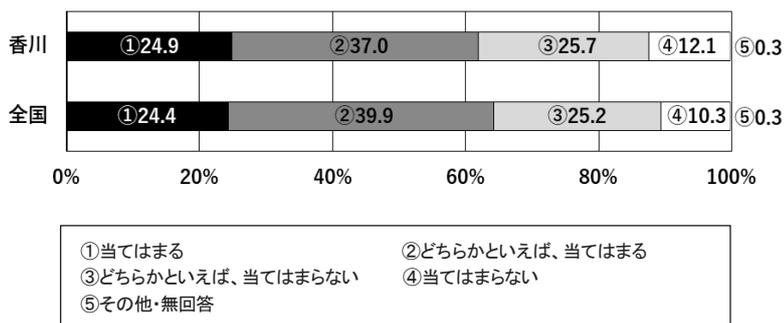
【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する事項 : 言葉 情報の扱い方に関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 言文	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■中学校国語に関わる質問の全国との比較

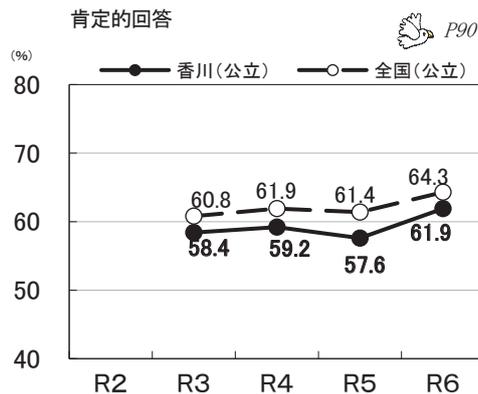


※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P82)

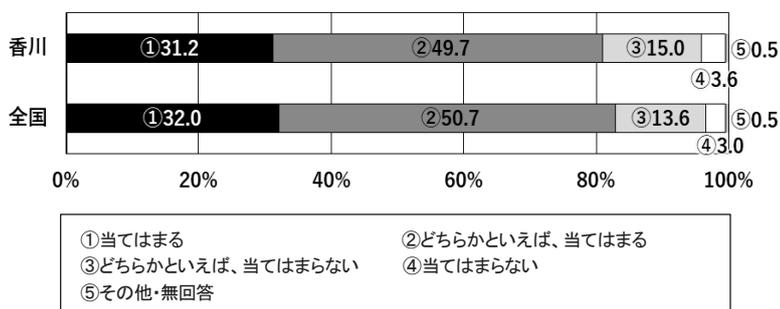
□42 国語の勉強は好きですか



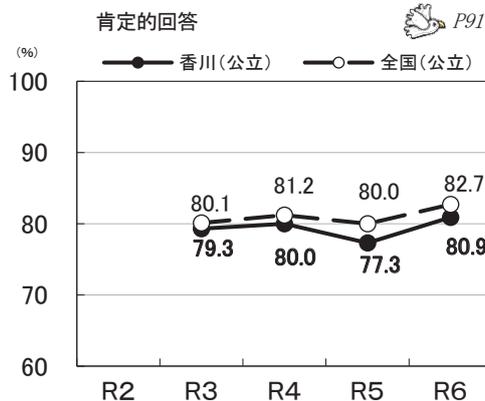
肯定的回答



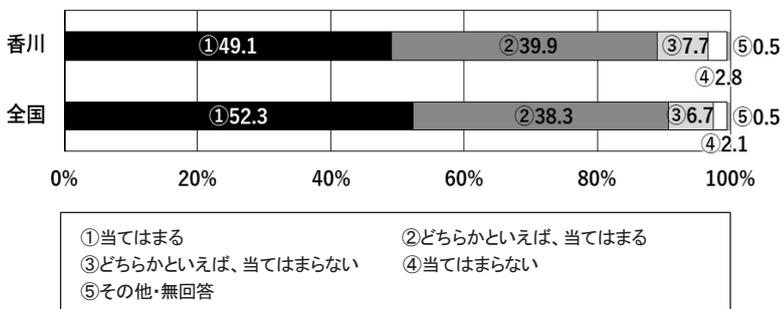
□44 国語の授業の内容はよくわかりますか



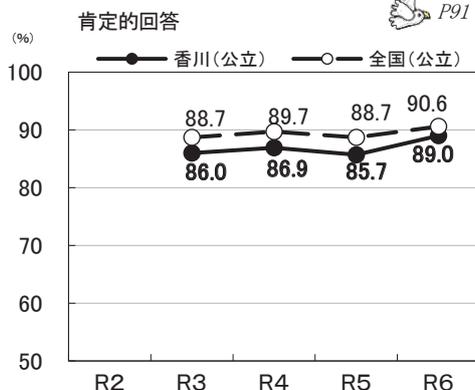
肯定的回答



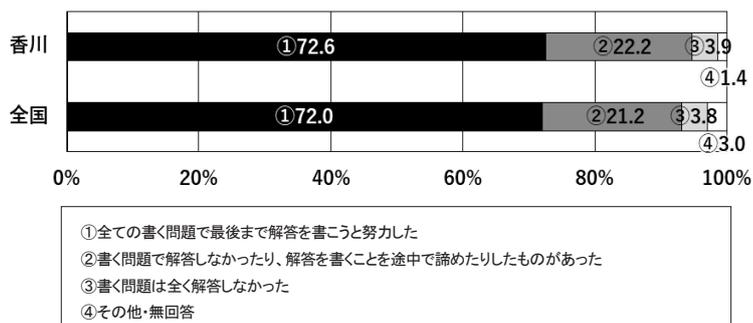
□45 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



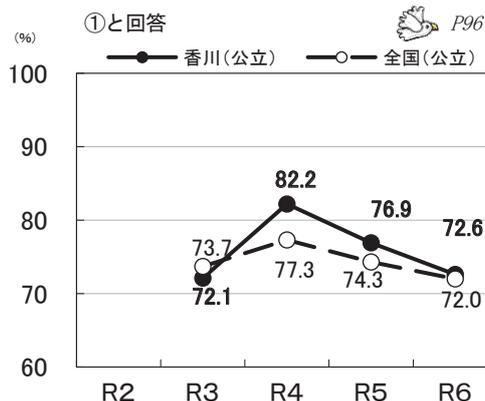
肯定的回答



□国 1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



①と回答



※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。

必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 1 一

藤田さん 私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付かりました。

今井さん たくさん本がある中で、自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは、便利ですね。でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。

藤田さん そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。《図》のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいるのですか。

今井さん 私は、図書館や書店で本を選んでみます。読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本との出会いがあって興味が広がると感じています。

藤田さん 図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

山岡さん そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している側の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

今井さん そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことと似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

山岡さん フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからどのように本を選ぶと思いますか。

山岡さんは、「**フィルターバブル現象の資料**」をもちに、「**話し合いの一部**」をもちに、グループで話題を決めて話し合っています。次の「**話し合いの一部**」を読んで、あとの問いに答えなさい。

山岡さん 皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。

今井さん 私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、興味している将棋に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。

山岡さん 《解説》の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、話題を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。

今井さん 身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

1 フィルターバブル現象

自分の好む情報だけに囲まれ、多様な意見から隔離されやすくなる現象。

《解説》 インターネットを検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好む情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなったりする状態のことを「フィルターバブル現象」という。例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

（文部科学省ウェブページによる。一部改変。）

問題番号	解答類型	香川反応率(%)	全国反応率(%)	正答	
1一	1	1 と解答しているもの	59.5	63.2	◎
	2	2 と解答しているもの	4.8	4.1	
	3	3 と解答しているもの	30.5	28.2	
	4	4 と解答しているもの	4.6	4.0	
	99	上記以外の解答	0.2	0.1	
	0	無解答	0.5	0.4	
		正答率	59.5	63.2	

- 1 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象の資料】の内容に当てはまるかどうかを確認しようとしている。
 - 2 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象の資料】の内容とは関係していないことを明らかにしようとしている。
 - 3 藤田さんの経験をもちに、【フィルターバブル現象の資料】の内容に反対する意見を述べようとしている。
 - 4 藤田さんの経験をもちに、【フィルターバブル現象の資料】の内容に誤りがあることを指摘しようとしている。
- 【話し合いの一部】の——線部①「でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

分析・考察

- 本問題は、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は、59.5%で全国の正答率を3.7ポイント下回っている。
- 解答類型2、3、4の反応率の合計は、39.9%である。解答類型2の生徒は、藤田さんの経験が【フィルターバブル現象の資料】で示された「情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなったりする状態」とは関係していないと誤って捉えたものと考えられる。解答類型3の生徒は、「でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか」の発言の中の「でも」という逆説の接続詞に着目し、今井さんが【フィルターバブル現象の資料】の内容に反対する意見を述べようとしていると誤って捉えたと考えられる。解答類型4の生徒は、藤田さんの経験をもとに、【フィルターバブル現象の資料】の内容に誤りがあることを指摘しようとしたものであると誤って捉えたと考えられる。

授業改善のポイント

【生徒が聞き手に伝えたい、話し手の話を聞きたいという思いがもてる言語活動を設定する】

授業で、「話し手として、真に伝えたいことを話し」たり、「聞き手として、話題に関心をもち質問したり意見を述べ」たりする言語活動を設定する必要がある。

そのためには、生徒が話題を自分の経験等と関連付けて捉えられるように、地域社会の中で見聞きしたことや社会生活の中の出来事等から話題を決めることが重要である。また、他教科等の学習での話し合い活動と関連付けて、本単元を位置付けることも有効である。その際、話し合いの目的（目的意識）や話し合いで目指している到達点を、生徒と常に共有しながら授業を進めていきたい。

【目的や状況に応じて質問したり、聞いた内容を話し手に確認したりする少人数での話し合い活動を行う】

話し合いは、話すことと聞くことが交互に行われる学習活動であり、それぞれの生徒が話し手であり聞き手でもある。話し手が伝えたいことを話すだけでなく、聞き手として話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、目的や状況に応じて質問できるように指導することが大切である。

例えば、実際に話し合いをする学習において、目的や状況に応じた質問になっているかを検討したり振り返ったりするような学習活動を位置づけることが考えられる。その際、質問の意図が明確であったか、質問の意図が聞き手に伝わったか、質問が話し合いの話題に沿っていたかなどについて、質問を具体的に提起して検討できるように指導することが考えられる。

また、話し合いに参加する一人一人が発言する機会を多くもつためには、少人数での話し合い活動を行うことが有効である。多人数での話し合いに比べて、発言する機会を多くもつことができるとともに、話し手と聞き手との距離が近いことで、聞き手の反応を捉えながら話をしやすい。対話やグループでの協議等、日常生活や社会生活で頻繁に行われることも踏まえ、日常生活や他教科等での話し合いに生かすことを意識しながら学習できるように話し合い活動を行うことが大切である。

【話の内容を正確に理解するために質問したことを振り返る】

目的や状況に応じて質問できるように指導するためには、話し合いがどのように進んでいったのかということを生徒自身が確認することが効果的であるが、話し言葉は、一瞬で消えてしまうという特徴があるため、話し合いの参加者が客観的に自己評価することは難しい。

そこで、ICT機器を活用して話し合いの様子を録画し、映像を振り返ることが考えられる。その際には、付けたい力に絞った振り返りの観点を明示し、その観点に沿って振り返ることが重要である。もし、できていなかった場合は、どのように質問をすればよかったか、何を質問すればよかったか等の改善点を考え、もう一度話し合いをしてみるなど、自己評価して終わるのではなく、自己評価がさらに学びにつながるようにすることが重要である。

2 中学校数学

概要

数学について、平均正答率は、おおむね全国平均と同等である。

- 「数と式」「データの活用」で上回っている。
- 「関数」は同等、「図形」で下回っている。

■令和6年度調査結果の集計値

中学校数学	生徒数	学校数	平均正答数 / 設問数	平均正答率 (%)
香川 (公立)	7,220	64	8.5 / 16	53
全国 (公立)	875,952	9,265	8.4 / 16	53 (52.5)

■令和3年度～令和6年度の香川県と全国の調査結果

中学校数学				
調査年度	R 3	R 4	R 5	R 6
香川 (公立) 平均正答率 (%)	56	55	53	53
全国 (公立) 平均正答率 (%)	57 (57.2)	51 (51.4)	51 (51.0)	53 (52.5)
香川と全国との差 (pt)	▲1	4	2	0

■令和4～6年度の領域別調査結果

数学					
学習指導要領の領域		数と式	図形	関数	データの活用
令和六年度	香川（公立） 平均正答率（%）	52.8	39.9	60.7	55.6
	全国（公立） 平均正答率（%）	51.1	40.3	60.7	55.5
	香川と全国との差 (pt)	1.7	▲0.4	0.0	0.1
令和五年度	香川（公立） 平均正答率（%）	64.4	34.8	51.9	52.3
	全国（公立） 平均正答率（%）	63.0	33.2	51.2	48.5
	香川と全国との差 (pt)	1.4	1.6	0.7	3.8
令和四年度	香川（公立） 平均正答率（%）	64.8	44.5	47.2	57.8
	全国（公立） 平均正答率（%）	57.4	43.6	43.6	57.1
	香川と全国との差 (pt)	7.4	0.9	3.6	0.7

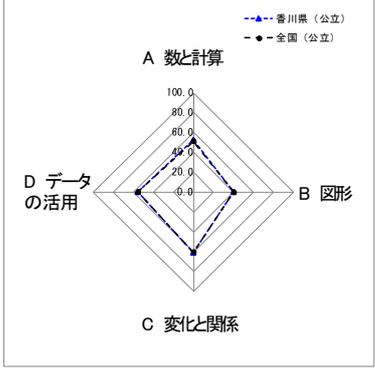
■令和3年度の領域別調査結果

数学					
学習指導要領の領域		数と式	図形	関数	資料の活用
令和三年度	香川（公立） 平均正答率（%）	64.0	49.8	54.9	54.3
	全国（公立） 平均正答率（%）	64.9	51.4	56.4	53.8
	香川と全国との差 (pt)	▲0.9	▲1.6	▲1.5	0.5

問題別調査結果【数学】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	16	53	52.5
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	52.8	51.1
	B 図形	3	39.9	40.3
	C 関数	4	60.7	60.7
	D データの活用	4	55.6	55.5
評価の観点	知識・技能	11	63.5	63.1
	思考・判断・表現	5	30.1	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	58.5	58.5
	短答式	6	67.6	67.0
	記述式	5	30.1	29.3

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	2(1) ア(イ)											36.2	34.8	14.5	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	2(1) ア(エ)											57.5	52.5	7.3	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	回転移動について理解しているかどうかをみる	1(1) ア(イ)											68.4	68.3	0.4	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる			2(1) ア(ア)									66.9	65.3	0.8	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる					2(2) ア(イ)							73.6	73.1	4.7	4.2
6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	1(1) ア(イ)											88.8	90.2	3.3	2.5
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取りたりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(イ)											40.1	35.9	24.3	23.5
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(イ)											41.6	41.8	29.8	29.6
7(1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる												72.1	74.3	6.7	5.8
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる												24.8	25.9	29.4	29.4
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる												51.9	48.5	1.1	0.9
8(1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる												81.1	83.4	1.1	0.8
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる												17.1	17.1	17.2	16.4
8(3)	結衣さんがかけたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる												77.6	76.9	4.3	3.8
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる												27.0	25.8	34.7	33.6
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる												24.5	26.7	4.3	4.5

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校数学】（全16問中3問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2	等式 $6x + 2y = 1$ を y について解く	計算	知技	短答	57.5	7.3	5.0
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	計算	思判表	記述	40.1	24.3	4.2
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	デ活	知技	選択	51.9	1.1	3.4

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校数学】（全16問中）無し

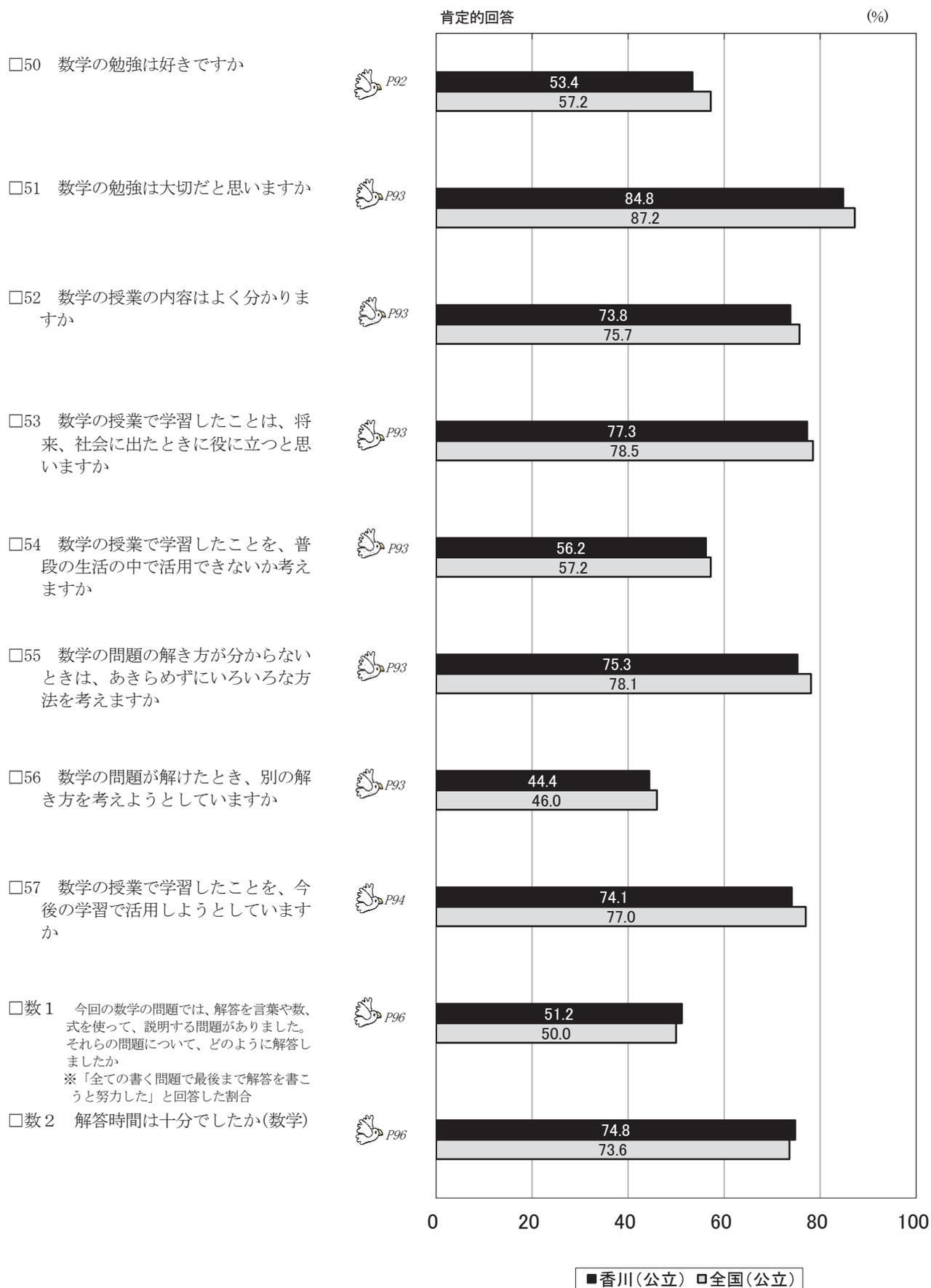
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校数学】（全16問中7問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	香川正答率(%)	香川無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1	n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表す	計算	知技	短答	36.2	14.5	1.4
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	計算	思判表	記述	40.1	24.3	4.2
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	計算	思判表	記述	41.6	29.8	▲0.2
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	デ活	思判表	記述	24.8	29.4	▲1.1
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	変関	思判表	記述	17.1	17.2	0.0
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	図形	思判表	記述	27.0	34.7	1.2
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	図形	知技	選択	24.5	4.3	▲2.2

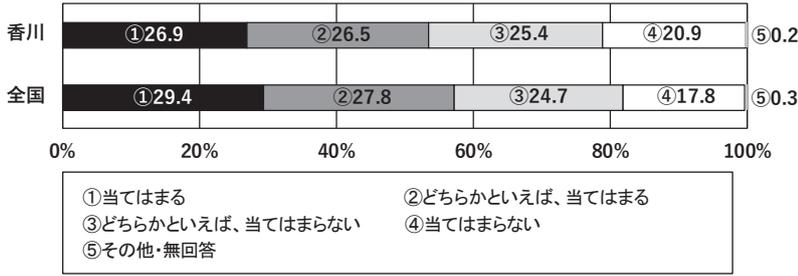
【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 : 計算 図形 : 図形 測定 : 測定 変化と関係 : 変関 データの活用 : デ活	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■中学校数学に関わる質問の全国との比較

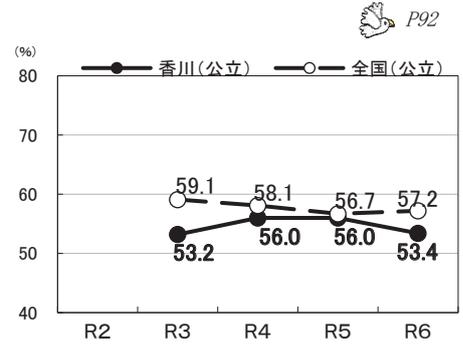


※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P82)

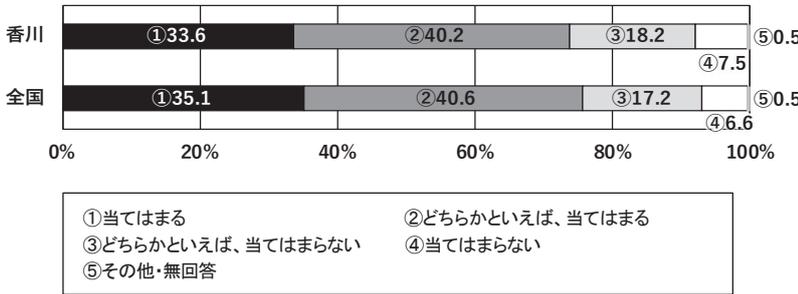
□50 数学の勉強は好きですか



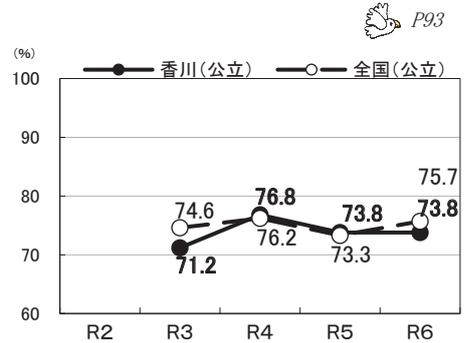
肯定的回答



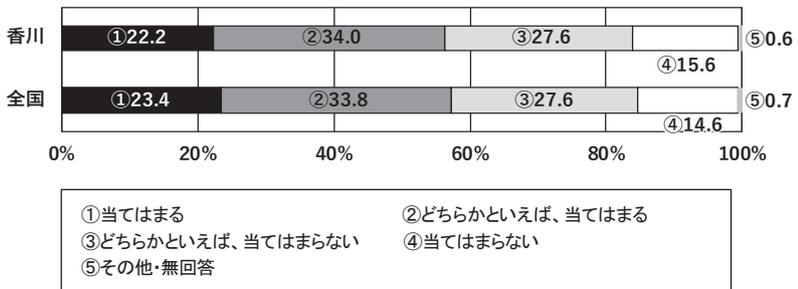
□52 数学の授業の内容はよく分かりますか



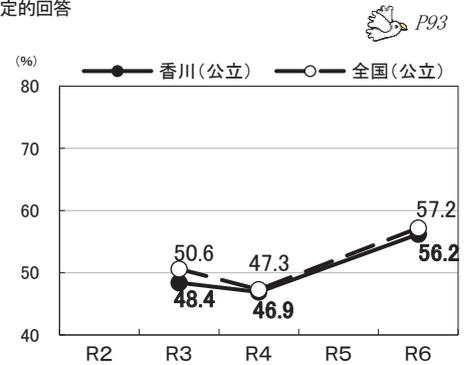
肯定的回答



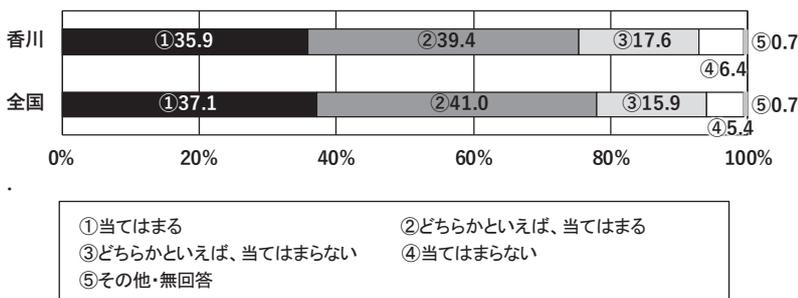
□54 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



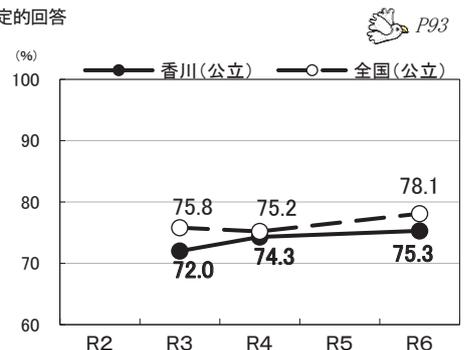
肯定的回答



□55 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



肯定的回答



※肯定的回答とは、回答選択肢①+②を指す。

中学校数学

調査結果から授業改善へ

問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 8(2)

8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

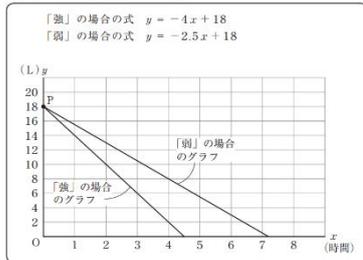
説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから x 時間経過したときの灯油の残量を y Lとして、「強」の場合と「弱」の場合の x と y の関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量



(途中省略)

(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらかを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

問題番号	解答類型	香川反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
	(正答の条件) アを選択し、次の(a)、(b)について記述しているもの、又は、イを選択し、次の(c)、(d)又は(c)、(e)について記述しているもの。 (a)「強」の場合の式と「弱」の場合の式に $y = 0$ を代入すること。 (b)上記(a)に対応する x の値の差を求めること。 (c)「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフの y 座標が0である点に着目すること。 (d)上記(c)に対応する x の値の差を求めること。 (e)上記(c)に対応する2点間の距離を読み取ること。			
※誤答類型については一部省略、特徴的なもののみ表記				
1	アを選択			◎
2		6.4	5.9	
3		0.2	0.1	○
6		3.5	3.1	○
7		3.8	4.1	
8		3.9	4.3	
9		12.3	11.6	
10		7.6	7.5	
11	イを選択			◎
12		3.5	3.7	
13		0.2	0.2	○
14		3.1	3.8	○
15		0.1	0.2	◎
19		0.0	0.0	○
21		0.1	0.1	○
22		9.2	9.6	
23		10.4	10.2	
99		5.5	5.7	
0		8.7	8.5	
		0.4	0.5	
		17.2	16.4	
		17.1	17.1	

分析・考察

- 本問題は事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は17.1%であり、全国と同様、課題がある。

授業改善のポイント

【問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れる】

本問題場面と同様に、日常の事象の中から数学の問題を見だし、解決する活動を設定する。そして、問題を解決するためには、どの2量に着目すればよいか、どのような方法で解決できるか構想を立て、協働的な学習の中で検証していく。その際、問題解決の“道具”（表、グラフ、数式等）の使い方を説明し合う過程で、その“道具”を使う目的やよさについて、気づかせることが大切である。また、解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、関数関係を見だし、見通しを立てた場面や協働的に追求した場面を振り返りながら、工夫して説明する場面を設定することが考えられる。学び方として身につけ、他の身近な問題において、活用させたい。

中学校数学

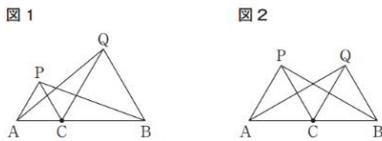
調査結果から授業改善へ

事象を図形に着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるようにする

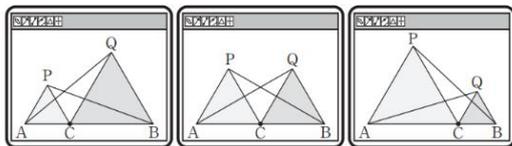
授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 9(1)

9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。
桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

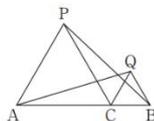


二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。
桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



問題番号	解答類型	香川反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
9	(正答の条件) 次の(a)、(b)、(c)、(d)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。 (a) $AC = PC$ (b) $CQ = CB$ (c) $\angle ACQ = \angle PCB$ (d) $\triangle QAC \cong \triangle BPC$			
1	(a)、(b)、(c)、(d)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。	22.2	19.3	◎
2	(a)、(b)、(c)、(d)について記述しているが、表現が十分でないもの。	4.8	6.5	○
3	上記1、2以外で、正しく証明しているもの。	0.0	0.0	◎
4	上記3について、表現が十分でないもの。	0.0	0.0	○
5	仮定として $AQ = PB$ を用いているもの。	8.4	9.3	
6	上記1～4について、証明に誤りを含んでいるもの。	1.5	1.7	
7	(a)、(b)、(c)について記述しているもの。	1.4	1.2	
8	(a)、(b)について記述しているもの。	9.9	9.6	
9	(d)のみを記述しているもの。	2.5	2.6	
10	上記7～9について、証明に誤りを含んでいるもの。	0.9	1.5	
99	上記以外の解答	13.7	14.6	
0	無解答	34.7	33.6	
	正答率	27.0	25.8	

分析・考察

- 本問題は筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は27.0%であり、全国と同様、課題がある。

授業改善のポイント

【条件を保ったまま動かした図形を観察し、変わらない性質を見いだすことができるようにする】

本問題場面と同様に、1人1台端末でデジタル教材や作図ツールを活用することで条件を変えずに図形の形を変えて、「線分や図形についてきまりはないか？」と考察し、見つけた性質が正しいかどうか根拠を考える活動を設定する。例えば、本設問のように $AQ = PB$ が成り立つかどうかを考える際に、生徒一人一人が自身の判断で、線分の長さや角の大きさを表示させたり、強調したい線分や角、図形に色をつけたりできるようにする工夫が考えられる。なお、紙に作図して考えたい、動的ではなく静止した状態で考えたいと望む生徒に対する教材の準備をしておく必要がある。

また、学習支援アプリを活用し、全員の考えを一斉に電子黒板に表示したり、違う考えを並べて表示させたり、生徒が端末を見せあったりし、 $AQ = PB$ が成り立つことについて、説明し合う活動を設定することが考えられる。

なお、証明を記述することに力点を置きすぎることなく、論理的に思考することのよさや楽しさを実感できるように、生徒自ら試行錯誤し課題解決の方向性を見いだすだけの十分な時間を確保することが重要である。



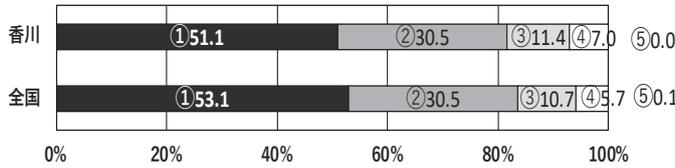
【役立つデジタル教材の例
(啓林館 web サイト)】

5 理科・英語

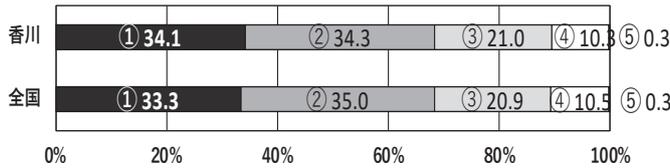
■理科に関わる質問の全国との比較

□58 理科の勉強は好きですか

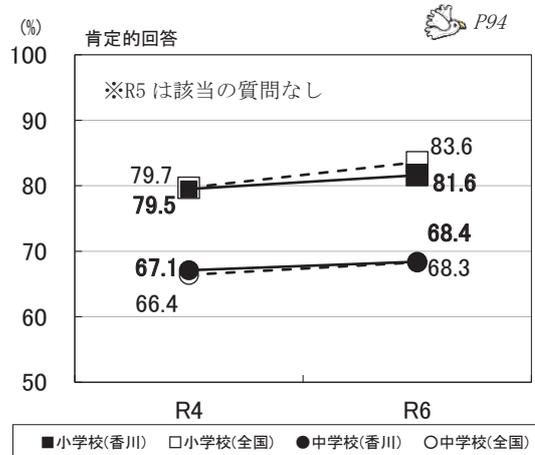
【小学校】



【中学校】

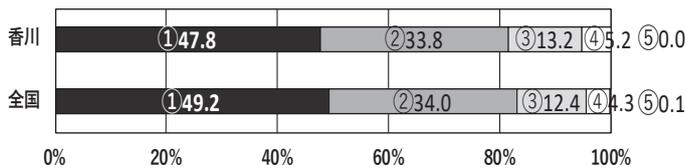


① 当てはまる
② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

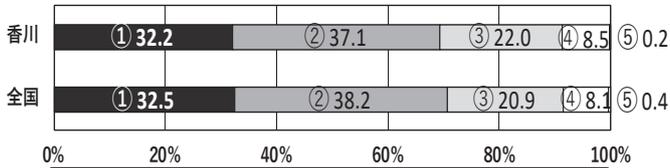


□59 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか

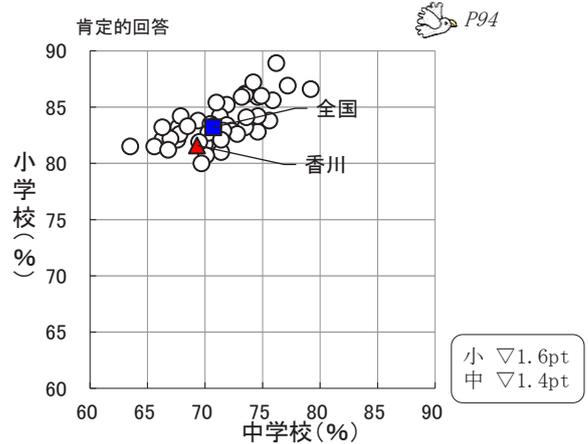
【小学校】



【中学校】



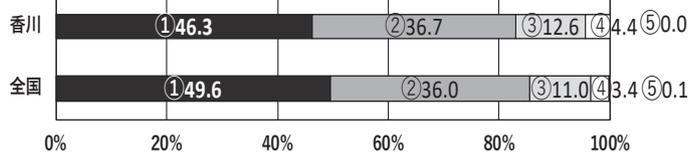
① 当てはまる
② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答



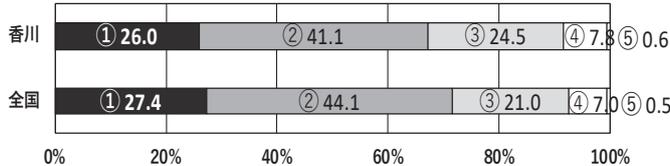
※R6 新設

□60 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

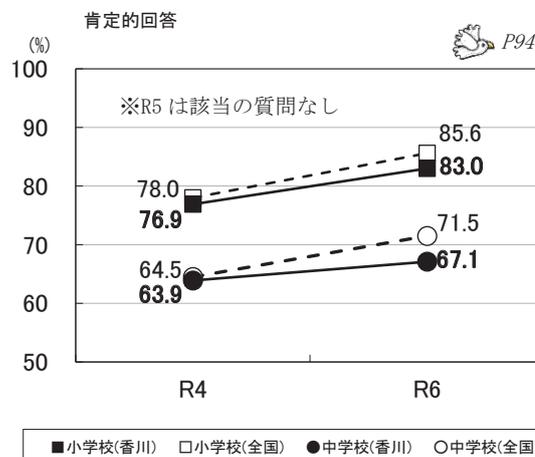
【小学校】



【中学校】



① 当てはまる
② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

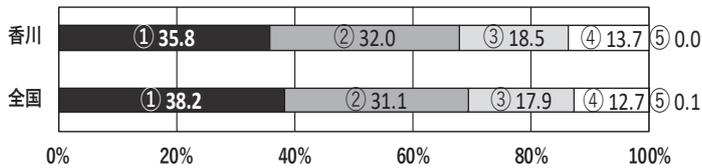


※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。

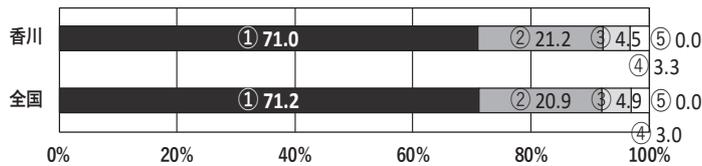
■ 英語に関わる質問の全国との比較

【小学校】

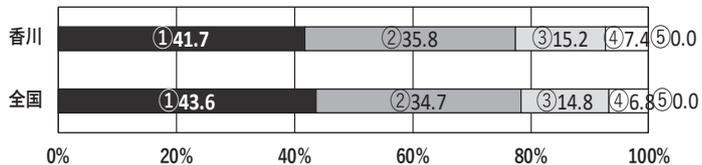
□61 英語の勉強は好きですか



□62 英語の勉強は大切だと思いますか

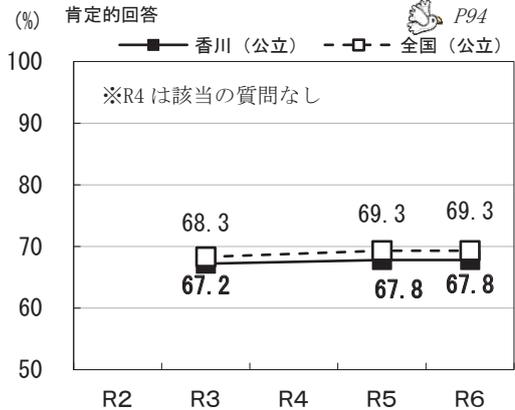


□63 英語の授業の内容はよく分かりますか

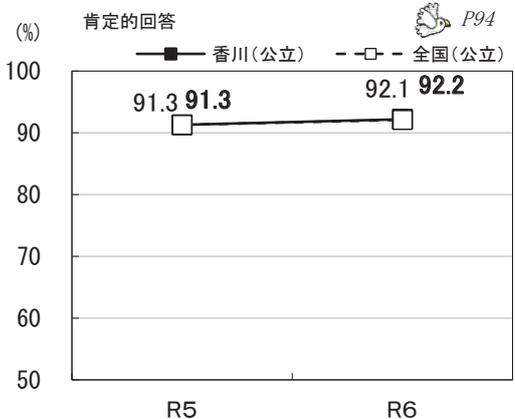


①当てはまる
②どちらかといえば、当てはまる
③どちらかといえば、当てはまらない
④当てはまらない
⑤その他・無回答

□61 英語の勉強は好きですか



□62 英語の勉強は大切だと思いますか



【中学校】

□61 1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

P95

□62 1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

P95

□63 1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか

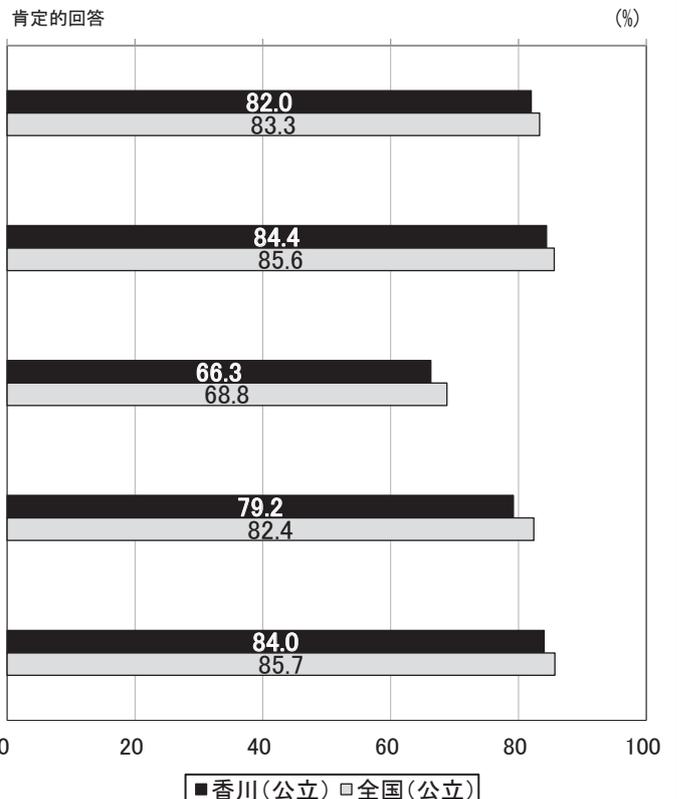
P95

□64 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

P95

□65 1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

P95



※肯定的回答とは、回答選択肢1+2を指す。

「個別最適な学び」の充実に向けて

「個別最適な学び」は、教師の「個に応じた指導」によって実現するものです。

文部科学省は、「個別最適な学び」を、全ての子供が目標達成を目指し、個に応じた方法で学習を進める「指導の個別化」と、個々の興味・関心等に応じた異なる目標に向けて学習を深め、広げる「学習の個性化」の二つに整理しています。そして、この二つの側面を踏まえた「個に応じた指導」を充実させることで、子供が自立した学び手として成長できるようにすることを目指しています。

今後は、「学習の個性化」の視点を取り入れた授業が増えることが望まれます。

①主体的に解決していこうとする意欲を高める

- 教材との出会わせ方を工夫する
- 個々の問いを共有する
- 結果や方法の見通しを話し合う



子供自身が、課題解決の目的や意義を見だし、解決への意欲を高められるようにするためには、課題が自分事になっている必要があります。

どのような学習課題がよいか、題材や教材とどのように出会わせればよいかなど工夫が必要です。全員が見通しをもって取り組めるよう「しかけ」ましょう。

②児童生徒が自立的に学べる環境を整える

学びに関わる選択肢を提供



試行錯誤する経験
自分に適合した学びの経験

自分で選択・決定

そのよさを実感



自己調整しながら学ぶ力

子供が主体的に学習に取り組むためには、子供が自分に合った学び方を選択できるように、解決方法や練習の場など、学びに関わる選択肢を提供し、子供が自己選択・自己決定しながら課題解決に取り組めるようにします。

試行錯誤しながら課題解決し、その過程を振り返ってよさを実感できるようにすることが、学び方を身に付けるとともに、自己調整しながら学ぶ力を育てると考えます。

③見取りと支援、価値付けを大切にする



- 授業中やその前後も含めた学習状況を見取る
- 目の前の児童生徒の理解の状況に応じて対応する
- 取り組んでいる様子を見取って、価値付ける

個に応じるためには、子供の実態を把握し、一人一人が学習のめあてを達成できるよう支えることが大切です。そのためには、授業のねらいに向かって、何を考えさせたいのか、どんなことに気付かせたいのかなどを明確にし、個別の支援を考えます。

支援の際には、つまずきに応じた対応をすることも大切ですが、子供の状況を見極めることも大切です。手がかりを得て自分で解決しようとする姿勢が見られたときには、見守ったり、子供同士の話し合いに委ねたりすることも個に応じた指導となります。

※6月に、香川県教育センターで行われた専門研修314より



学習の過程で試行錯誤するからこそ、「なぜうまくいったのか、いかなかったのか」「どのような考え方が大切だったのか」など、その過程を振り返ることができます。自分の取り組みのよさを実感し、次に生かせるようにすることが大切です。

V 質問調査結果

(児童生徒質問調査・学校質問調査)

1 児童生徒質問調査 結果一覧

校種の欄の1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）

質問番号 小 中	掲載P R5 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P82を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
【基本的生活習慣等】																			
1	1	83	1	朝食を毎日食べていますか	小	82.0	11.3	4.8	1.8								0.0	0.0	-1.4
					中	83.4	10.3	4.6	1.7										
2	2	83	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	78.8	12.3	5.5	3.3								0.0	0.2	-0.3
					中	79.1	12.1	5.8	2.8										0.0
3	3	83	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	37.5	44.2	15.6	2.7								0.0	0.0	-2.2
					中	39.7	43.2	14.3	2.8										0.0
4	4	83	31/ 35	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)	小	54.3	36.9	7.5	1.3								0.0	0.0	-1.8
					中	56.1	35.5	7.1	1.3										0.0
5	5	83	R4 5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	小	56.1	36.6	6.0	0.9								0.0	0.4	0.8
					中	55.3	37.2	6.1	0.9										0.0
6	6	83	R4 6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	小	2.9	3.9	10.6	21.3	30.4	30.9						0.0	0.0	-0.3
					中	3.2	4.3	12.3	24.4	29.9	25.9							0.0	0.0
7	7	84	R4 4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	小	2.1	4.0	9.7	16.9	35.3	31.5						0.0	0.5	-0.2
					中	2.3	3.8	10.5	19.8	34.8	28.4								0.0
8	8	84	新	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか	小	16.2	11.8	19.7	27.4	17.2	7.6						0.0	0.0	-1.5
					中	17.7	12.6	18.9	25.1	17.7	8.0							0.0	0.0
9	9	84	4	自分には、よいところがあると思いますか	小	14.3	12.3	20.5	22.1	17.9	12.1						0.0	0.8	-2.3
					中	16.6	12.4	19.9	21.4	17.7	11.2							0.0	0.8
10	10	84	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小	11.3	8.4	12.9	18.6	13.3	13.0	22.5					0.0	0.0	-0.6
					中	11.9	8.8	13.1	17.3	13.3	14.6	21.1						0.0	0.0
11	11	84	7	将来の夢や目標を持っていますか	小	16.4	14.6	24.2	23.2	10.1	6.1	4.9					0.0	0.6	-1.8
					中	18.2	14.3	23.4	23.3	10.7	5.8	3.4						0.0	0.8
12	12	84	8	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	33.2	34.6	6.7	1.4	11.9	12.2					0.0	0.0	-6.2	
					中	39.4	31.7	4.5	0.9	9.8	13.7							0.0	0.0
13	13	85	9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	30.9	37.3	7.2	1.8	18.0	4.0					0.0	0.7	-3.1	
					中	34.0	38.2	5.6	1.3	16.8	3.2							0.0	0.8
14	14	85	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小	34.3	47.8	15.2	2.7							0.0	0.0	-0.2	
					中	34.5	47.8	14.9	2.7									0.0	0.0
15	15	85	11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	29.8	47.5	18.8	3.2							0.0	0.7	1.4	
					中	28.4	48.3	18.8	3.7									0.0	0.7
【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】																			
9	9	84	4	自分には、よいところがあると思いますか	小	41.4	39.0	12.7	6.9							0.0	0.0	-2.0	
					中	43.4	40.7	10.5	5.4									0.0	0.0
10	10	84	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小	38.4	42.2	13.3	5.8							0.0	0.2	-2.0	
					中	40.4	42.9	11.8	4.7									0.0	0.2
11	11	84	7	将来の夢や目標を持っていますか	小	44.7	42.0	9.4	3.8							0.0	0.0	-4.1	
					中	48.8	41.1	7.3	2.7									0.0	0.1
12	12	84	8	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	43.8	46.2	7.4	2.4							0.0	0.2	-0.4	
					中	44.2	46.2	7.0	2.3									0.0	0.4
13	13	85	9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	62.6	21.7	8.9	6.9							0.0	0.0	2.0	
					中	60.6	21.8	9.8	7.7									0.0	0.0
14	14	85	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小	35.3	30.0	20.9	13.1							0.0	0.6	-0.8	
					中	36.1	30.2	20.6	12.6									0.0	0.5
15	15	85	11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	43.3	48.6	7.0	1.1							0.0	0.0	-2.7	
					中	46.0	46.7	6.2	1.1									0.0	0.0
16	16	85	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	37.1	52.6	8.7	1.2							0.0	0.5	-1.2	
					中	38.3	51.8	8.3	1.2									0.0	0.5
17	17	85	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	80.2	16.2	2.6	0.9							0.0	0.0	0.7	
					中	79.5	17.2	2.5	0.8									0.0	0.0
18	18	85	14	友達関係に満足していますか	小	78.5	17.2	2.9	0.8							0.0	0.5	1.0	
					中	77.5	18.2	2.9	0.9									0.0	0.5
19	19	86	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	27.6	36.7	23.6	12.1							0.0	0.0	-2.6	
					中	30.2	36.9	22.2	10.6									0.0	0.0
20	20	86	新	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	小	28.8	38.8	22.0	9.8							0.0	0.6	0.1	
					中	28.7	38.8	21.9	10.2									0.0	0.5
21	21	85	14	友達関係に満足していますか	小	72.0	23.7	2.9	1.4							0.0	0.0	0.9	
					中	71.1	24.8	2.9	1.1									0.0	0.0
22	22	85	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	70.2	25.5	2.6	1.2							0.0	0.5	1.6	
					中	68.6	26.6	3.1	1.1									0.0	0.6
23	23	85	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	47.6	37.1	10.1	5.1							0.0	0.0	0.4	
					中	47.2	37.6	10.2	5.0									0.0	0.0
24	24	85	14	友達関係に満足していますか	小	42.7	40.2	11.4	5.0							0.0	0.7	-0.8	
					中	43.5	40.3	10.8	4.7									0.0	0.6
25	25	85	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	30.2	45.6	17.9	6.2							0.0	0.0	-0.1	
					中	30.3	45.5	18.6	5.5									0.0	0.0
26	26	85	14	友達関係に満足していますか	小	30.7	45.7	18.6	4.4							0.0	0.6	0.4	
					中	30.3	45.9	18.7	4.5									0.0	0.6
27	27	85	14	友達関係に満足していますか	小	62.0	28.5	7.0	2.4							0.0	0.0	-0.4	
					中	62.4	28.7	6.7	2.2									0.0	0.0
28	28	86	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	53.4	36.3	6.8	2.7							0.0	0.8	-1.6	
					中	55.0	35.1	7.2	2.1									0.0	0.6
29	29	86	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	47.2	43.3	8.3	1.2							0.0	0.0	-3.6	
					中	50.8	40.9	7.4	1.0									0.0	0.0
30	30	86	新	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	小	42.1	46.7	9.3	1.1							0.0	0.9	-2.5	
					中	44.6	45.2	8.6	1.0									0.0	0.6
【学習習慣、学習環境等】																			
20	20	86	新	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	小	27.6	50.4	18.2	3.7							0.0	0.1	-2.7	
					中	30.3	50.4	16.2	3.1									0.0	0.1
31	31	86	新	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	小	28.5	48.4	19.2	3.5							0.0	0.4	0.3	
					中	28.2	50.4	18.1	3.0									0.0	0.4

※「R5番号」欄の「新」は、R6年度新たに問われた質問。「R4～」は、R5年度にはなかったが、R4年度にはあった質問。
 ※【その他】とは、「選択肢以外の解答や複数回答」されたものである。

質問番号	掲載P	R5 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P82を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
21	21	86	17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	6.3	13.0	31.4	30.4	14.2	4.6						0.0	0.0	-4.7	
					中	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3							0.0	0.1	-4.2
					大	7.3	22.8	33.4	19.5	9.9	6.5							0.0	0.5	-1.9
22	22	86	18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	4.0	4.0	10.1	27.5	39.5	14.8						0.0	0.1	-3.3	
					中	7.3	4.3	9.9	27.1	36.2	15.1							0.0	0.1	-3.6
					大	5.5	9.2	21.1	29.9	22.7	10.9							0.0	0.7	-0.2
23	23	86	22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか〔(一般の)雑誌、新聞、教科書は除く〕	小	13.4	20.4	34.3	17.0	9.9	5.0						0.0	0.0	-1.2	
					中	14.6	21.3	32.2	17.0	10.2	4.7						0.0	0.0	-2.1	
					大	18.5	22.2	30.4	14.1	10.3	3.9						0.0	0.5	0.5	
24	24	86	23	新聞を読んでいますか	小	3.7	7.5	14.1	74.6							0.0	0.0	0.0		
					中	3.7	7.9	12.4	76.0							0.0	0.0	-0.4		
					大	3.0	5.6	11.0	78.4							0.0	2.0	0.9		
【地域や社会に関わる活動の状況等】																				
25	25	87	26/ 30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	小	38.2	45.0	13.2	3.6								0.0	0.0	1.4	
					中	36.8	46.7	12.9	3.5								0.0	0.0	-0.3	
					大	28.4	48.0	17.9	5.3								0.0	0.4	2.0	
26	26	87	R4 31	放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか	小	26.4	49.7	18.1	5.5							0.0	0.3	0.3		
					中	50.2	6.3	3.7	23.0	40.3	49.2	81.9	70.5	59.4	1.2	0.0	0.0	0.9		
					大	49.3	5.7	4.4	24.4	38.2	46.7	79.1	65.6	64.2	1.3	0.0	0.0	1.5		
【ICTを活用した学習状況】																				
27	27	87	29/ 33	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	小	78.1	43.9	3.7	38.5	23.9	30.5	86.9	70.3	60.5	1.2	0.0	0.1	7.0		
					中	71.1	46.1	3.9	38.5	23.6	30.4	88.6	68.0	62.3	1.2	0.0	0.1	4.8		
					大	16.4	31.0	30.7	16.0	5.9								0.0	0.0	-8.9
28 5年生まで(1、2年生のとき)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどのくらい当てはまりますか。																				
28-1	28-1	87	新	(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	小	31.1	52.9	13.2	2.7								0.0	0.1	-2.7	
					中	33.8	51.7	11.9	2.5								0.0	0.1	-1.5	
					大	28.7	50.2	16.9	3.7								0.0	0.6	0.0	
28-2	28-2	87	新	(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	小	28.7	51.5	16.0	3.3								0.0	0.6	-1.3	
					中	56.6	35.5	6.4	1.6								0.0	0.0	-1.8	
					大	58.4	33.7	6.3	1.5								0.0	0.1	0.0	
28-3	28-3	87	新	(3)楽しみながら学習を進めることができる	小	59.6	33.1		1.6								0.0	0.7	-3.2	
					中	62.8	31.1	4.0	1.2								0.0	0.7	-1.2	
					大	47.3	38.9	11.0	2.8								0.0	0.0	0.4	
28-4	28-4	88	新	(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	小	46.9	39.1	11.1	2.8								0.0	0.1	0.2	
					中	42.7	40.9	12.3	3.5								0.0	0.6	3.6	
					大	39.1	43.3	13.4	3.4								0.0	0.8	1.2	
28-5	28-5	88	新	(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	小	47.2	41.8	8.9	2.0								0.0	0.0	-0.4	
					中	47.6	42.2	8.3	1.9								0.0	0.1	-0.8	
					大	42.5	46.5	8.3	2.2								0.0	0.5	-0.4	
28-6	28-6	88	新	(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	小	42.9	46.1	8.2	2.0								0.0	0.8	0.0	
					中	31.7	46.9	17.8	3.6								0.0	0.0	-1.6	
					大	33.3	45.9	17.2	3.5								0.0	0.1	-0.6	
28-7	28-7	88	新	(7)友達と協力しながら学習を進めることができる	小	30.2	46.5	18.5	4.1								0.0	0.7	0.1	
					中	30.1	47.6	17.6	3.7								0.0	0.9	-1.0	
					大	44.7	42.2	10.4	2.8								0.0	0.0	0.1	
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																				
29	29	88	32/ 36	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	44.6	41.5	11.1	2.7								0.0	0.1	0.8	
					中	40.3	45.4	10.7	2.7								0.0	0.8	-0.7	
					大	41.0	45.2	10.3	2.7								0.0	0.9	-0.5	
30	30	88	33/ 37	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小	44.9	41.9	10.3	2.9								0.0	0.0	-1.3	
					中	46.2	40.9	10.2	2.7								0.0	0.1	-0.3	
					大	40.2	45.0	10.8	3.1								0.0	0.8	0.4	
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																				
29	29	88	32/ 36	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	39.8	45.4	11.1	2.9								0.0	0.8	0.0	
					中	23.5	40.8	24.9	9.0	1.8							0.0	0.0	-2.4	
					大	25.9	41.7	23.0	7.8	1.7							0.0	0.1	-3.3	
30	30	88	33/ 37	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小	18.9	35.9	28.1	14.8	2.1							0.0	0.4	-3.3	
					中	22.2	42.6	23.3	9.3	2.2							0.0	0.4	-10.0	
					大	25.4	52.7	18.7	3.2								0.0	0.0	-4.1	
31	31	89	34/ 38	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小	29.5	52.4	15.6	2.5								0.0	0.1	-3.8	
					中	25.5	51.2	20.0	2.9								0.0	0.3	-1.7	
					大	27.2	53.1	16.7	2.6								0.0	0.4	-3.6	
32	32	89	35/ 39	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小	26.1	49.6	20.8	3.5								0.0	0.0	-3.6	
					中	29.7	49.9	17.3	3.0								0.0	0.1	-3.9	
					大	24.2	49.3	21.7	4.0								0.0	0.7	-0.5	
33	33	89	新	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	小	24.7	50.7	20.3	3.7								0.0	0.6	-1.9	
					中	34.3	49.4	13.1	3.2								0.0	0.0	-0.1	
					大	34.4	49.9	12.7	3.0								0.0	0.1	-0.6	
34	34	89	37/ 41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	26.2	54.7	15.1	3.3								0.0	0.7	1.3	
					中	24.9	56.0	15.5	3.1								0.0	0.6	0.0	
					大	40.1	45.7	10.8	2.7	0.7							0.0	0.0	-1.3	
33	33	89	新	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	小	41.4	44.9	10.5	2.3	0.8						0.0	0.1	-0.5		
					中	35.1	49.7	11.0	2.8	0.9							0.0	0.6	-1.3	
					大	36.4	49.7	9.8	2.4	1.1							0.0	0.6	-1.3	
34	34	89	37/ 41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	30.0	49.3	17.0	3.6							0.0	0.0	-1.9		
					中	31.9	48.9	16.0	3.1								0.0	0.1	-1.5	
					大	26.4	49.8	19.3	3.6								0.0	0.8	-0.7	
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																				
34	34	89	37/ 41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	27.1	50.8	18.0	3.2								0.0	0.9	-1.7	
					中															
					大															

質問番号 小 中	掲載P	R5 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P82を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
35	35	89	新	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	小	35.4	47.9	13.7	2.9							0.0	0.0	-0.5
					中	28.1	50.9	16.6	3.5							0.0	0.9	0.6
						27.5	51.5	16.5	3.4							0.0	1.0	0.0
36	36	89	6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	小	47.9	39.6	9.6	2.9							0.0	0.0	0.6
					中	35.7	48.8	11.4	3.0							0.0	1.1	0.2
						35.5	49.4	11.5	2.7							0.0	1.0	-0.4
37	37	90	新	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	小	47.0	44.1	7.4	1.4							0.0	0.0	-0.8
					中	43.6	47.3	6.6	1.5							0.0	1.0	-2.5
						46.1	46.2	5.4	1.4							0.0	0.9	-1.4
【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】																		
38	38	90	39/ 43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	32.2	46.8	17.2	3.9							0.0	0.0	-4.3
					中	27.2	47.9	20.1	4.3							0.0	0.5	-6.5
						33.7	48.5	14.1	3.2							0.0	0.5	-7.1
39	39	90	40/ 44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小	38.2	47.5	11.4	2.9							0.0	0.0	1.9
					中	34.6	50.7	11.4	2.7							0.0	0.6	-0.9
						35.5	50.8	10.7	2.5							0.0	0.5	-1.0
40	40	90	41/ 45	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小	33.1	47.7	15.7	3.4							0.0	0.1	-1.8
					中	29.7	50.7	15.5	3.6							0.0	0.4	-0.5
						30.2	50.4	15.3	3.5							0.0	0.6	-0.2
41	41	90	42/ 46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小	47.1	40.7	9.8	2.3							0.0	0.0	-0.2
					中	49.8	41.9	6.0	1.8							0.0	0.4	0.5
						47.3	40.9	9.3	2.4							0.0	0.1	-0.4
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】																		
42	42	90	43/ 47	国語の勉強は好きですか	小	18.6	34.7	28.1	18.5							0.0	0.1	-5.5
					中	24.1	37.9	24.4	13.6							0.0	0.1	-8.7
						24.9	37.0	25.7	12.1							0.0	0.3	0.5
43	43	91	44/ 48	国語の勉強は大切だと思いますか	小	24.4	39.9	25.2	10.3							0.0	0.3	-2.4
					中	66.6	27.0	3.9	2.3							0.0	0.0	-0.9
						67.5	27.0	3.6	1.9							0.0	0.1	-0.9
44	44	91	45/ 49	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	59.2	32.8	5.3	2.4							0.0	0.4	-3.2
					中	62.4	31.5	4.1	1.6							0.0	0.4	-1.9
						33.3	49.6	13.5	3.5							0.0	0.1	-5.9
45	45	91	46/ 50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	39.2	47.1	10.8	2.8							0.0	0.1	-3.4
					中	31.2	49.7	15.0	3.6							0.0	0.5	-0.8
						32.0	50.7	13.6	3.0							0.0	0.5	-1.8
46	46	91	新	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか	小	65.3	28.4	4.3	2.0							0.0	0.0	3.5
					中	61.8	31.4	4.9	1.8							0.0	0.1	0.5
						49.1	39.9	7.7	2.8							0.0	0.5	-3.2
47	47	91	新	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えられていますか	小	52.3	38.3	6.7	2.1							0.0	0.5	-1.6
					中	26.7	50.8	18.6	3.8							0.0	0.1	-0.8
						27.5	50.8	17.9	3.7							0.0	0.1	-0.8
48	48	92	新	国語の授業で、話や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	小	25.3	50.9	19.2	3.7							0.0	0.8	-0.9
					中	26.2	52.5	17.1	3.4							0.0	0.8	-2.5
						29.2	50.8	16.6	3.3							0.0	0.1	-0.5
49	49	92	新	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	小	29.7	50.3	16.5	3.4							0.0	0.1	0.0
					中	28.4	50.5	16.9	3.3							0.0	1.0	-0.4
						28.8	51.7	15.3	3.1							0.0	1.1	-1.6
50	50	92	51/ 55	算数(数学)の勉強は好きですか	小	35.2	46.5	14.9	3.4							0.0	0.1	-1.9
					中	37.1	46.1	13.6	3.1							0.0	0.1	-1.5
						26.5	47.0	20.7	4.7							0.0	1.2	-1.8
51	51	93	52/ 56	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	28.3	48.4	18.3	3.9							0.0	1.2	-3.2
					中	40.6	42.6	13.4	3.3							0.0	0.1	-2.3
						42.9	41.5	12.3	3.2							0.0	0.1	-1.2
52	52	93	53/ 57	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	27.9	51.1	15.9	4.0							0.0	1.1	-2.2
					中	30.1	51.9	14.0	2.9							0.0	1.1	-3.0
						35.9	26.3	19.3	18.5							0.0	0.0	1.9
53	53	93	54/ 58	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	34.0	27.0	21.4	17.7							0.0	0.1	1.2
					中	26.9	26.5	25.4	20.9							0.0	0.2	-2.5
						29.4	27.8	24.7	17.8							0.0	0.3	-3.8
54	54	93	55/ 59	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	75.1	19.4	3.2	2.2							0.0	0.0	0.8
					中	74.3	20.3	3.3	2.1							0.0	0.1	-0.1
						50.0	34.8	10.2	4.7							0.0	0.3	-2.8
55	55	93	56/ 60	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	52.8	34.4	8.8	3.6							0.0	0.3	-2.4
					中	43.9	37.5	12.9	5.6							0.0	0.0	-1.0
						44.9	37.2	13.1	4.8							0.0	0.1	-0.7
56	56	93	57/ 61	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	33.6	40.2	18.2	7.5							0.0	0.5	-1.5
					中	35.1	40.6	17.2	6.6							0.0	0.5	-1.9

質問番号 小 中	掲載P	R5 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P82を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
53	53	93	R4 54/58	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	72.7	21.7	3.6	1.9								0.0	0.0	1.0
					中	38.9	38.4	15.5	6.7										0.0
54	54	93	R4 57	算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	41.8	35.9	15.4	6.9								0.0	0.0	-0.5
					中	22.2	34.0	27.6	15.6									0.0	0.6
55	55	93	R4 58	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あらかじめいろいろな方法を考えますか	小	47.0	36.0	12.6	4.4								0.0	0.0	0.0
					中	35.9	39.4	17.6	6.4									0.0	0.7
56	56	93	新	算数(数学)の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	小	28.9	31.7	25.2	14.1								0.0	0.1	-2.2
					中	18.7	25.7	32.8	22.0									0.0	0.8
57	57	94	新	算数(数学)の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	小	47.7	36.8	11.2	4.2								0.0	0.1	-0.4
					中	32.4	41.7	16.4	8.7									0.0	0.8
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】																			
58	58	94	R4 61	理科の勉強は好きですか	小	51.1	30.5	11.4	7.0								0.0	0.0	-2.0
					中	34.1	34.3	21.0	10.3									0.0	0.3
59	59	94	新	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがあります	小	47.8	33.8	13.2	5.2								0.0	0.0	-1.4
					中	32.2	37.1	22.0	8.5									0.0	0.2
60	60	94	R4 67	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	小	46.3	36.7	12.6	4.4								0.0	0.0	-3.3
					中	26.0	41.1	24.5	7.8									0.0	0.6
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】																			
61	94	55/59	×/61	英語の勉強は好きですか	小	35.8	32.0	18.5	13.7								0.0	0.0	-2.4
					中	38.2	31.1	17.9	12.7									0.0	0.1
62	94	56/60	×/66	英語の勉強は大切だと思いますか	小	71.0	21.2	4.5	3.3								0.0	0.0	-0.2
					中	71.2	20.9	4.9	3.0									0.0	0.0
63	95	×/61	×/66	英語の授業の内容はよく分かりますか	小	41.7	35.8	15.2	7.4								0.0	0.0	-1.9
					中	43.6	34.7	14.8	6.8									0.0	0.0
61	95	×/66	×/67	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	小	37.7	44.3	12.2	5.2								0.0	0.6	0.6
					中	37.1	46.2	11.5	4.7									0.0	0.5
62	95	×/67	×/68	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	小	39.4	45.0	10.7	4.4								0.0	0.5	0.6
					中	38.8	46.8	10.1	3.9									0.0	0.5
63	95	×/68	×/69	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	小	26.1	40.2	23.7	9.1								0.0	0.9	-2.0
					中	28.1	40.7	21.7	8.5									0.0	0.9
64	95	×/69	×/70	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	小	39.9	39.3	14.2	5.8								0.0	0.8	-4.1
					中	44.0	38.4	11.6	5.0									0.0	1.0
65	95	×/70	×/70	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	小	41.4	42.6	10.4	4.5								0.0	1.0	-3.5
					中	44.9	40.8	9.4	3.9									0.0	1.0
【各教科に関する調査の解答状況】																			
国1	国1	96	国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	84.2	12.2	1.4									0.0	2.2	5.1
					中	79.1	14.9	2.2										0.1	3.7
国2	国2	96	国2	解答時間は十分でしたか(国語)	小	72.6	22.2	3.9									0.0	1.4	0.6
					中	72.0	21.2	3.8										0.0	3.0
算1	算1	96	算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	30.2	39.5	24.2	3.8								0.0	2.2	-2.7
					中	32.9	35.6	23.8	3.9									0.0	3.8
算2	算2	96	算2/数2	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	38.3	41.1	16.8	2.4								0.0	1.4	5.1
					中	33.2	41.3	20.1	2.4									0.0	3.1
算1	算1	96	算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	85.6	11.5	1.1									0.0	1.8	6.9
					中	78.7	16.8	1.6										0.1	2.8
算2	算2	96	算2/数2	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	51.2	42.1	5.5									0.0	1.2	1.2
					中	50.0	41.6	6.4										0.0	2.0
算2	算2	96	算2/数2	解答時間は十分でしたか(算数・数学)	小	60.4	25.4	10.0	2.3								0.0	1.9	-0.9
					中	61.3	22.9	10.6	2.4									0.0	2.8
算2	算2	96	算2/数2	解答時間は十分でしたか(算数・数学)	小	43.3	31.5	19.3	4.8								0.0	1.2	2.3
					中	41.0	32.6	20.3	4.1									0.0	2.0

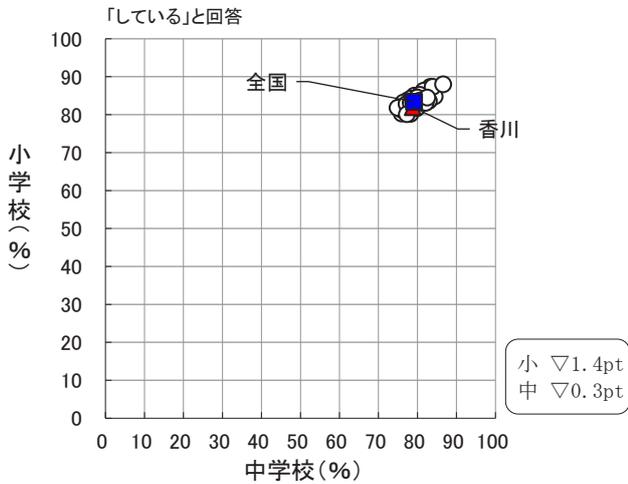
質問番号	選 択 肢
1～3、8	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
4	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない
5、22	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
6	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 30分以上、1時間より少ない 6 30分より少ない 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない
7	1 きちんと守っている 2 だいたい守っている 3 あまり守っていない 4 守っていない 5 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない 6 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
9～18、25、30～32、34～63 */64、*/65	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
19	1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 全くない
20	1 できている 2 どちらかといえば、できている 3 どちらかといえば、できていない 4 できていない
21	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
23	1 0～10冊 2 11～25冊 3 26～100冊 4 101～200冊 5 201～500冊 6 501冊以上
24	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1～3回程度読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
26	1 家で勉強や読書をしている/学校の部活動に参加している 2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している/家で勉強や読書をしている 3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む) 4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している 5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている 6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている 7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている 8 家族と過ごしている 9 友達と遊んでいる 10 1～9に当てはまるものがない
27	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
28	1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない
29	1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった 4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった
33	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない 5 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない
国1、算1 数1	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった
国2、算2、数2	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

2 児童生徒質問調査 回答結果グラフ

【基本的生活習慣等】

朝食

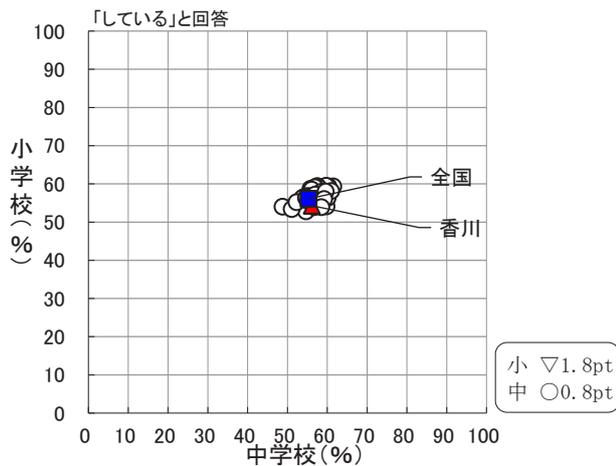
□ 1/1 朝食を毎日食べていますか



【基本的生活習慣等】

起きる時刻

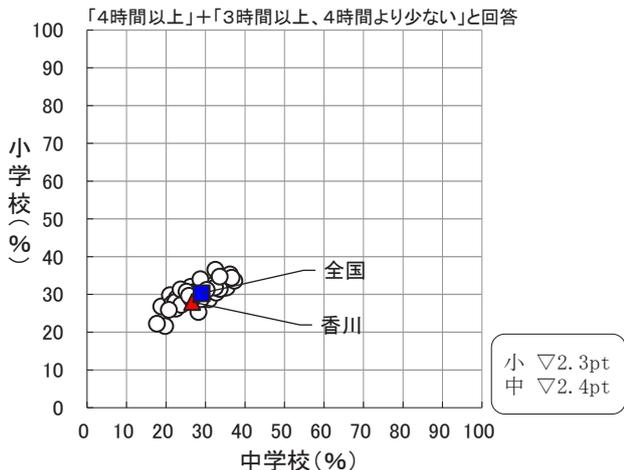
□ 3/3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【基本的生活習慣等】

ゲームの時間

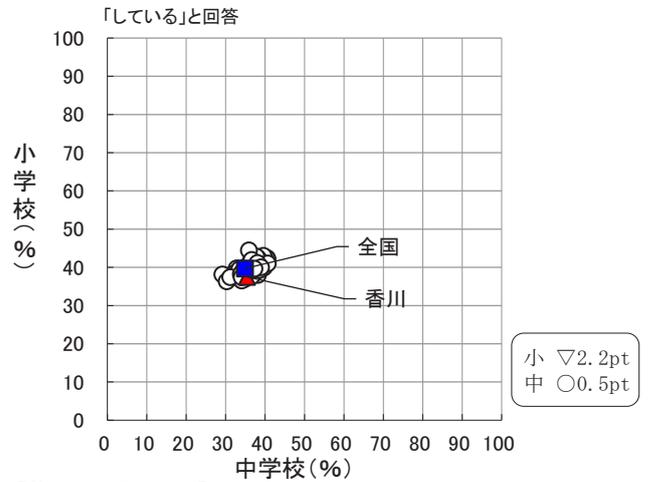
□ 5/5 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



【基本的生活習慣等】

寝る時刻

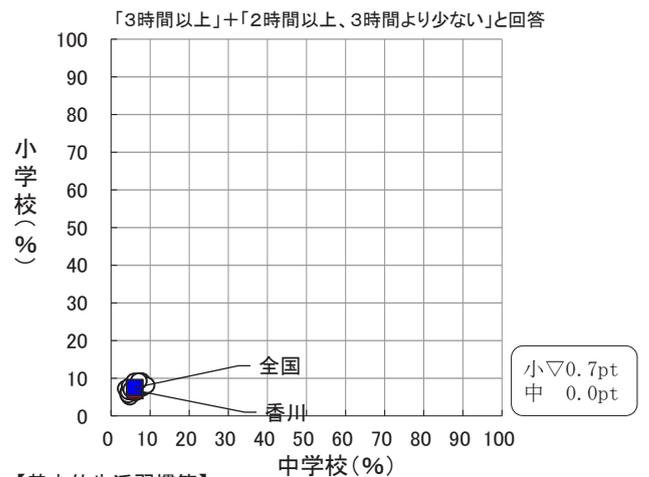
□ 2/2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的生活習慣等】

授業時間以外で、ICT機器を勉強のために使っている

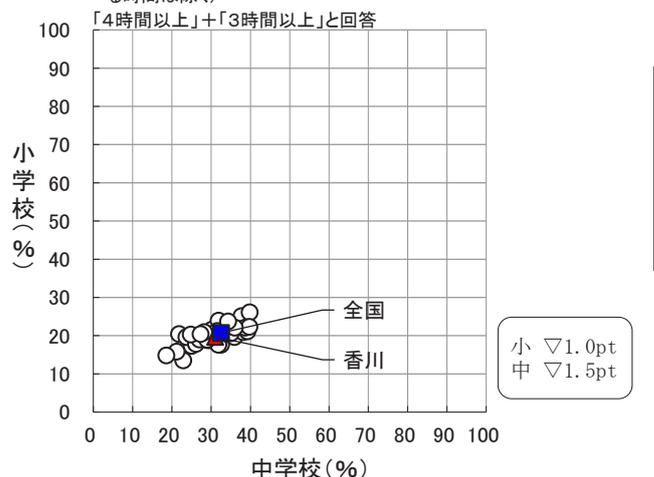
□ 4/4 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



【基本的生活習慣等】

SNSや動画視聴の時間

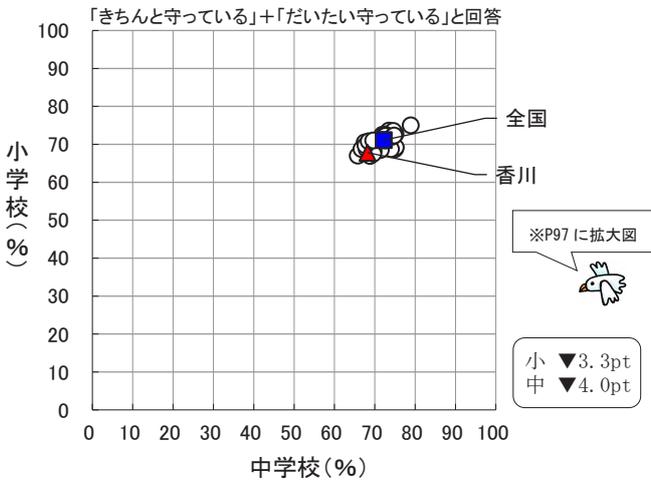
□ 6/6 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



【基本的生活習慣等】

家の人との約束（コンピュータ等の使い方）

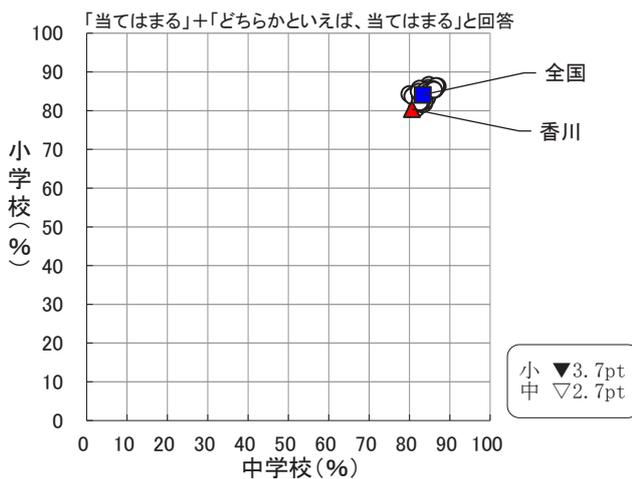
□ 7/7 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

自分にはよいところがある

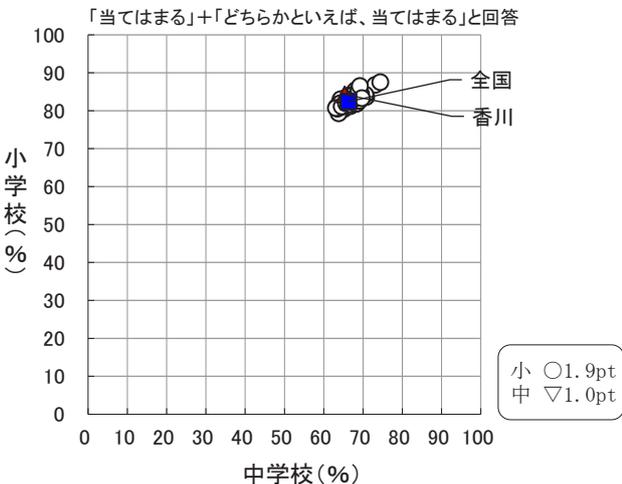
□ 9/9 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

将来の夢や目標

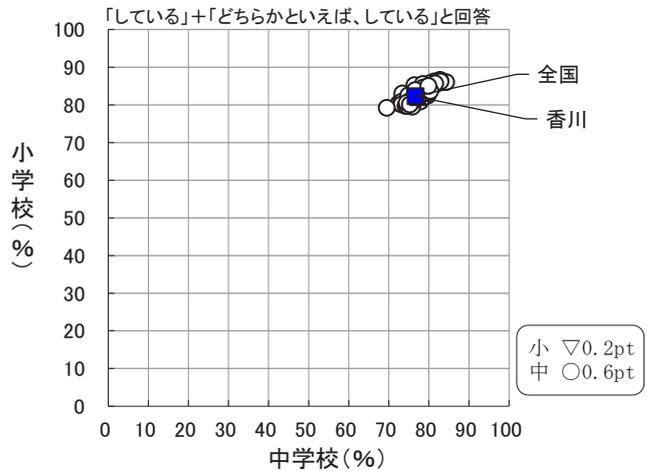
□ 11/11 将来の夢や目標を持っていますか



【基本的生活習慣等】

普段の生活に役立っている

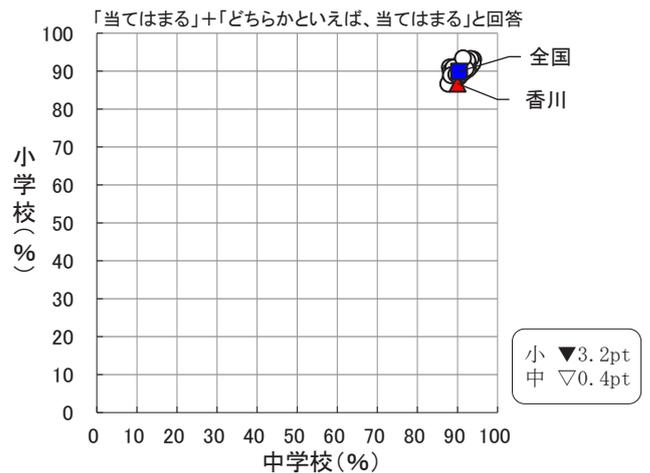
□ 8/8 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

先生はよいところを認めてくれている

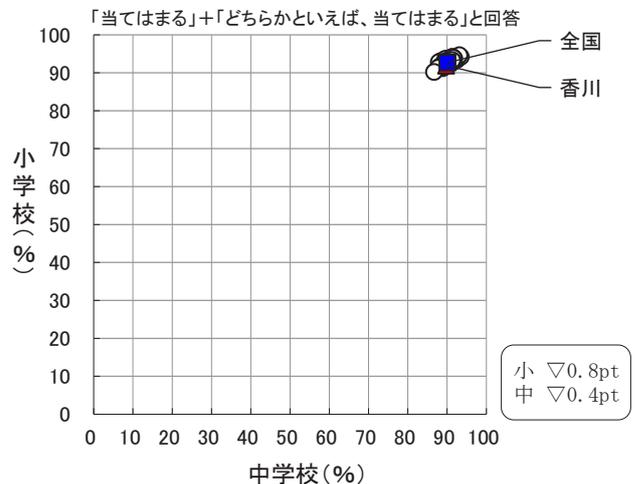
□ 10/10 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

人が困っているときは、進んで助ける

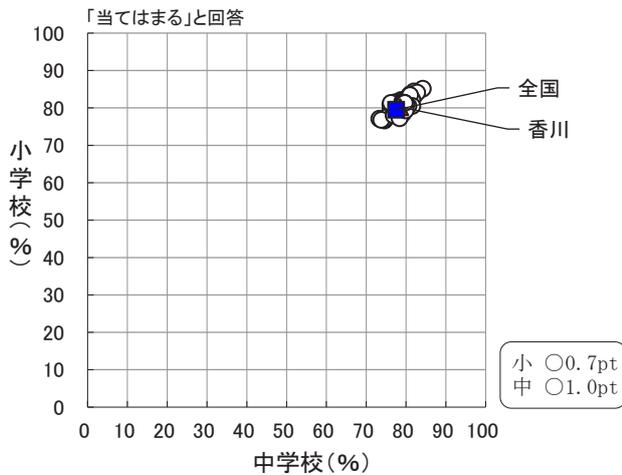
□ 12/12 人が困っているときは、進んで助けていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

いじめはいけないことだ

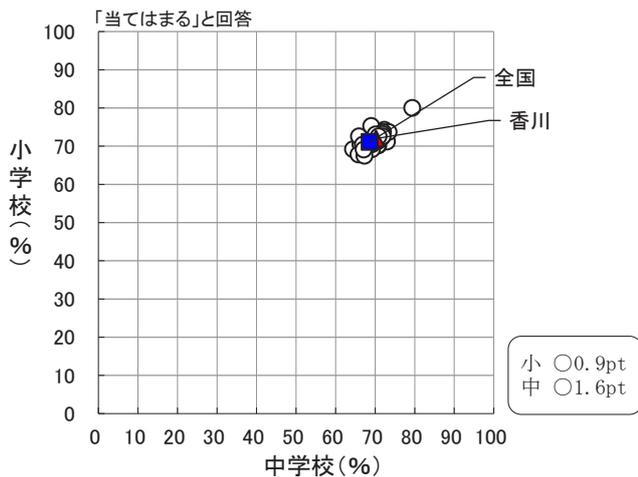
□ 13/13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

人の役に立つ人間になりたい

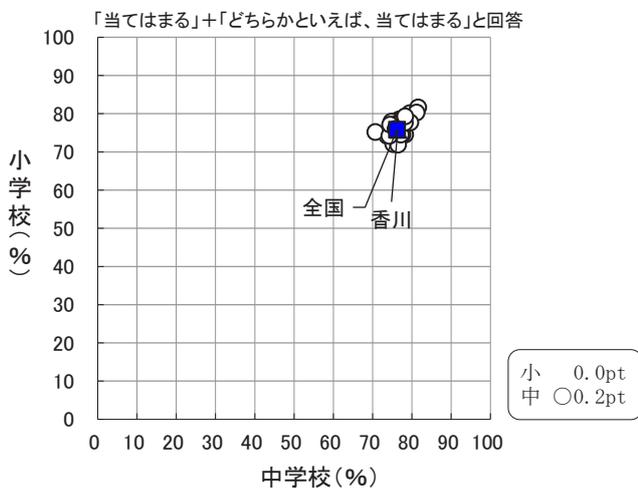
□ 15/15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

自分と違う意見について考えるのは楽しい

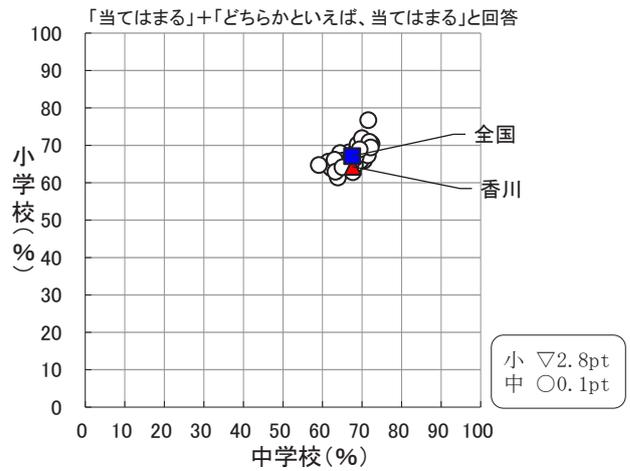
□ 17/17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

いつでも相談できる

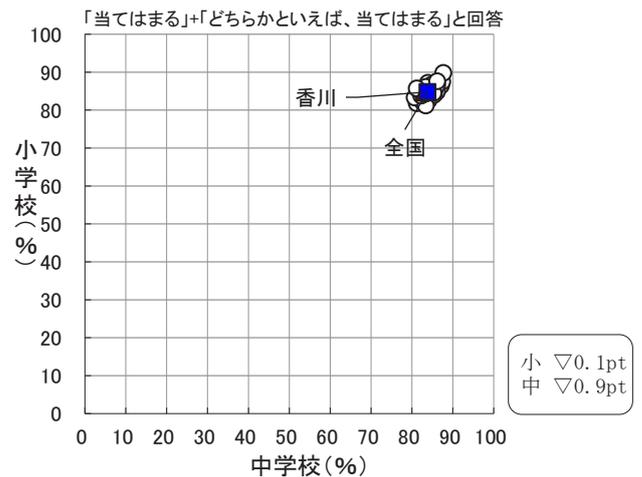
□ 14/14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

学校に行くのは楽しい

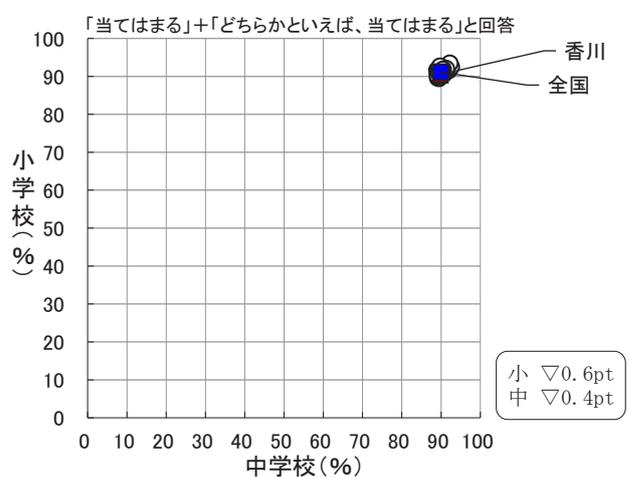
□ 16/16 学校に行くのは楽しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

友達関係に満足している

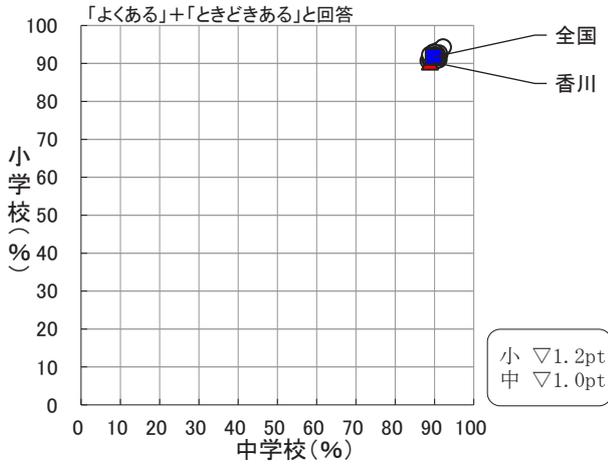
□ 18/18 友達関係に満足していますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

幸せな気持ちになることはどれくらいあるか

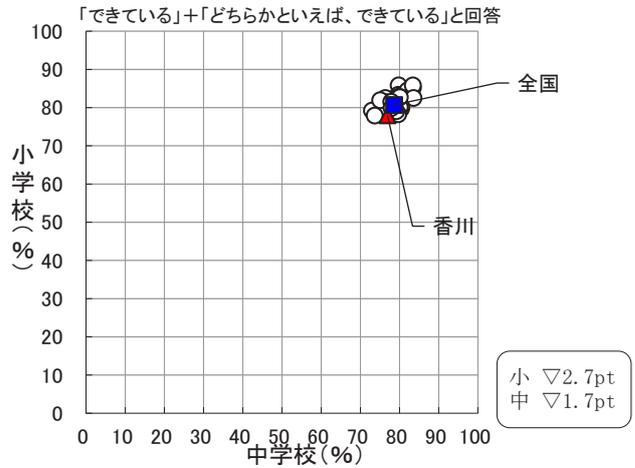
□ 19/19 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



【学習習慣、学習環境等】

自分で学び方を考え、工夫している

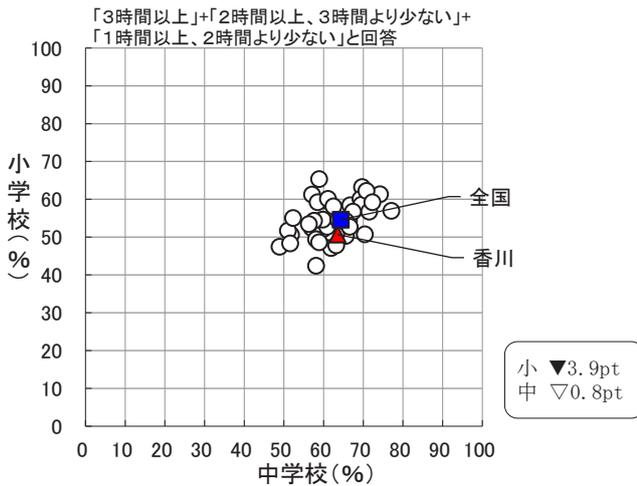
□ 20/20 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか



【学習習慣、学習環境等】

普段の勉強時間

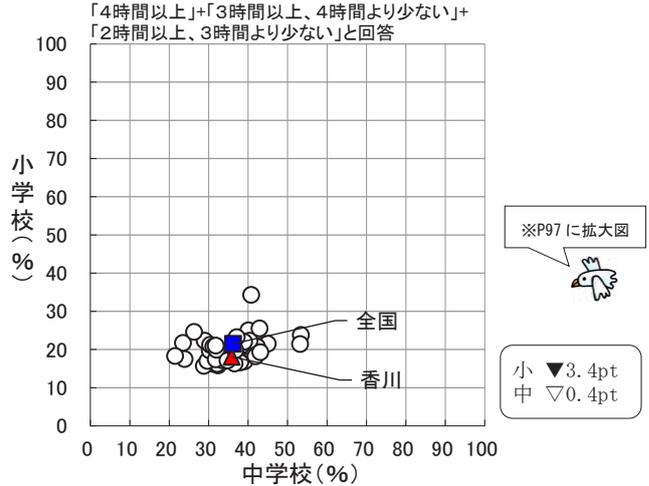
□ 21/21 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

学校が休みの日の勉強時間

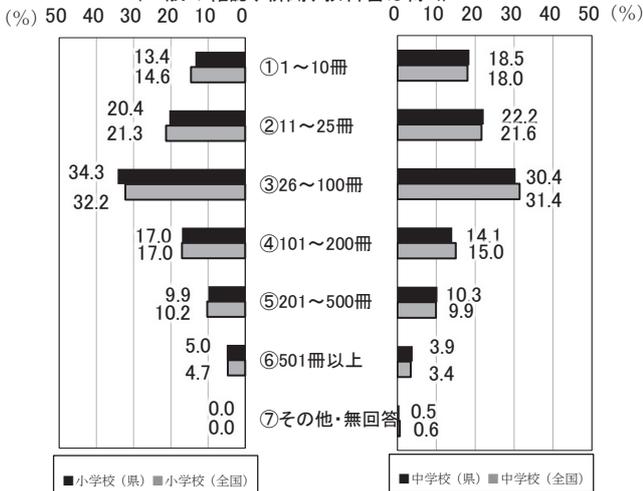
□ 22/22 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

どれくらいの本があるか

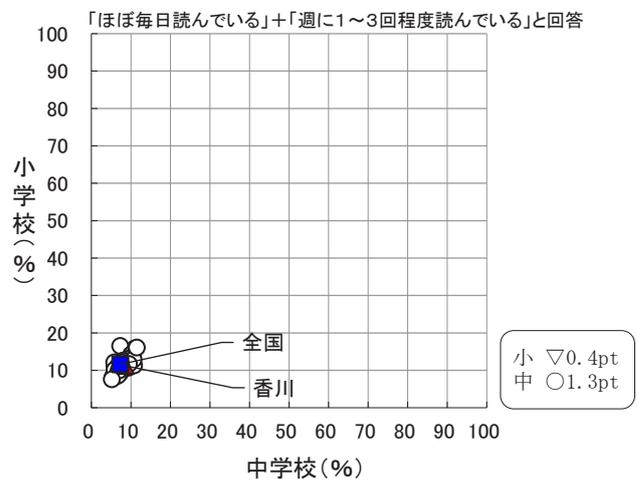
□ 23/23 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



【学習習慣、学習環境等】

新聞を読んでいる

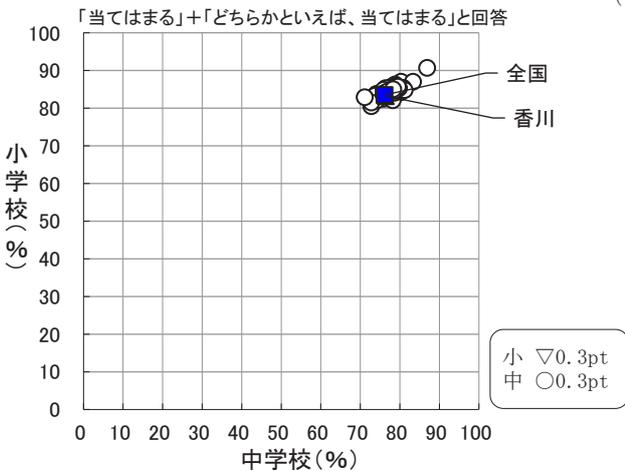
□ 24/24 新聞を読んでいますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域や社会のために何かしたい

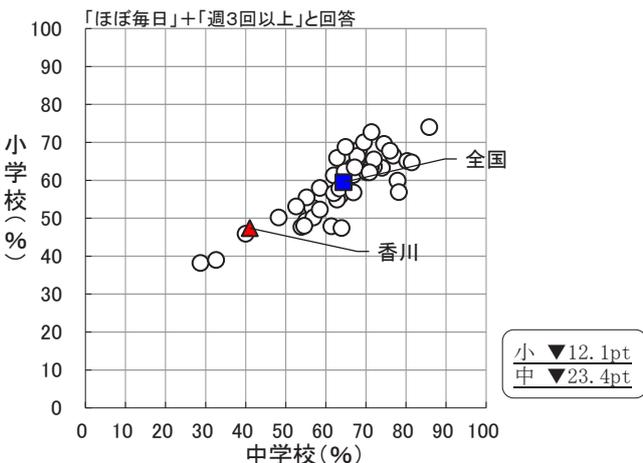
□ 25/25 地域や社会をよくなるために何かしてみたいと思いますか



【ICT を活用した学習状況】

授業での ICT の使用頻度

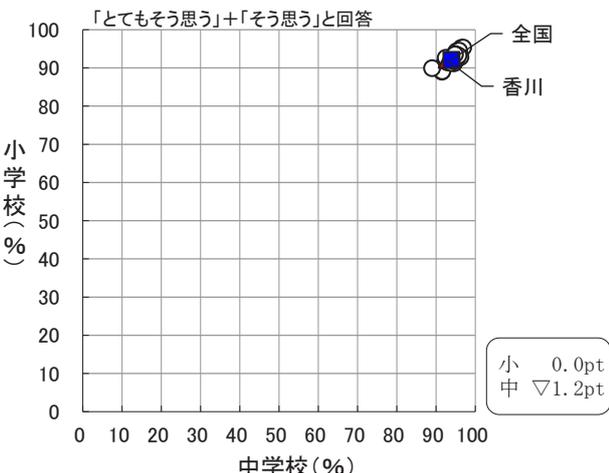
□ 27/27 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【ICT を活用した学習状況】

分からないことがあったときに、すぐ調べる

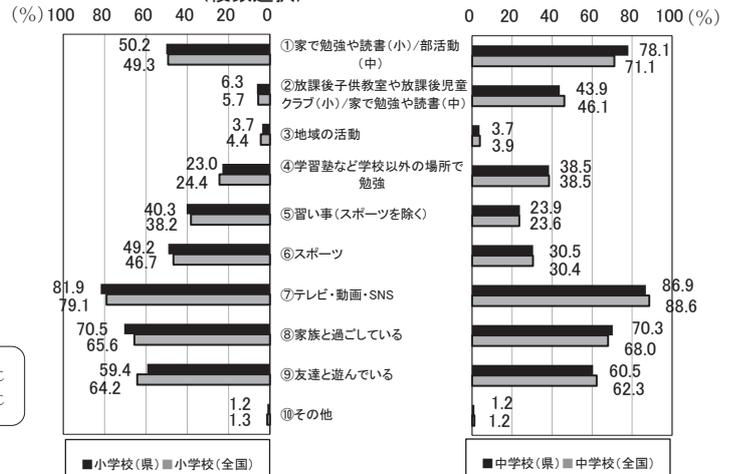
□ 28-2 /28-2 5年生までの(1,2年生のとき)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあったときに、すぐに調べることができる



【地域や社会に関わる活動の状況等】

放課後や週末の過ごし方

□ 26/26 放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか (複数選択)

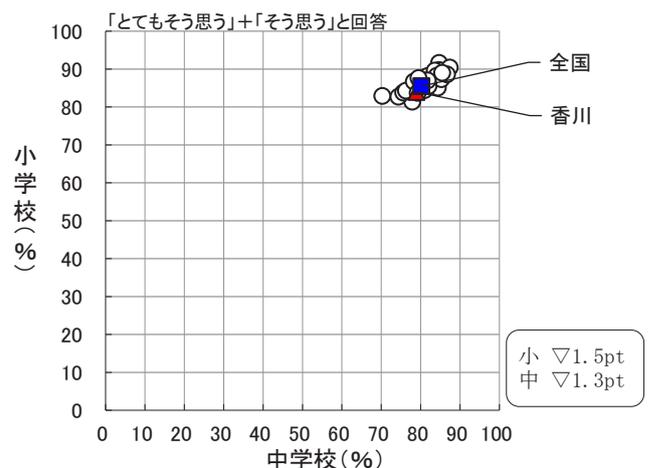


※回答選択肢の文言は省略している。(P82 参照)

【ICT を活用した学習状況】

自分のペースで学習を進める

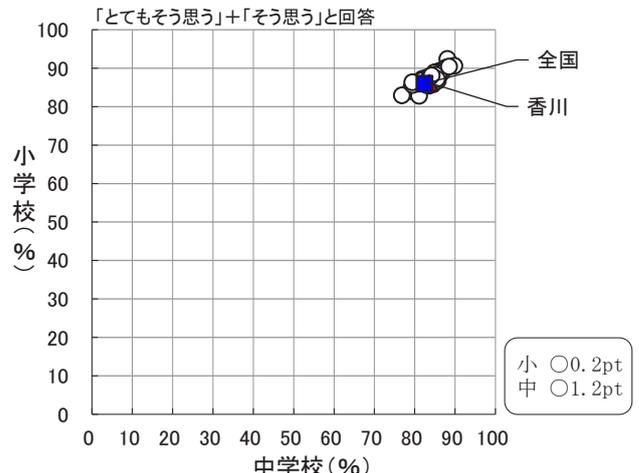
□ 28-1 /28-1 5年生までの(1,2年生のとき)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



【ICT を活用した学習状況】

楽しみながら学習を進める

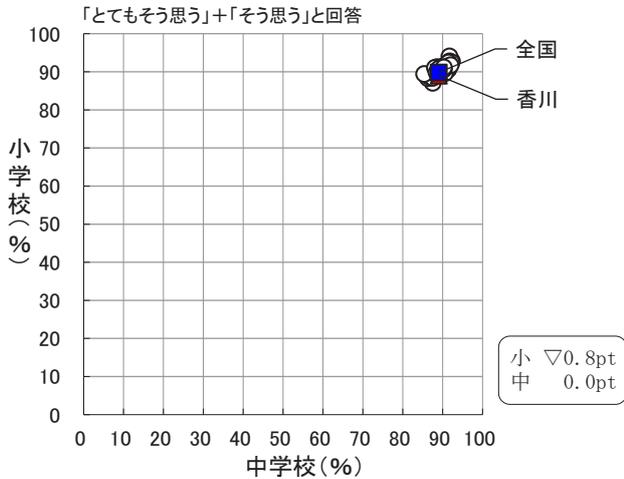
□ 28-3 /28-3 5年生までの(1,2年生のとき)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる



【ICT を活用した学習状況】

学習内容がよく分かる

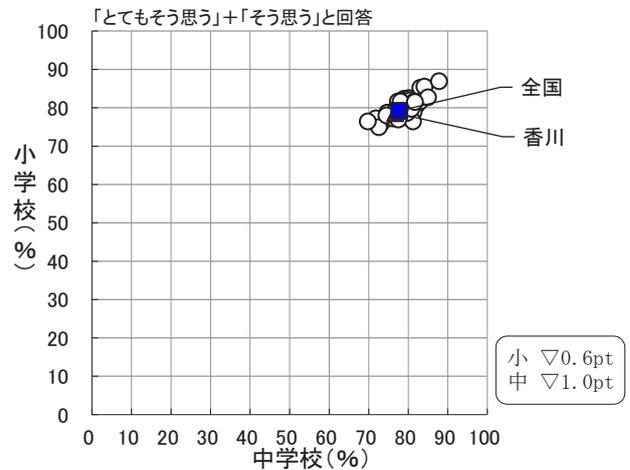
- 28-4 5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる



【ICT を活用した学習状況】

自分の考えや意見を分かりやすく伝える

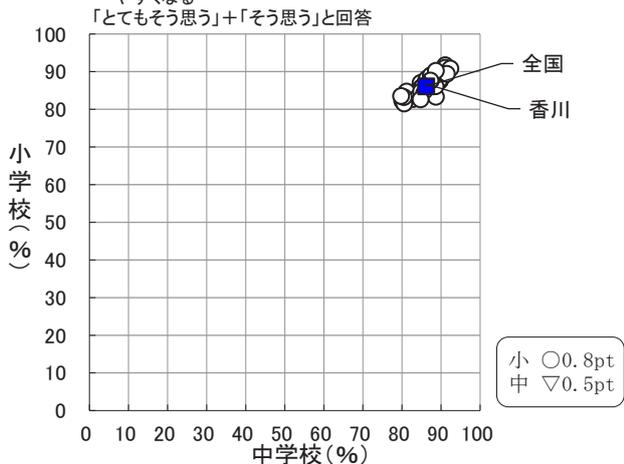
- 28-5 5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる



【ICT を活用した学習状況】

友達と考えを共有したり比べたりしやすい

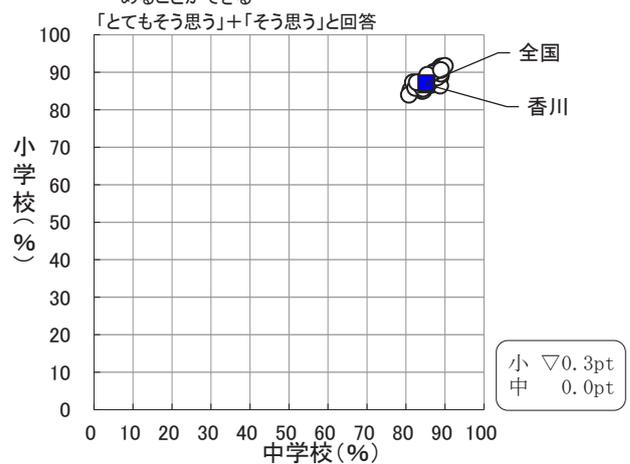
- 28-6 5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる



【ICT を活用した学習状況】

友達と協力しながら学習を進める

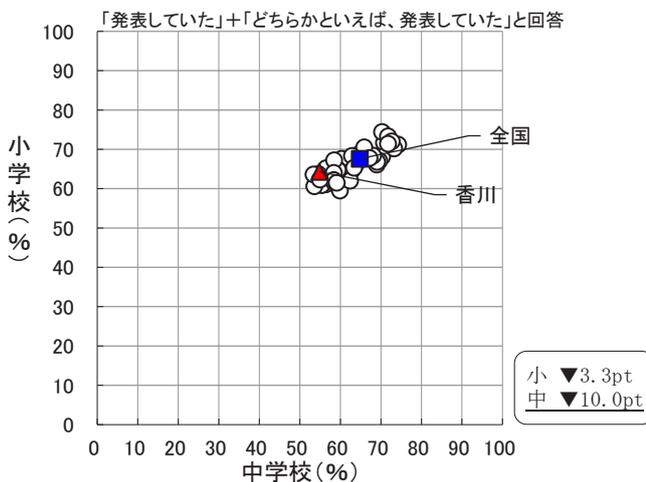
- 28-7 5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えがうまく伝わるように工夫している

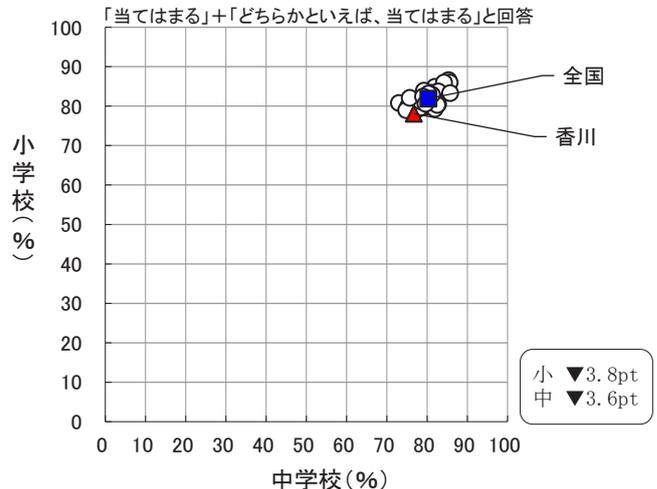
- 29/29 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題の解決に向けて、自ら考え、取り組む

- 30/30 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

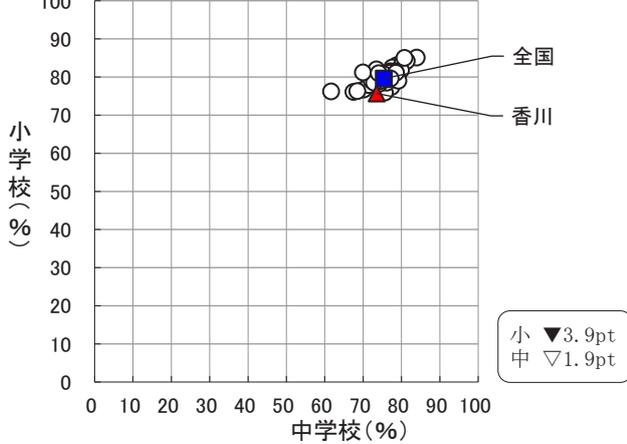


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

授業で自分の考えをまとめる活動を行っている

□ 31/31 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

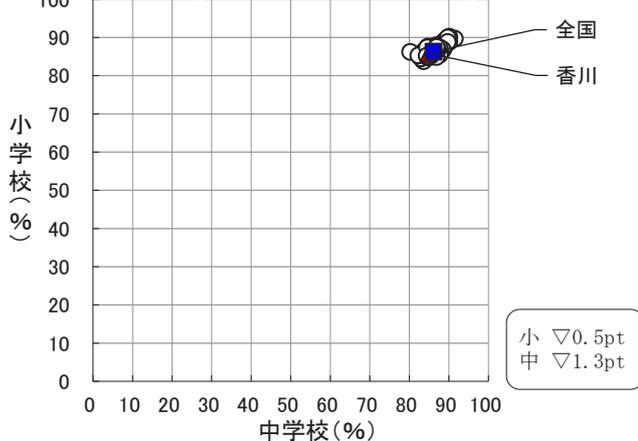


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

話し合いで考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする

□ 33/33 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

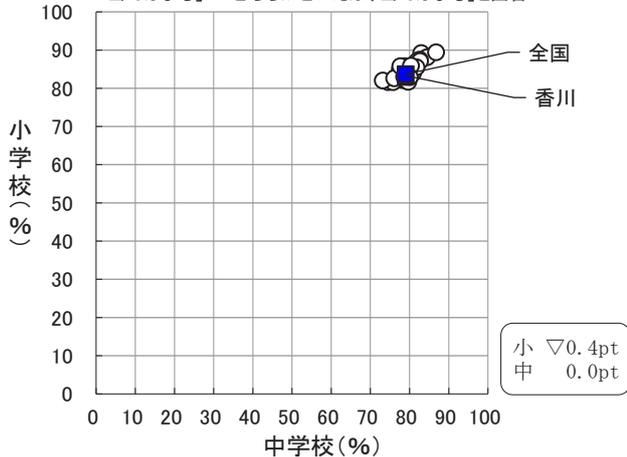


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりする

□ 35/35 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

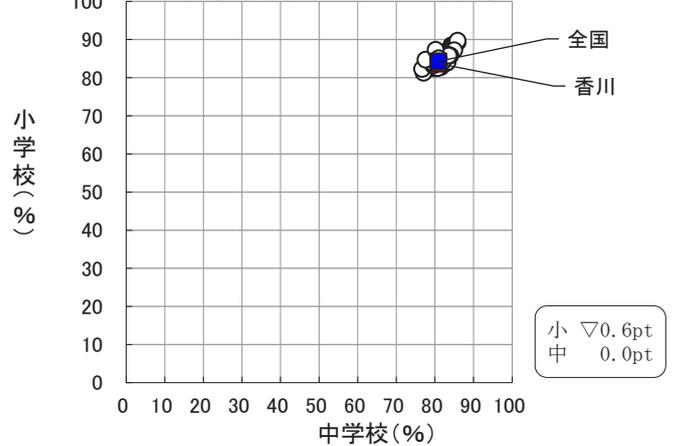


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分に合った教え方、教材、学習時間

□ 32/32 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

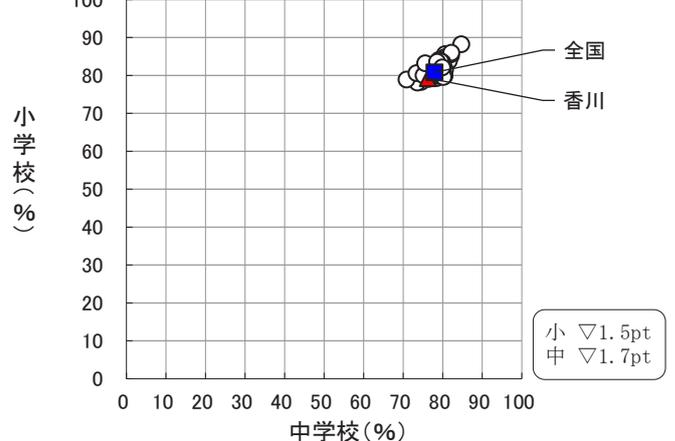


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学習内容を見直し、次の学習につなげる

□ 34/34 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

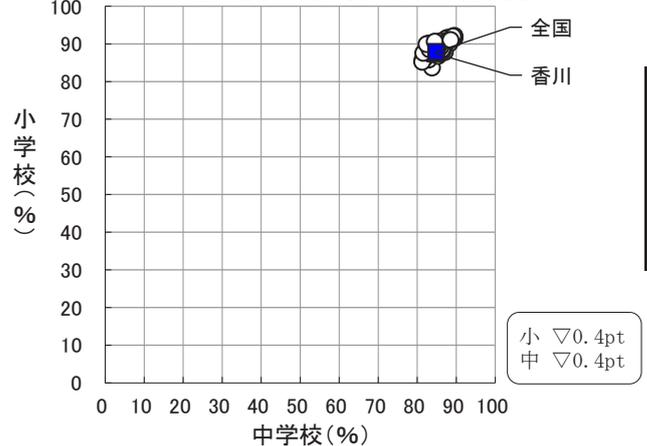


【主體的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

分かるまで教えてくれている

□ 36/36 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

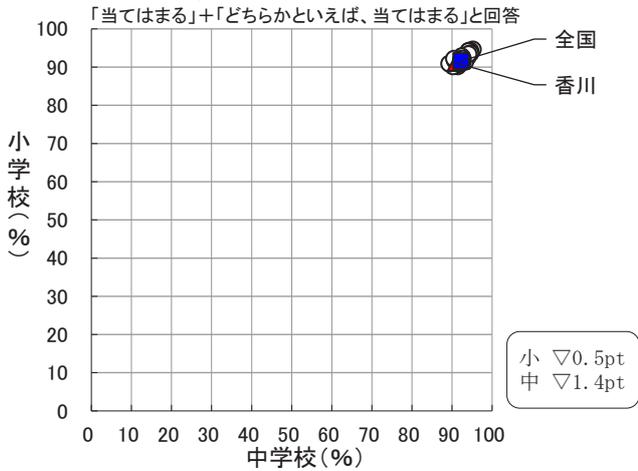
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

互いに協力しながら課題の解決に取り組む

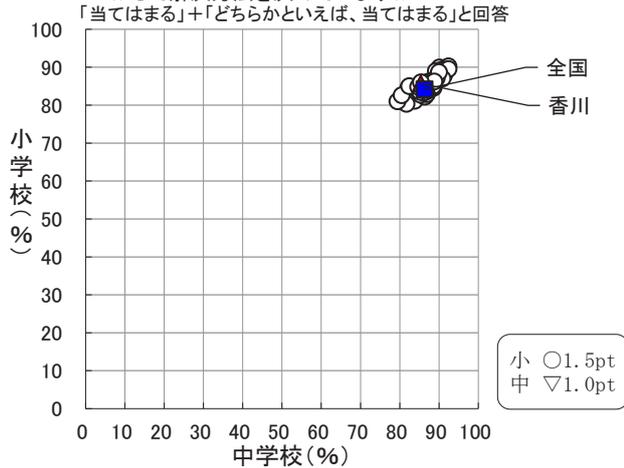
□ 37/37 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

学級をよりよくするために話し合う

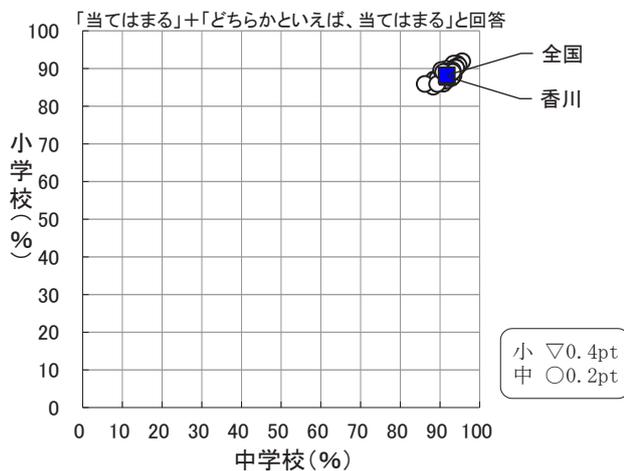
□ 39/39 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

道徳で考えを深めたり、話し合ったりしている

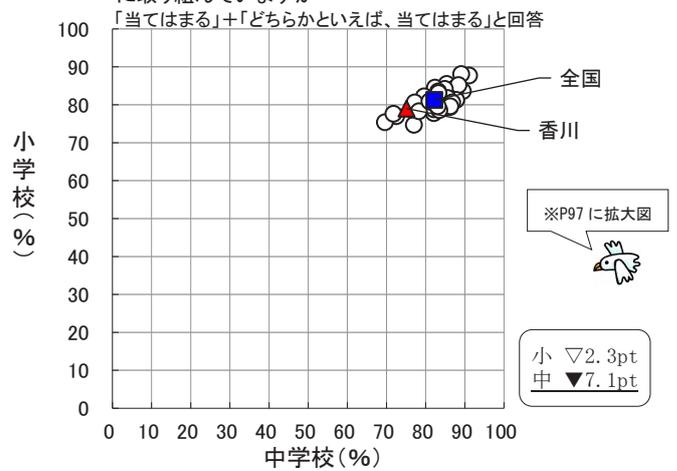
□ 41/41 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

総合的な学習の時間に自分で課題を立てて取り組む

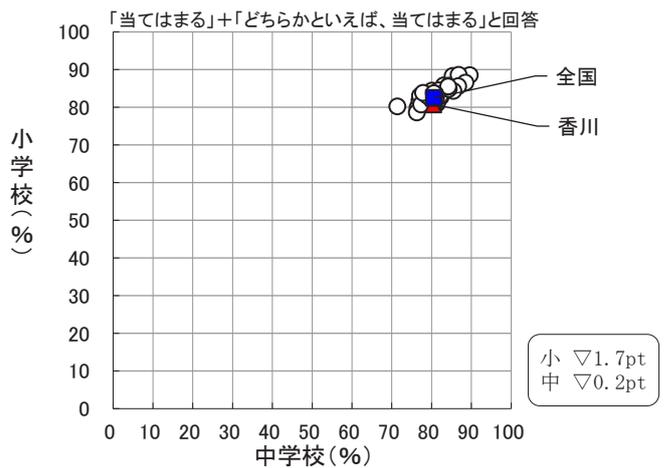
□ 38/38 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

話し合いを生かして努力すべきことに取り組む

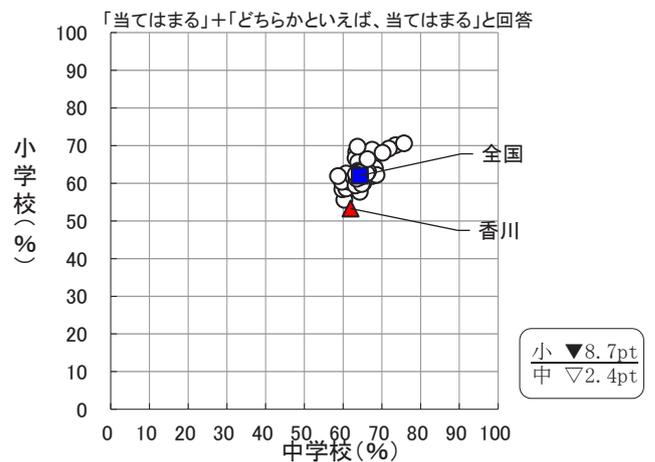
□ 40/40 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】

国語の勉強は好き

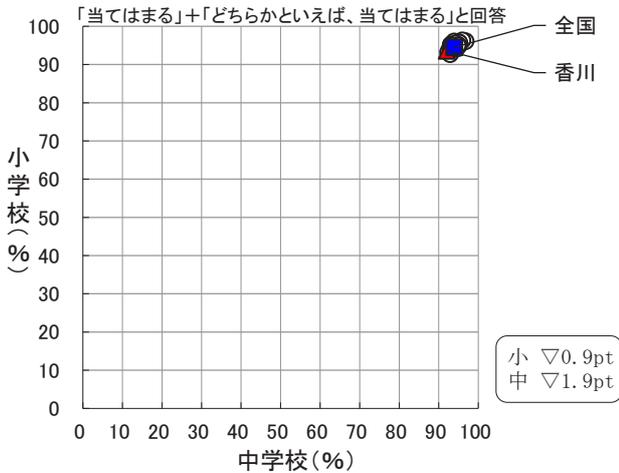
□ 42/42 国語の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は大切

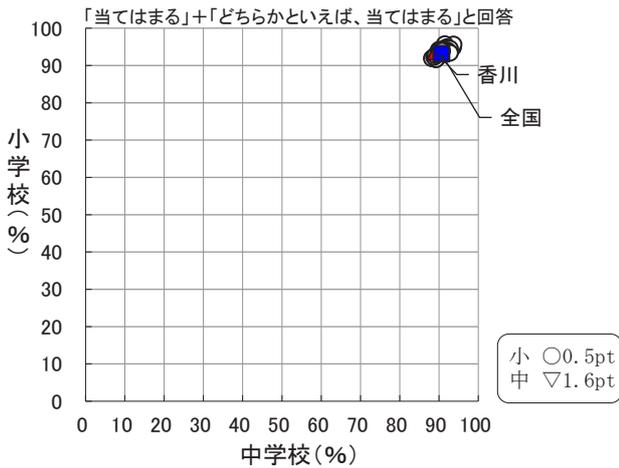
□ 43/43 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語は、社会に出たときに役に立つ

□ 45/45 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

情報と情報との関係をとらえて理解する

□ */46 国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差

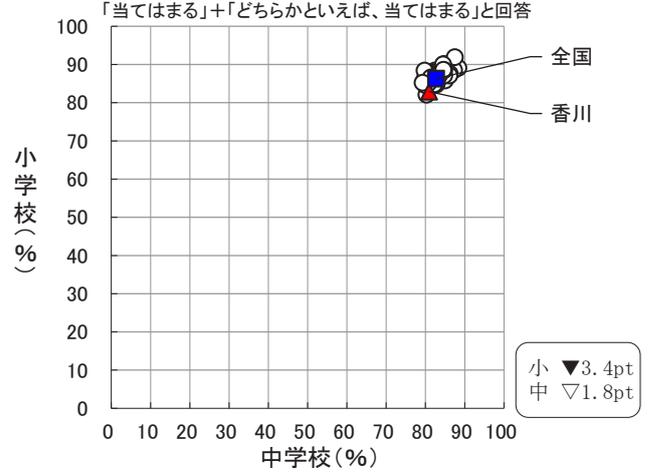
中 ▽0.9pt

中 ▽2.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の授業の内容はよく分かる

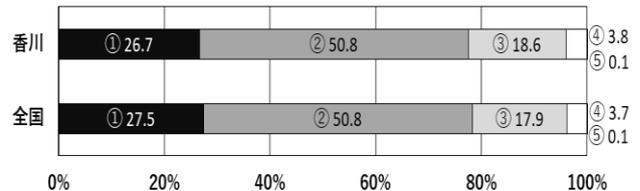
□ 44/44 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

違う点や似ている点を意識したり、図で示したりして、情報を整理する

□ 46/* 国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

①の差

小 ▽0.8pt

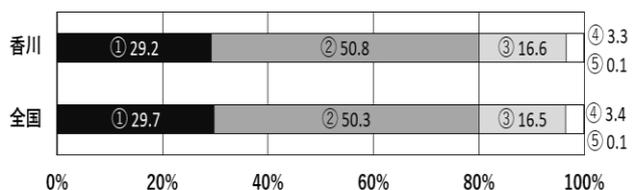
①+②の差

小 ▽0.8pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

目的に応じて、伝える内容を考える

□ 47/* 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えられていますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

①の差

小 ▽0.5pt

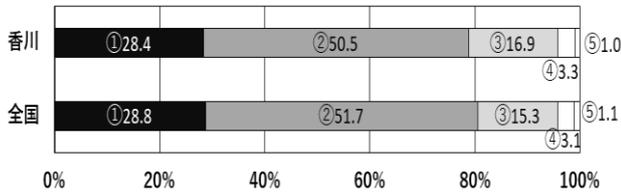
①+②の差

小 0.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

互いの発言を結び付けて考えをまとめる

□ */47 国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか



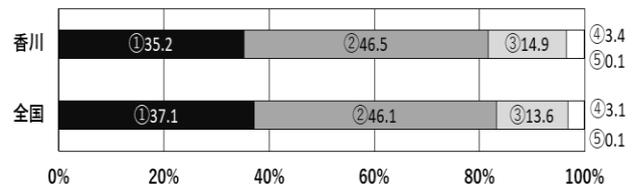
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 中 ▼0.4pt 中 ▼1.6pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

目的に応じて、工夫して文章を書く

□ 48/* 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか



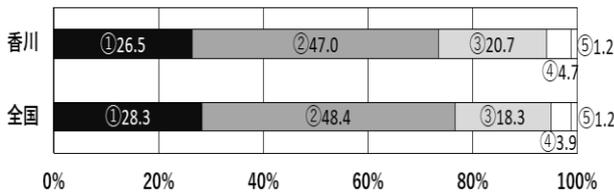
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 小 ▼1.9pt 小 ▼1.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

表現の効果を考えて文章を書く

□ */48 国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか



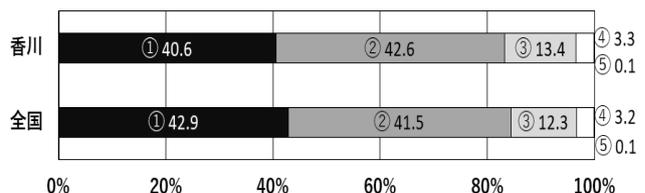
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 中 ▼1.8pt 中 ▼3.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

物語を読むときは、具体的なイメージをもち、表現に着目する

□ 49/* 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか



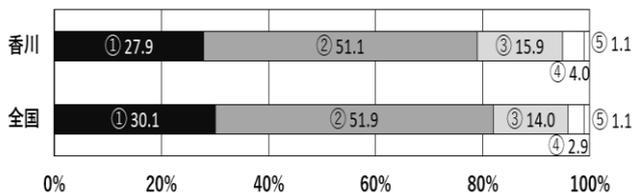
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 小 ▼2.3pt 小 ▼1.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している

□ */49 国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか



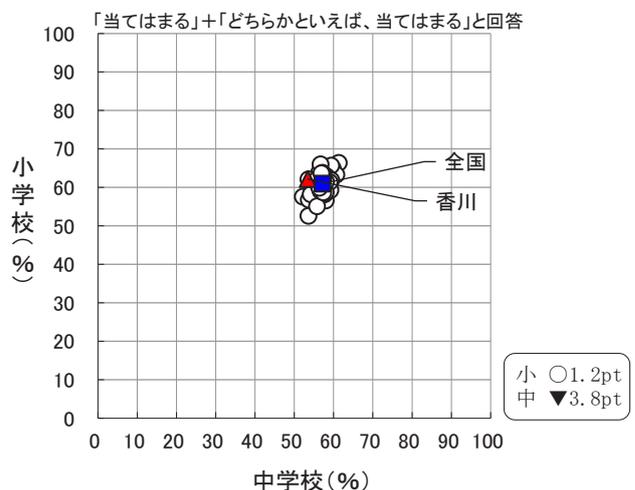
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 中 ▼2.2pt 中 ▼3.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数（数学）の勉強は好き

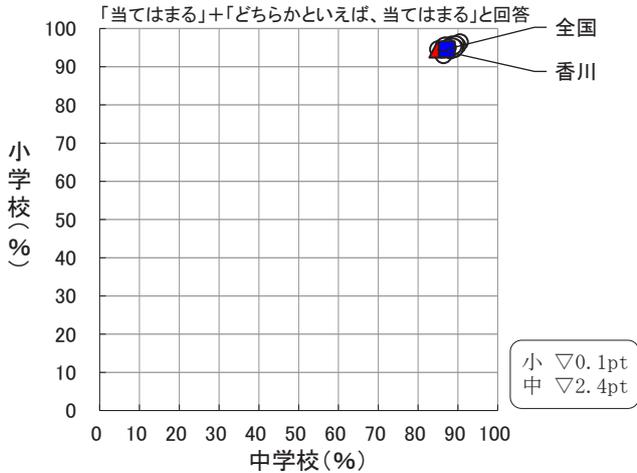
□ 50/50 算数（数学）の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

算数(数学)の勉強は大切

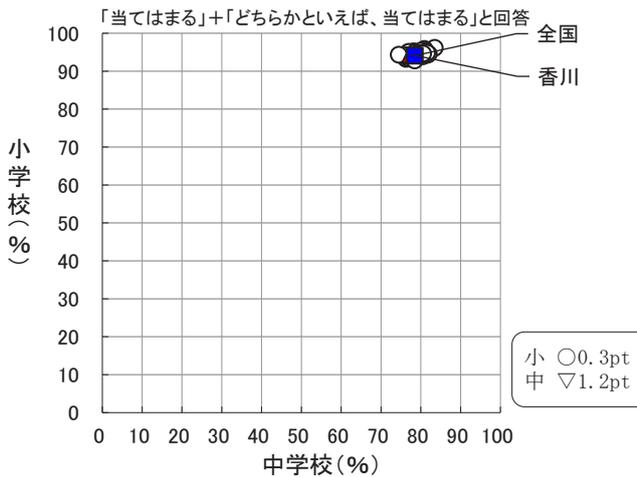
□ 51/51 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

算数(数学)は、社会に出たときに役に立つ

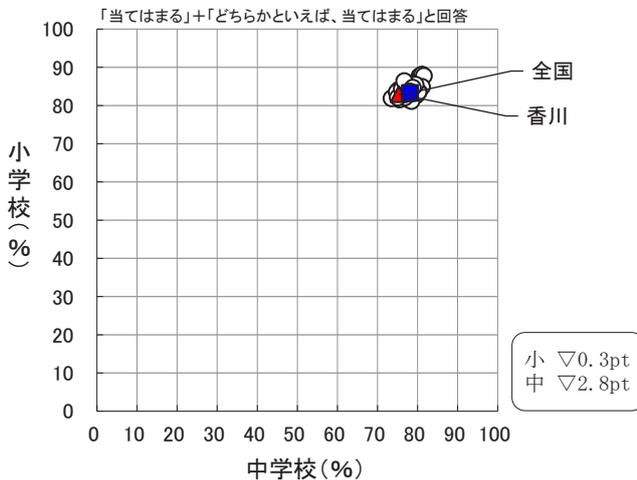
□ 53/53 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

あきらめずにいろいろな方法を考える

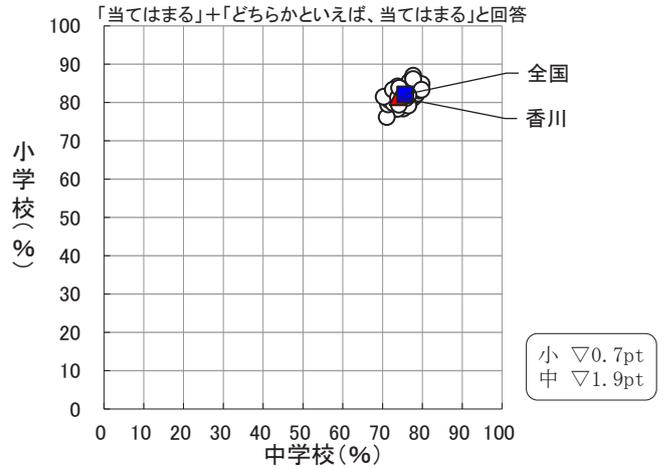
□ 55/55 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

算数(数学)の授業の内容はよく分かる

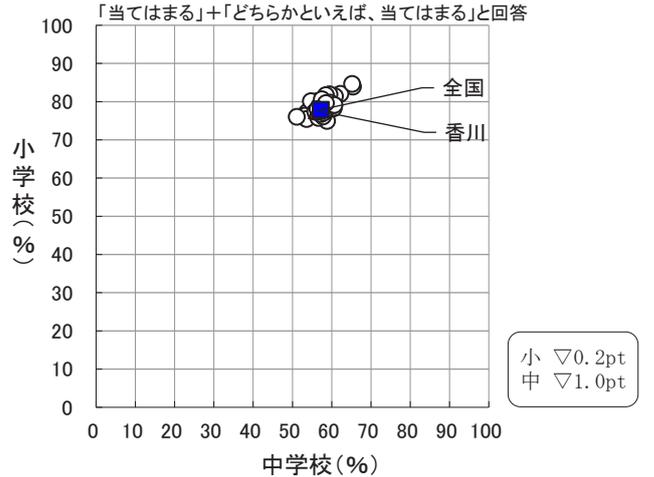
□ 52/52 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

普段の生活の中で活用しようとしている

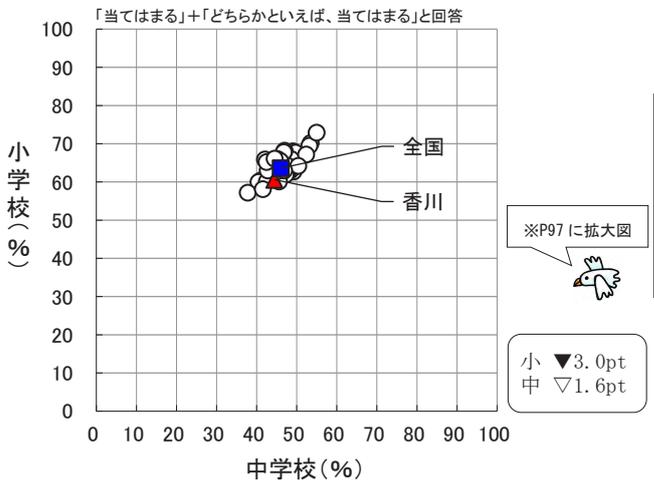
□ 54/54 算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

別の解き方を考えようとしている

□ 56/56 算数(数学)の問題は解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか



※P97に拡大図

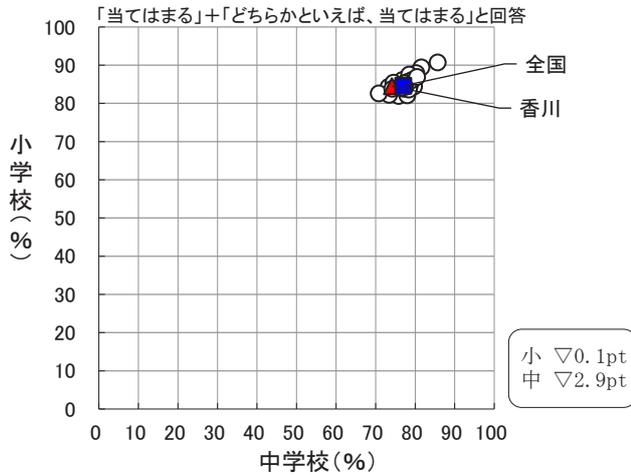


V 児童生徒質問

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

今後の学習で活用しようとしている

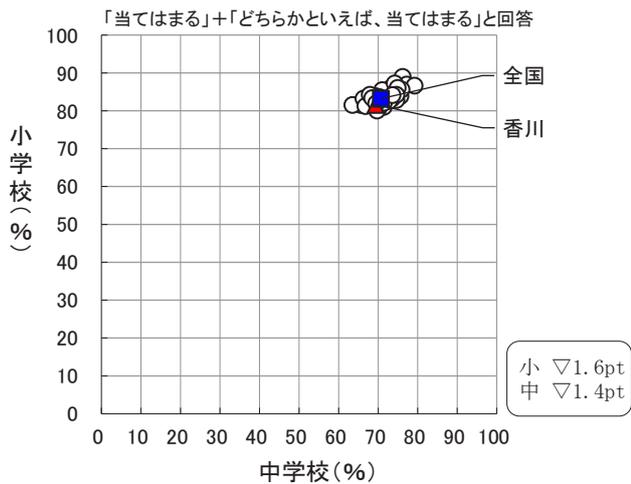
□ 57/57 算数(数学)の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

疑問を持ったり問題を見いだしたりする

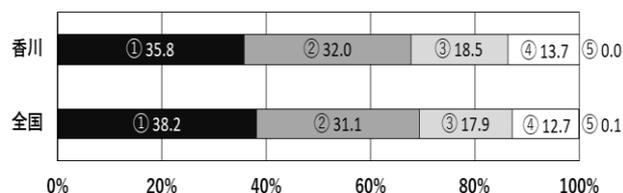
□ 59/59 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語の勉強は好き

□ 61/* 英語の勉強は好きですか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

①の差

小 ▽2.4pt

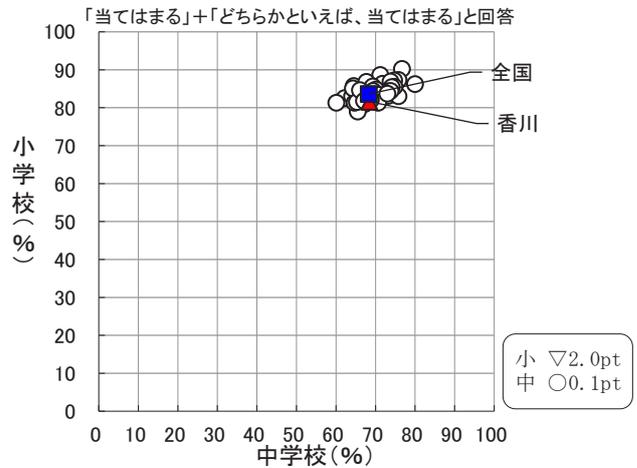
①+②の差

小 ▽1.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

理科の勉強は好き

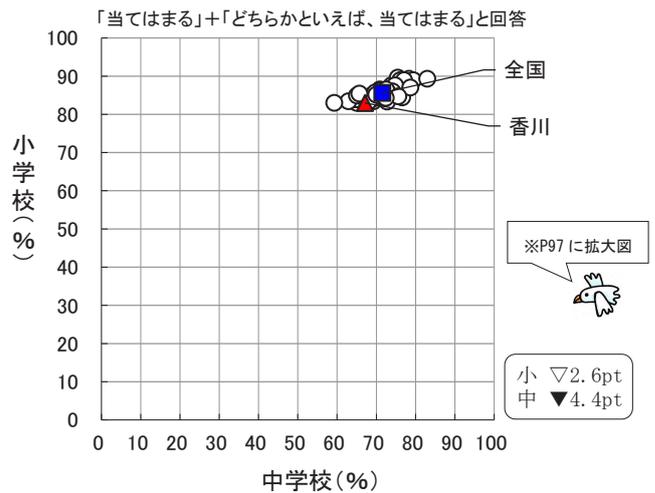
□ 58/58 理科の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

観察や実験の計画を立てる

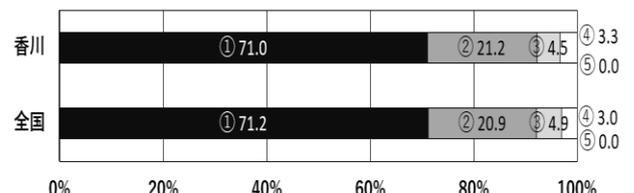
□ 60/60 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語の勉強は大切

□ 62/* 英語の勉強は大切だと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

①の差

小 ▽0.2pt

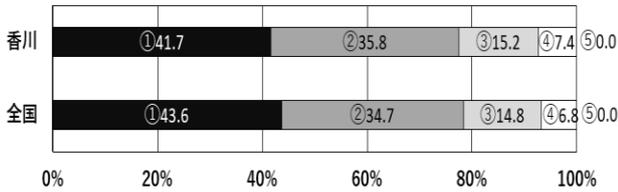
①+②の差

小 ○0.1pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語の授業の内容はよく分かる

□ 63/* 英語の授業の内容はよく分かりますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

小 ▽1.9pt

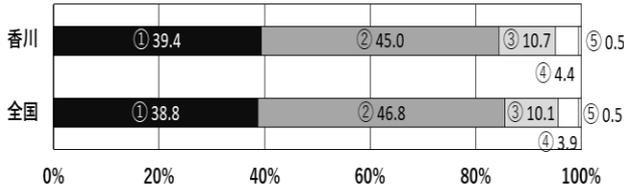
①+②の差

小 ▽0.8pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語を読んで、概要や要点をとらえる活動

□ */62 1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

中 ○ 0.6pt

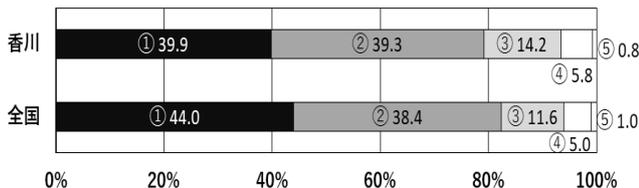
①+②の差

中 ▽1.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

まとまった内容を英語で発表する活動

□ */64 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

中 ▼4.1pt

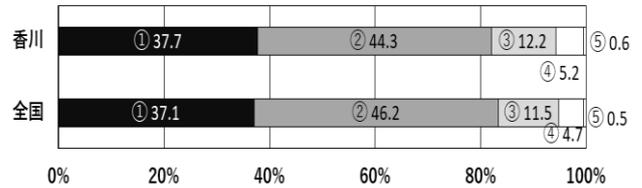
①+②の差

中 ▼3.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語を聞いて、概要や要点をとらえる活動

□ */61 1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

中 ○ 0.6pt

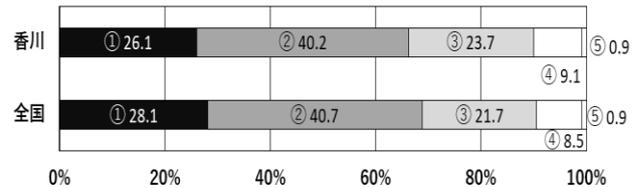
①+②の差

中 ▽1.3pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

即興で自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動

□ */63 1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

中 ▽2.0pt

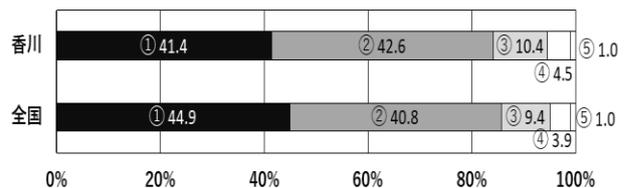
①+②の差

中 ▽2.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動

□ */65 1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差

中 ▼3.5pt

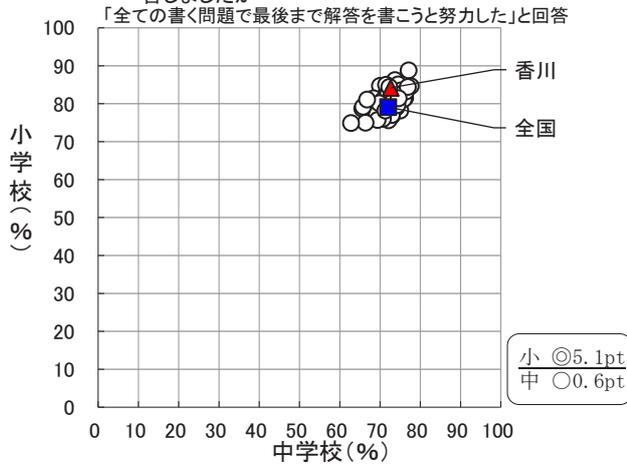
①+②の差

中 ▽1.7pt

【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題) 最後まで解答を書こうと努力する

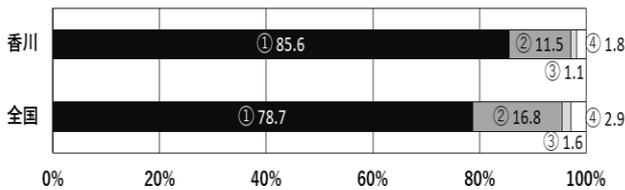
□ 国1/国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題) 最後まで解答を書こうと努力する

□ 算1 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



- ① 全ての書く問題で最後まで書こうと努力した
- ② 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ③ 書く問題は全く解答しなかった
- ④ その他・無回答

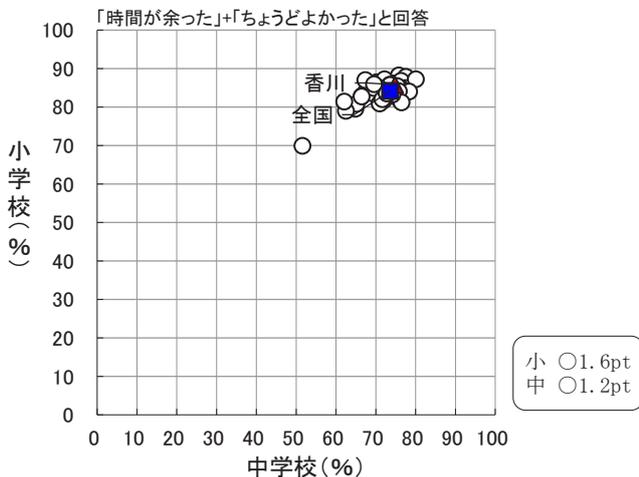
①の差 小 ○6.9pt

①+②の差 小 ○1.6pt

【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(算数・数学)

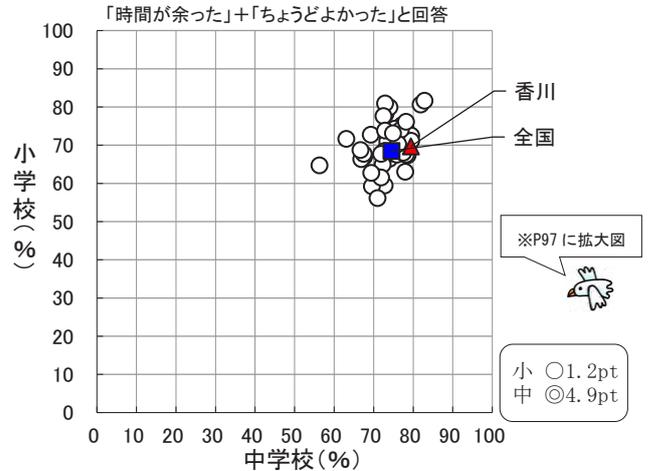
□ 算2/数2 解答時間は十分でしたか(算数・数学)



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(国語)

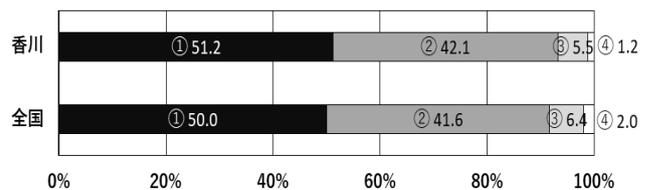
□ 国2/国2 解答時間は十分でしたか(国語)



【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題) 最後まで解答を書こうと努力する

□ 数1 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



- ① 全ての書く問題で最後まで書こうと努力した
- ② 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ③ 書く問題は全く解答しなかった
- ④ その他・無回答

①の差 中 ○1.2pt

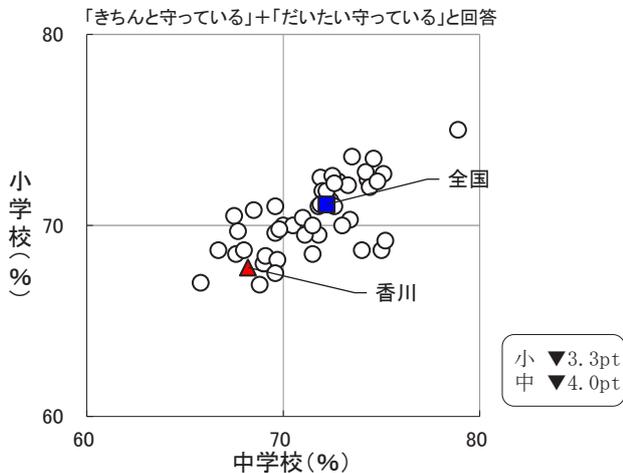
①+②の差 中 ○1.7pt

児童生徒質問調査 回答結果グラフ 【拡大図】

【基本的生活習慣等】

家の人との約束（コンピュータ等の使い方）

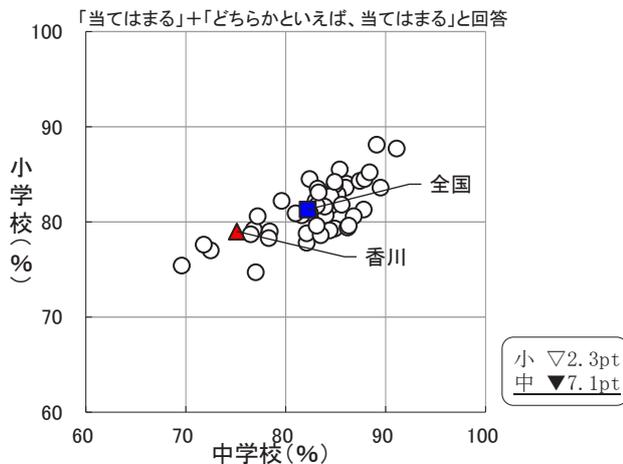
□ 7/7 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

総合的な学習の時間に自分で課題を立てて取り組む

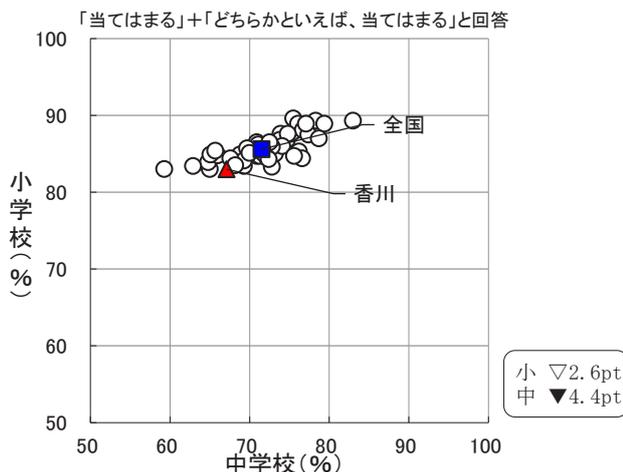
□ 38/38 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

観察や実験の計画を立てる

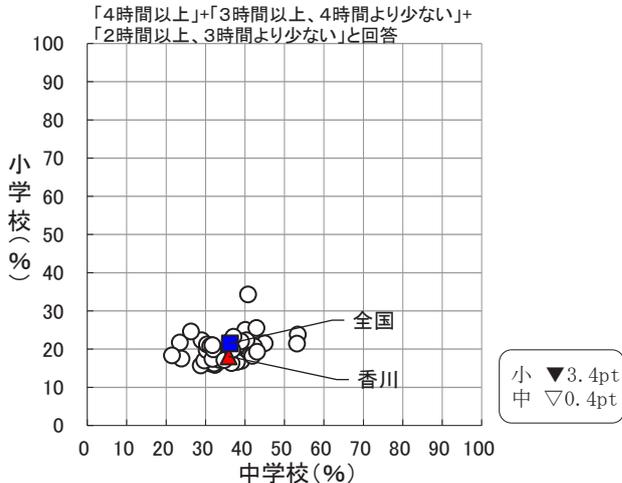
□ 60/60 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



【学習習慣、学習環境等】

学校が休みの日の勉強時間

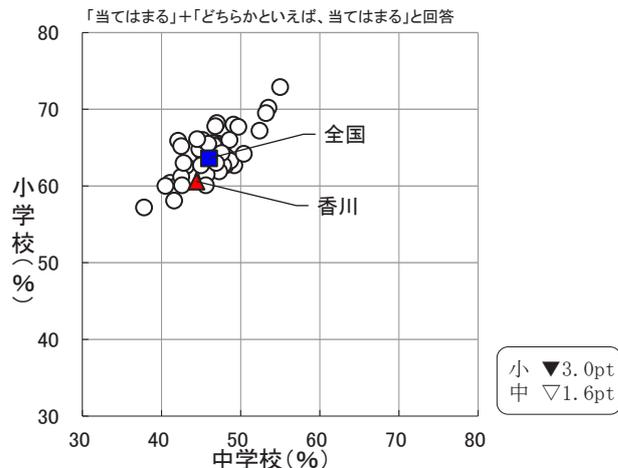
□ 22/22 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

別の解き方を考えようとしている

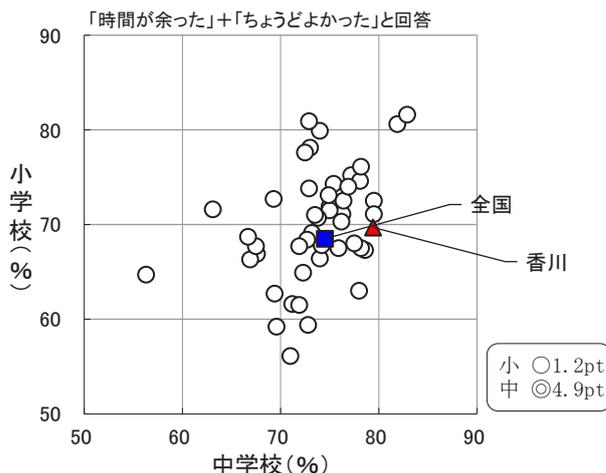
□ 56/56 算数（数学）の問題は解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった（国語）

□ 国2/国2 解答時間は十分でしたか（国語）



3 学校質問調査 結果一覧

質問番号	掲載ID	R5 番号	質問事項	校 種	1段目:香川県(公立)の割合(%) 2段目:全国(公立)の割合(%)								
					選択肢(質問の選択項目は、P103を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7		
【生徒指導等】													
7	7	104	9	調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	45.7	42.4	10.6	1.3			0.0	6.8
					中	62.5	32.8	4.7	0.0			0.0	4.6
8	8	104	R4 11	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか	小	46.4	42.4	10.6	0.7			0.0	-5.8
					中	52.2	38.4	7.8	1.5			0.0	-1.8
【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】													
9	9	104	14	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小	29.8	46.4	11.3	6.6	0.0	6.0	0.0	-13.9
					中	43.7	35.2	13.8	3.7	0.1	3.5	0.1	-2.7
10	10	104	15	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小	23.4	34.4	34.4	4.7	0.0	3.1	0.0	-8.3
					中	31.7	33.0	21.3	8.3	0.2	5.4	0.1	-6.9
11	11	104	16	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか	小	50.3	37.1	7.9	3.3	0.0	1.3	0.0	-9.2
					中	59.5	28.0	8.4	2.4	0.0	1.5	0.1	-0.1
12	12	104	新	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小	46.7	30.6	13.8	5.7	0.1	2.9	0.1	5.5
					中	23.8	73.5	2.6				0.0	-9.0
13	13	105	19	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	32.8	66.3	0.8				0.1	-1.8
					中	9.4	85.9	4.7				0.0	-19.4
14	14	105	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	28.8	69.7	1.5				0.1	-3.2
					中	36.4	58.9	4.6	0.0			0.0	-2.4
15	15	105	21	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	小	38.8	58.5	2.7	0.0			0.1	-2.0
					中	15.6	71.9	10.9	1.6			0.0	-19.8
16	16	105	22	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小	35.4	58.6	5.8	0.0			0.1	-6.5
					中	33.1	65.6	1.3	0.0			0.0	-7.3
17	17	105	23	児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	40.4	56.6	2.9	0.0			0.1	1.7
					中	26.6	65.6	7.8	0.0			0.0	-13.9
18	18	105	24	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小	40.5	56.0	3.4	0.0			0.1	-4.3
					中	49.7	49.0	1.3	0.0			0.0	1.6
19	19	106	25	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	48.1	49.2	2.6	0.0			0.1	1.4
					中	18.8	65.6	14.1	1.6			0.0	-17.2
20	20	106	新	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか	小	36.0	55.8	8.1	0.1			0.1	-7.4
					中	27.2	68.9	4.0	0.0			0.0	-14.2
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	41.4	54.6	4.0	0.0			0.1	0.1
					中	28.1	59.4	12.5	0.0			0.0	-9.7
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	37.8	56.4	5.6	0.1			0.2	-6.7
					中	60.9	37.7	1.3	0.0			0.0	-1.4
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	62.3	36.3	1.4	0.0			0.1	0.0
					中	31.3	59.4	9.4	0.0			0.0	-16.3
20	20	106	新	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか	小	47.6	47.2	5.1	0.0			0.1	-4.1
					中	25.8	60.3	13.9	0.0			0.0	-8.3
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	34.1	55.9	9.8	0.2			0.1	-3.9
					中	21.9	60.9	17.2	0.0			0.0	-9.0
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	30.9	54.8	13.9	0.3			0.1	-2.9
					中	39.1	54.3	6.0	0.7			0.0	12.0
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	27.1	59.3	13.5	0.1			0.1	7.0
					中	28.1	62.5	9.4	0.0			0.0	3.8
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	24.3	59.8	15.7	0.1			0.1	6.5
					中	11.9	82.8	5.3	0.0	0.0		0.0	-0.2
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	12.1	78.7	3.9	4.9	0.3		0.0	3.9
					中	20.3	71.9	6.3	0.0	1.6		0.0	5.2
20	20	106	新	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか	小	15.1	73.3	5.4	5.6	0.6		0.1	3.8
					中	65.6	33.1	1.3	0.0			0.0	0.4
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	65.2	34.1	0.6	0.0			0.1	-0.6
					中	54.7	45.3	0.0	0.0			0.0	-5.2
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	59.9	38.5	1.5	0.0			0.1	1.6
					中	78.1	21.9	0.0	0.0			0.0	-2.9
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	81.0	18.6	0.3	0.0			0.1	0.4
					中	81.3	18.8	0.0	0.0			0.0	0.2
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	81.1	18.5	0.3	0.0			0.1	0.5
					中	26.5	63.6	9.9	0.0			0.0	-7.4
21	21	106	新	各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか	小	33.9	57.1	8.8	0.2			0.1	-0.9
					中	28.1	57.8	12.5	1.6			0.0	-6.0
22	22	106	新	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	小	34.1	56.5	9.1	0.2			0.1	-4.7
					中								

※「R5番号」欄の「新」は、R6年度新たに問われた質問。「R4～」は、R5年度にはなかったが、R4年度にはあった質問。
 ※【その他】とは、「選択肢以外の解答や複数回答」されたものである。

質問番号 小 中	掲載P	R5 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P103を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
23	23	106	新	教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思いますか	小	79.5	19.9	0.7	0.0				0.0	7.2
						72.3	27.1	0.6	0.0				0.0	0.0
					中	59.4	40.6	0.0	0.0				0.0	-4.2
						63.6	35.4	0.9	0.0				0.1	1.0
24	24	106	新	ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか	小	38.4	51.7	9.3	0.7				0.0	-3.3
						41.7	48.4	9.4	0.4				0.0	0.0
					中	26.6	57.8	12.5	3.1				0.0	-13.6
						40.2	49.3	9.9	0.5				0.1	-5.1
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】														
25	25	107	26	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小	21.2	70.9	7.9	0.0				0.0	1.1
						20.1	68.1	11.6	0.2				0.0	3.9
					中	14.1	76.6	9.4	0.0				0.0	-6.5
						20.6	67.8	11.3	0.2				0.1	2.3
26	26	107	27	調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小	8.6	70.9	20.5	0.0				0.0	-3.8
						12.4	65.9	21.3	0.4				0.1	1.2
					中	12.5	64.1	23.4	0.0				0.0	-3.7
						16.2	66.5	17.0	0.2				0.1	-6.1
27	27	107	28	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	13.9	70.2	15.9	0.0				0.0	-5.7
						19.6	67.6	12.6	0.2				0.1	-3.1
					中	15.6	71.9	12.5	0.0				0.0	-8.4
						24.0	65.7	10.1	0.1				0.1	-2.2
28	28	107	新	調査対象学年の児童(生徒)は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか	小	31.8	61.6	6.6	0.0				0.0	0.1
						31.7	61.9	6.2	0.1				0.1	-0.2
					中	26.6	70.3	3.1	0.0				0.0	-10.4
						37.0	59.1	3.7	0.1				0.1	0.8
29	29	107	新	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	小	3.3	54.3	40.4	2.0				0.0	-5.9
						9.2	52.0	36.4	2.2				0.1	-3.6
					中	1.6	28.1	68.8	1.6				0.0	-6.3
						7.9	47.4	41.7	2.9				0.1	-25.6
30	30	107	31	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	小	15.2	69.5	15.2	0.0				0.0	-11.3
						26.5	63.8	9.6	0.0				0.1	-5.6
					中	14.1	68.8	17.2	0.0				0.0	-7.1
						21.2	65.1	13.5	0.0				0.1	-3.4
31	31	108	32	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	23.2	72.2	4.6	0.0				0.0	-9.6
						32.8	61.7	5.3	0.1				0.1	0.9
					中	25.0	67.2	7.8	0.0				0.0	-5.4
						30.4	63.6	5.8	0.1				0.1	-1.8
32	32	108	R4 28	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	29.1	64.2	6.6	0.0				0.0	-4.9
						34.0	61.8	4.0	0.0				0.2	-2.5
					中	23.4	75.0	1.6	0.0				0.0	-8.0
						31.4	64.9	3.5	0.0				0.1	2.1
33	33	108	33	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小	21.2	64.2	13.9	0.7				0.0	-8.0
						29.2	60.1	10.5	0.1				0.1	-3.9
					中	10.9	64.1	25.0	0.0				0.0	-15.2
						26.1	59.0	14.5	0.3				0.1	-10.1
34	34	108	34	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小	10.6	74.2	15.2	0.0				0.0	-9.7
						20.3	67.1	12.4	0.1				0.2	-2.6
					中	10.9	64.1	25.0	0.0				0.0	-8.2
						19.1	67.5	13.3	0.0				0.1	-11.6
35	35	108	35	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小	13.9	64.9	21.2	0.0				0.0	-4.7
						18.6	67.1	14.1	0.0				0.1	-6.9
					中	6.3	59.4	34.4	0.0				0.0	-8.5
						14.8	63.8	21.2	0.1				0.1	-12.9
【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】														
36	36	108	37	調査対象学年の児童(生徒)に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	小	35.1	53.0	11.9	0.0				0.0	2.0
						33.1	58.8	8.0	0.1				0.1	-3.8
					中	20.3	57.8	20.3	1.6				0.0	-17.4
						37.7	53.2	8.8	0.2				0.1	-12.8
37	37	109	38	調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	小	38.4	55.6	6.0	0.0				0.0	1.3
						37.1	57.1	5.7	0.1				0.1	-0.2
					中	28.1	60.9	9.4	1.6				0.0	-9.8
						37.9	56.1	5.8	0.1				0.1	-5.0
38	38	109	39	調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童(生徒)が意思決定できるような指導を行っていますか	小	29.8	57.6	12.6	0.0				0.0	-2.3
						32.1	60.5	7.2	0.1				0.1	-5.2
					中	26.6	62.5	9.4	1.6				0.0	-5.6
						32.2	60.2	7.4	0.1				0.1	-3.3
39	39	109	40	調査対象学年の児童(生徒)に対して、特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童(生徒)自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	小	33.1	61.6	5.3	0.0				0.0	-2.1
						35.2	60.8	3.9	0.0				0.1	-1.3
					中	43.8	48.4	7.8	0.0				0.0	1.6
						42.2	54.1	3.6	0.1				0.1	-4.1
【学習評価】														
40	40	109	R4 38	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	小	13.2	62.3	23.8	0.0				0.7	-9.4
						22.6	64.5	12.6	0.1				0.1	-11.6
					中	20.3	53.1	25.0	1.6				0.0	-10.6
						30.9	60.3	8.7	0.1				0.1	-17.8

質問番号 小 中	掲載P	R5 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P103を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
【国語科の指導方法】														
41	41	109	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか	小	16.6	70.9	12.6	0.0				0.0	-2.9
						19.5	70.5	9.9	0.0				0.1	-2.5
				調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか	中	18.8	67.2	14.1	0.0				0.0	-9.9
						28.7	65.2	6.1	0.0				0.1	-7.9
42	42	110	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか	小	13.2	74.8	11.3	0.0				0.7	-9.0
						22.2	70.4	7.3	0.0				0.1	-4.6
				調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか	中	12.5	75.0	12.5	0.0				0.0	-17.2
						29.7	61.8	8.2	0.2				0.1	-4.0
43	43	110	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか	小	19.9	70.9	9.3	0.0				0.0	-9.9
						29.8	65.1	5.0	0.0				0.1	-4.1
				調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか	中	32.8	64.1	3.1	0.0				0.0	-6.6
						39.4	56.4	4.1	0.0				0.1	1.1
44	44	110	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか	小	29.1	67.5	3.3	0.0				0.0	-6.4
						35.5	61.4	3.0	0.0				0.1	-0.3
				調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行いましたか	中	21.9	73.4	4.7	0.0				0.0	-13.4
						35.3	60.1	4.4	0.0				0.1	-0.1
【算数・数学科の指導方法】														
45	45	111	46	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	15.9	73.5	10.6	0.0				0.0	-11.7
						27.6	64.7	7.6	0.0				0.1	-2.9
					中	17.2	64.1	17.2	1.6				0.0	-5.1
						22.3	66.2	11.3	0.1				0.1	-7.2
46	46	111	47	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	小	35.8	60.3	4.0	0.0				0.0	-0.1
						35.9	58.7	5.3	0.0				0.1	1.5
				調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	中	14.1	60.9	25.0	0.0				0.0	-8.6
						22.7	63.0	13.8	0.3				0.1	-10.7
47	47	111	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかななどについて、児童(生徒)に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	小	37.7	57.0	5.3	0.0				0.0	-6.3
						44.0	52.2	3.6	0.0				0.1	-1.5
					中	18.8	73.4	7.8	0.0				0.0	-22.8
						41.6	53.2	5.0	0.0				0.1	-2.6
48	48	111	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、児童(生徒)がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか	小	31.1	62.9	6.0	0.0				0.0	-7.4
						38.5	56.3	5.1	0.0				0.1	-0.8
					中	28.1	67.2	4.7	0.0				0.0	-14.2
						42.3	53.2	4.3	0.0				0.1	-0.2
【理科の指導方法】														
49	49	111	R4 50/ 49	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事象・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	小	25.8	68.9	5.3	0.0				0.0	-6.9
						32.7	62.6	4.6	0.0				0.1	-0.6
					中	18.8	70.3	10.9	0.0				0.0	-14.2
						33.0	62.5	4.4	0.0				0.1	-6.4
50	50	112	R4 51/ 50	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	34.4	63.6	2.0	0.0				0.0	-2.3
						36.7	59.3	4.0	0.0				0.1	2.0
					中	28.1	65.6	4.7	0.0				1.6	-14.7
						42.8	54.2	2.9	0.0				0.1	-3.3
51	51	112	R4 52/ 51	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	小	30.5	60.3	9.3	0.0				0.0	-8.2
						38.7	56.1	5.1	0.0				0.1	-4.0
					中	14.1	57.8	28.1	0.0				0.0	-12.1
						26.2	57.9	15.5	0.4				0.1	-12.2
【英語科の指導方法】														
52	112	49/ ×	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	小	12.6	51.7	35.8	0.0				0.0	-5.4	
					18.0	56.8	24.2	0.9				0.1	-10.5	
52	112	×/ 49	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	中	29.7	57.8	10.9	1.6				0.0	-8.5	
					38.2	56.3	5.1	0.2				0.2	-7.0	

質問番号	掲載P	RS 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P103を参照)							その他※ ・無回答	1の差 1+2の差		
					1	2	3	4	5	6	7				
53	112	×/ 50	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	中	28.1	59.4	12.5	0.0				0.0	-13.7		
					41.8	54.4	3.6	0.0				0.1	-8.7		
54	112	×/ 51	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	中	12.5	57.8	28.1	1.6				0.0	-12.3		
					24.8	54.5	19.9	0.7				0.1	-9.0		
55	113	×/ 52	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	中	29.7	54.7	14.1	0.0				1.6	-4.2		
					33.9	54.5	11.2	0.4				0.1	-4.0		
56	113	×/ 53	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	中	18.8	68.8	12.5	0.0				0.0	-15.9		
					34.7	57.8	7.2	0.1				0.1	-4.9		
【ICTを活用した学習状況】															
53	57	113	52/ 60	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか	小	82.8	13.9	3.3	0.0	0.0			0.0	6.8	
						76.0	16.9	4.7	1.2	1.1			0.1	3.8	
					中	75.0	15.6	6.3	1.6	1.6			0.0	0.4	
						74.6	17.3	5.3	1.4	1.3			0.1	-1.3	
54	58	113	53/ 61	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	小	56.3	37.7	6.0	0.0				0.0	-4.2	
						60.5	34.6	4.6	0.2				0.1	-1.1	
					中	39.1	43.8	17.2	0.0				0.0	-12.9	
						52.0	38.8	8.8	0.4				0.1	-7.9	
55	59	113	54/ 62	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	小	37.7	50.3	11.3	0.7				0.0	-1.3	
						39.0	49.9	10.3	0.7				0.1	-0.9	
					中	17.2	57.8	18.8	4.7				1.6	-17.9	
						35.1	49.5	13.8	1.4				0.2	-9.6	
56	60	113	55/ 63	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	小	57.0	33.1	8.6	0.7	0.7			0.0	-12.0	
						69.0	24.2	6.0	0.5	0.1			0.2	-3.1	
					中	39.1	40.6	17.2	3.1	0.0			0.0	-28.4	
						67.5	23.3	7.7	1.2	0.2			0.1	-11.1	
57	61	114	56/ 64	調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	19.2	49.0	26.5	4.6	0.7			0.0	-13.5	
						32.7	43.9	20.4	2.7	0.2			0.1	-8.4	
					中	18.8	34.4	26.6	18.8	1.6			0.0	-14.2	
						33.0	37.4	23.1	6.0	0.5			0.1	-17.2	
58	62	114	57/ 65	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	15.9	25.8	36.4	18.5	3.3			0.0	-3.8	
						19.7	35.4	28.5	14.2	2.0			0.1	-13.4	
					中	6.3	25.0	34.4	25.0	9.4			0.0	-13.1	
						19.4	32.5	30.2	15.5	2.3			0.1	-20.6	
59	63	114	58/ 66	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	25.8	19.9	32.5	15.9	6.0			0.0	-6.3	
						32.1	27.6	23.5	10.9	5.7			0.1	-14.0	
					中	15.6	17.2	32.8	17.2	17.2			0.0	-15.5	
						31.1	26.3	24.4	11.8	6.3			0.1	-24.6	
60	64	114	59/ 67	調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	9.9	21.9	38.4	19.2	10.6			0.0	-7.5	
						17.4	27.6	28.8	15.5	10.5			0.2	-13.2	
					中	9.4	10.9	29.7	29.7	20.3			0.0	-7.5	
						16.9	24.2	28.5	16.4	13.8			0.1	-20.8	
61	65	114	60/ 68	調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	11.3	27.2	33.8	20.5	7.3			0.0	-8.0	
						19.3	33.5	30.8	12.0	4.2			0.2	-14.3	
					中	7.8	21.9	23.4	26.6	20.3			0.0	-7.0	
						14.8	27.4	31.8	17.8	8.0			0.1	-12.5	
62	66	114	61/ 69	前年度に、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童(生徒)が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか	小	0.0	3.3	9.9	11.9	20.5	54.3			0.0	-2.0
						2.0	4.4	11.8	12.6	24.4	44.7		0.1	-3.1	
					中	1.6	1.6	6.3	10.9	21.9	57.8			0.0	0.0
						1.6	3.4	10.6	11.5	23.9	49.0		0.1	-1.8	
63	67	115	62/ 70	教職員と家庭との中で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小	20.5	36.4	27.8	14.6				0.7	-16.0	
						36.5	35.2	22.0	6.1				0.1	-14.8	
					中	23.4	28.1	31.3	17.2				0.0	-14.7	
						38.1	34.8	21.1	5.8				0.1	-21.4	
64	68	115	63/ 71	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	7.9	3.3	58.3	18.5	3.3	8.6			0.0	-14.0
						21.9	14.3	50.1	7.3	1.0	5.3		0.1	-25.0	
					中	4.7	6.3	54.7	15.6	7.8	10.9			0.0	-21.9
						26.6	18.9	38.9	8.7	1.7	5.1		0.1	-34.5	
65	69	115	64/ 72	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援((65/69-2)の授業配信を含む)	小	11.9	4.6	9.9	6.0	11.3	31.1	25.2		0.0	-4.7
						16.6	10.3	11.9	8.0	8.6	20.2	24.3	0.1	-10.4	
					中	10.9	7.8	10.9	10.9	15.6	35.9	7.8		0.0	-15.8
						26.7	11.8	14.4	8.8	9.1	20.1	9.1	0.1	-19.8	
65	69	115	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)希望する不登校児童(生徒)に対する授業配信	小	11.3	5.3	5.3	2.6	7.3	24.5	43.7		0.0	-4.4
						15.7	6.7	6.2	4.2	5.8	17.2	44.0	0.2	-5.8	
					中	12.5	3.1	3.1	1.6	6.3	51.6	21.9		0.0	-16.2
						28.7	6.9	6.0	4.6	5.5	22.9	25.4	0.1	-20.0	

質問番号	掲載P	R5 番号	質問事項	校種	選択肢(質問の選択項目は、P103を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
65 -3	69 -3	115	64/ 72 -2	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	小	28.5	15.9	15.9	9.3	5.3	13.9	11.3	0.0	-3.0
					中	23.4	17.2	15.6	12.5	6.3	17.2	7.8	0.0	-10.3
65 -4	69 -4	115	64/ 72 -3	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)外国人児童(生徒)に対する学習活動等の支援	小	4.6	2.6	4.0	2.0	2.6	13.2	70.9	0.0	-5.0
					中	7.8	0.0	3.1	4.7	3.1	6.3	75.0	0.0	-3.5
65 -5	69 -5	116	64/ 72 -4	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童(生徒)の心身の状況の把握	小	18.5	1.3	2.6	7.9	9.9	41.7	17.9	0.0	-7.6
					中	29.7	0.0	0.0	6.3	10.9	50.0	3.1	0.0	-1.0
65 -6	69 -6	116	64/ 72 -5	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(6)児童(生徒)に対するオンラインを活用した相談・支援	小	1.3	0.0	2.6	3.3	9.9	58.9	23.8	0.0	-5.1
					中	4.7	0.0	0.0	4.7	14.1	71.9	4.7	0.0	-4.2
66 70	116	65/ 73	障害のある児童(生徒)が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援をどの程度行いましたか	小	2.6	10.6	12.6	6.0	67.5			0.7	-2.7	
				中	3.1	4.7	14.1	14.1	64.1			0.0	-1.8	
【特別支援教育】														
67 71	116	66/ 74	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)をどの程度行いましたか	小	39.1	55.6	4.0	1.3				0.0	-5.6	
				中	39.1	54.7	1.6	4.7				0.0	-2.0	
【小学校教育と中学校教育の連携】														
68 72	116	67/ 75	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	小	11.9	35.1	43.0	9.9				0.0	-6.9	
				中	24.8	44.2	25.2	5.6				0.2	-12.7	
【家庭や地域との連携等】														
69 73	116 117	70 78	職場見学を行っていますか 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	小	32.5	67.5						0.0	-10.7	
				中	6.3	48.4	45.3	0.0	0.0	0.0		0.0	-17.4	
70 74	117	74/ 82	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	小	35.8	55.6	4.6	1.3	2.6			0.0	-0.9	
				中	26.6	62.5	7.8	1.6	1.6			0.0	-2.0	
【家庭学習】														
71 75	117	76/ 84	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小	41.7	50.3	7.9	0.0				0.0	-5.5	
				中	18.8	68.8	12.5	0.0				0.0	-14.1	
72 76	117	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	小	29.8	53.6	15.9	0.7				0.0	-6.2	
				中	24.7	59.3	15.5	0.3				0.2	-16.8	
73 77	117	77/ 85	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか	小	15.9	62.9	20.5	0.7				0.0	-11.8	
				中	21.6	61.2	16.8	0.3				0.1	-3.1	
【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】														
74 78	117	78/ 86	令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	33.8	62.3	4.0					0.0	-0.8	
				中	27.1	67.0	5.8					0.1	-5.1	
75 79	118	79/ 87	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をどの程度行っていますか	小	27.2	67.5	4.6	0.7				0.0	-4.5	
				中	25.6	63.7	7.2	3.4				0.1	-3.3	
76 80	118	80/ 88	令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	小	8.6	66.9	24.5					0.0	-17.5	
				中	23.3	59.9	16.7					0.1	-17.6	

学校質問調査 選択肢一覧

※ 質問番号の 数/数は、(小学校の番号)/(中学校の番号)を示す。

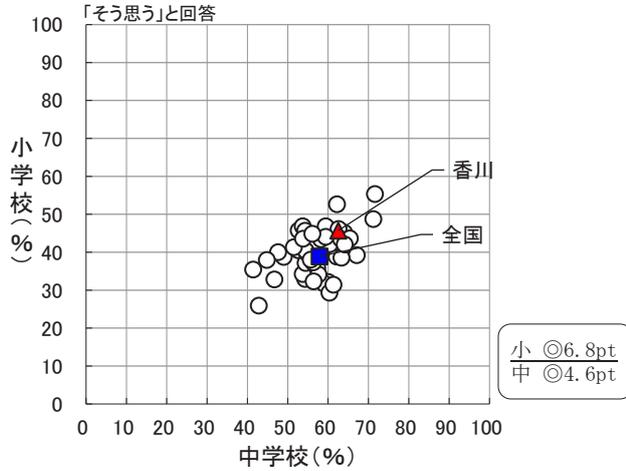
質問番号	選 択 肢
7、8、20~29、55/59	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
30~35、40~51、*/52~*/56、67/71、68/72、71/75~73/77	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行わなかった 4 全く行わなかった
9、10	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行わなかった 6 特に問題を抱えていなかった
11	1 十分に取り入れている 2 一部取り入れている 3 全く取り入っていない
12~18、36~39	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
19	1 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主事が担っている 2 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けており、研修主任もしくは研究主任が担っている 3 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、研究活動に関する業務を行う教員（研究主任等）が担っている 4 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、教務主任や主幹教諭が担っている 5 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、3や4の教員以外が担っている
52/*	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
53/57、56/60~61/65	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
54/58	1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 どちらかといえば、ない 4 ない
62/66	1 週1回以上 2 月1回以上 3 3ヶ月に1回以上 4 6ヶ月に1回以上 5 年1回以上 6 実施しなかった
63/67	1 よく活用している 2 どちらかといえば、活用している 3 あまり活用していない 4 全く活用していない
64/68	1 毎日持ち帰って、毎日利用させている 2 毎日持ち帰って、時々利用させている 3 時々持ち帰って、時々利用させている 4 持ち帰らせていない 5 持ち帰ってはいけないうこととしている 6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
65/69	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満 6 活用していない 7 該当する児童（生徒）がいない
66/70	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行わなかった 4 全く行わなかった 5 該当する児童（生徒）がいなかった
69	1 行っている 2 行っていない
*/73	1 実施しなかった 2 1日~2日 3 3日 4 4日 5 5日以上（連続して実施） 6 5日以上（分散して実施）
70/74	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 取組を行わなかった
74/78、76/80	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行わなかった
75/79	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 ほとんど行っていない 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない

4 学校質問調査 回答結果グラフ

【生徒指導等】

授業中の私語が少なく、落ち着いている

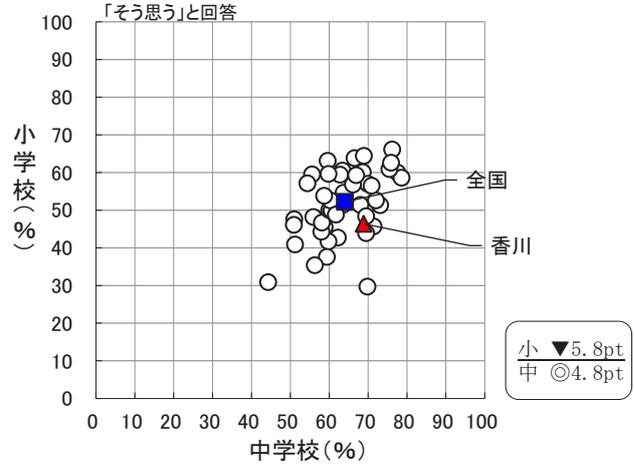
- 7/7 調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



【生徒指導等】

児童生徒が相談したい時に相談できる体制

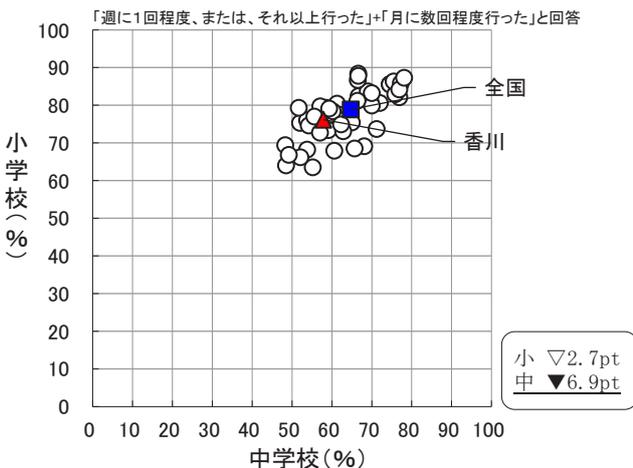
- 8/8 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

授業で問題を抱えた教員への対応

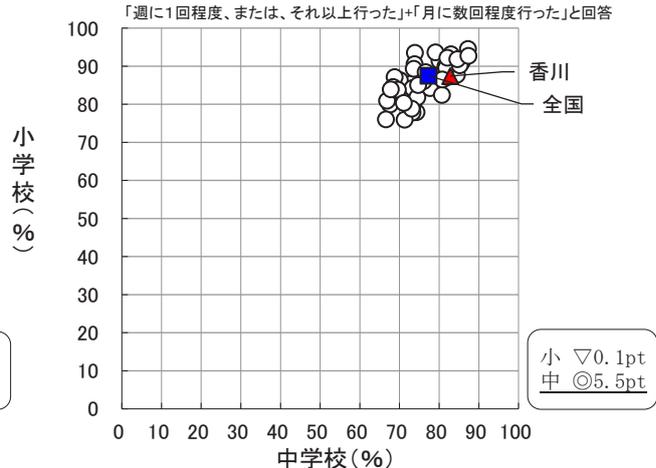
- 9/9 教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学級の問題を抱えた教員とともに問題解決

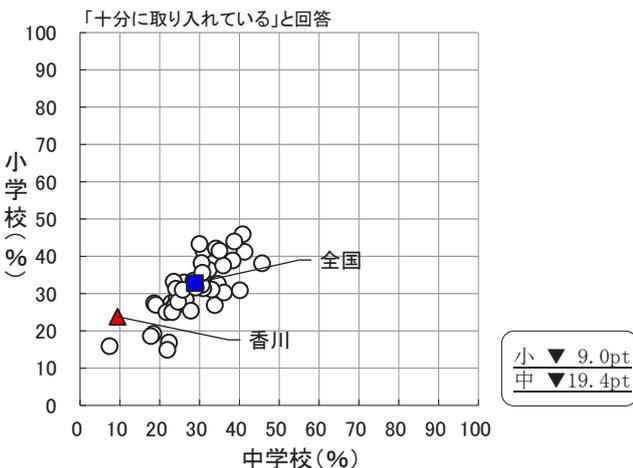
- 10/10 教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による校務の効率化への取組

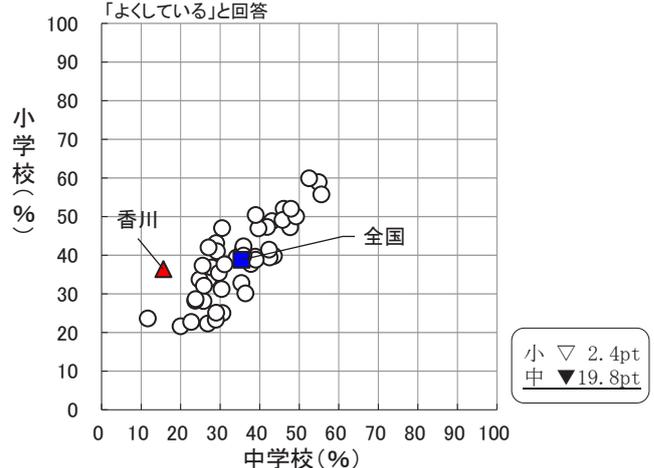
- 11/11 ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

教育内容を組織的に配列した指導計画の作成

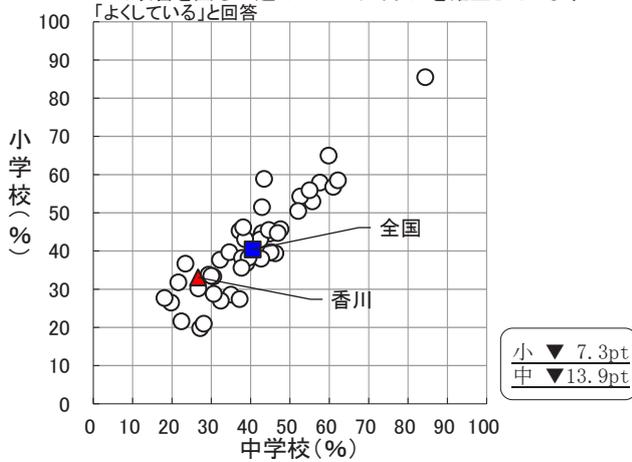
- 12/12 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

PDCA サイクルの確立

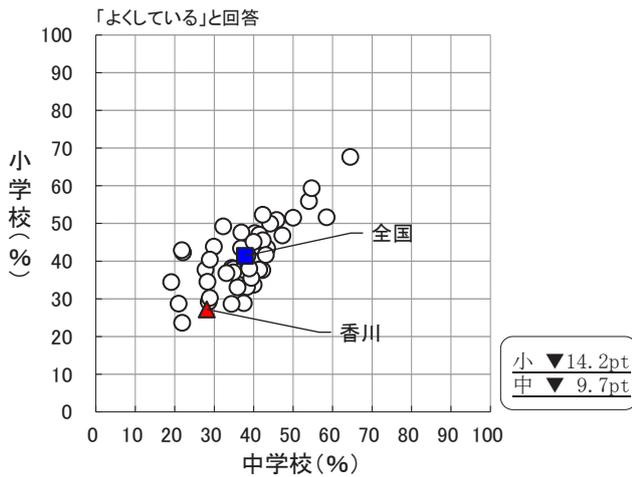
- 13/13 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

国語科を要とした言語活動

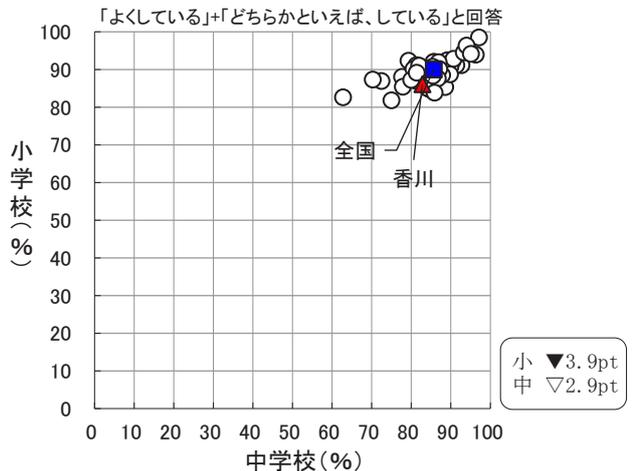
- 15/15 言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

課題解決し、まとめ、表現する学習活動を学ぶ校内研修

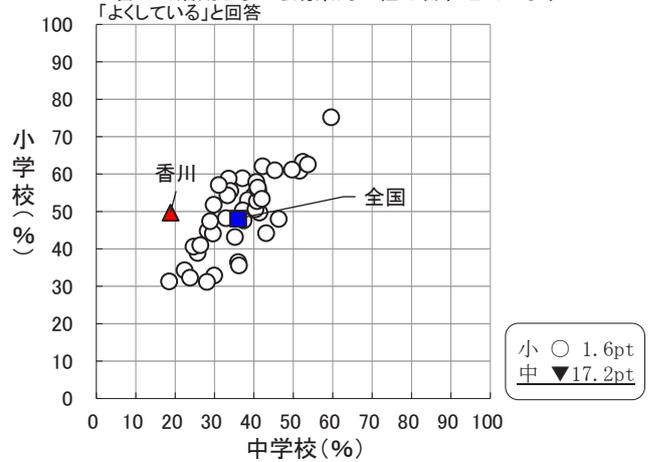
- 17/17 児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

人的・物的資源等の活用

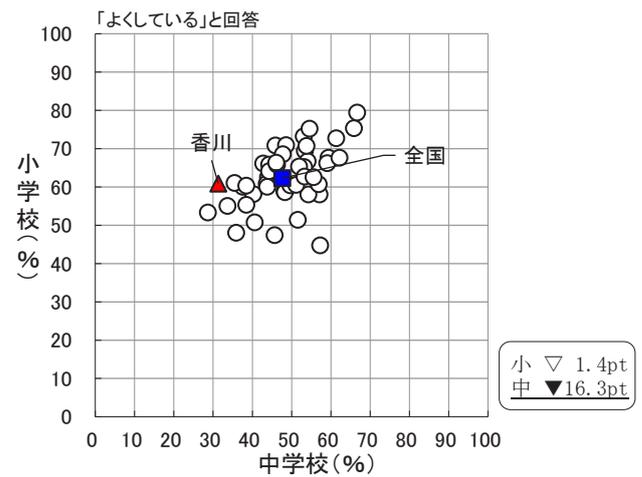
- 14/14 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

実践的な研修

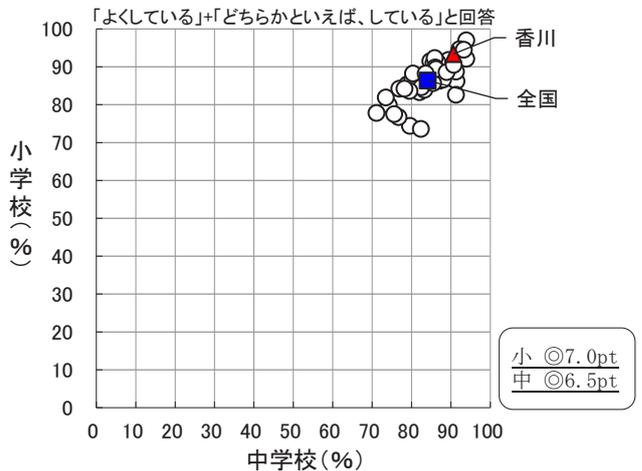
- 16/16 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校外での研修の機会

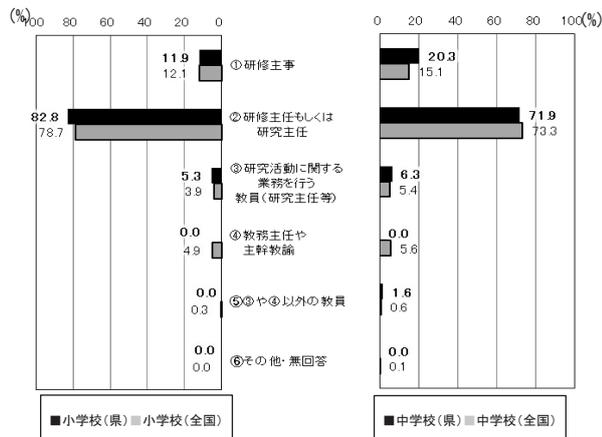
- 18/18 個々の教員が、自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

校内研修に関する業務を行う分掌

■ 19/19 校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

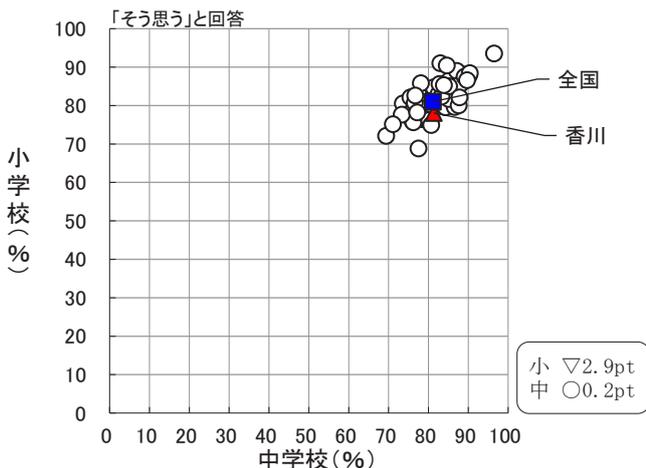


※回答選択肢の文言は、省略している。(P103 参照)

【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

多くの教職員での見取り、情報交換

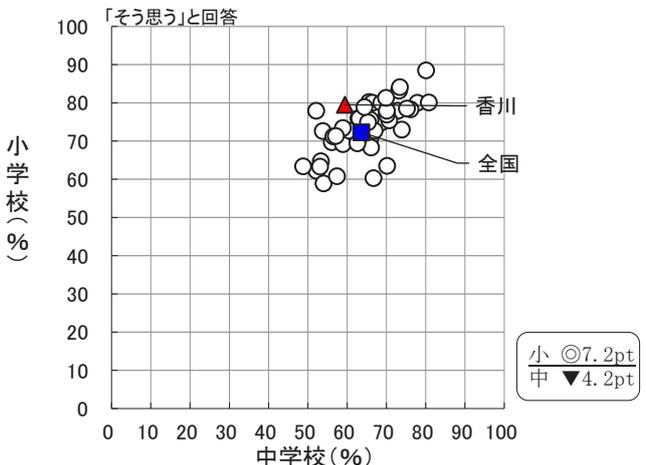
■ 21/21 各児童(生徒)の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

互いに相談できる雰囲気

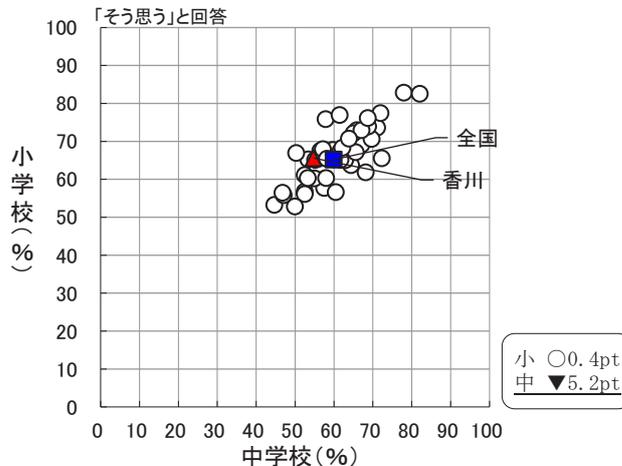
■ 23/23 教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思いますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

改善に向けた組織的な取組

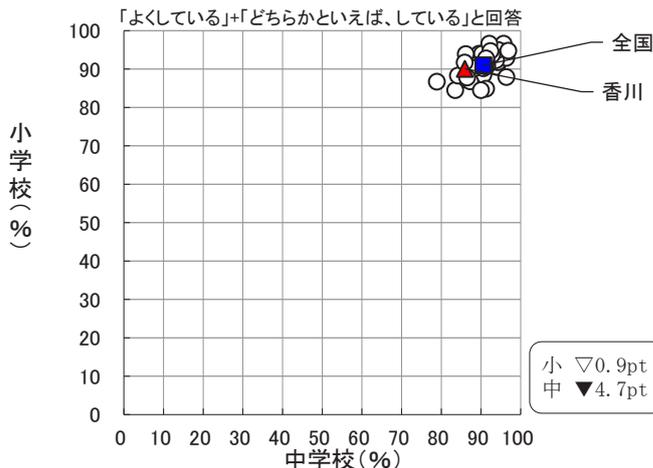
■ 20/20 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

新しい取組を導入したり提案をしたりする教職員

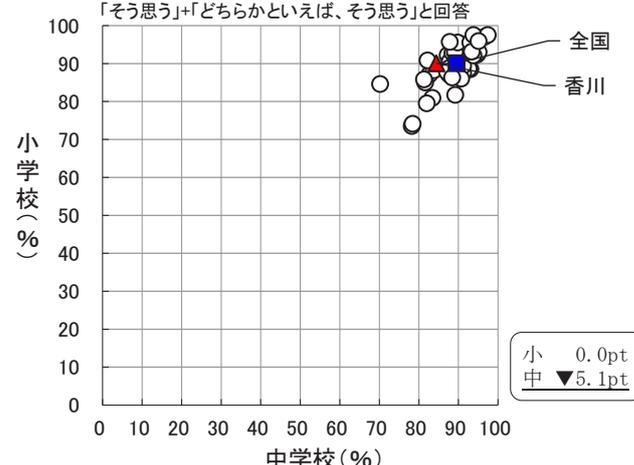
■ 22/22 今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

心身の健康状態につき振り返り対処する機会の提供

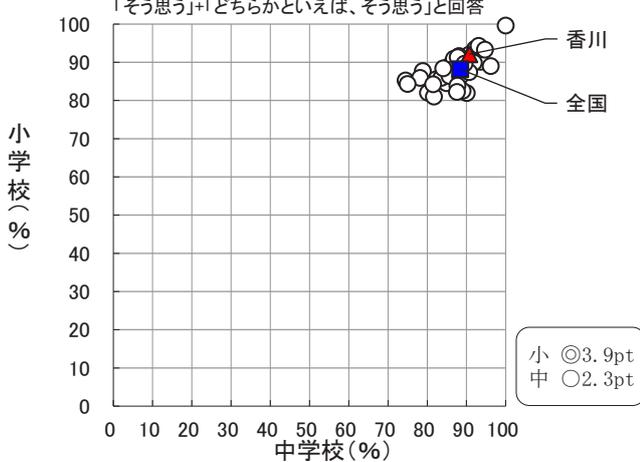
■ 24/24 ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

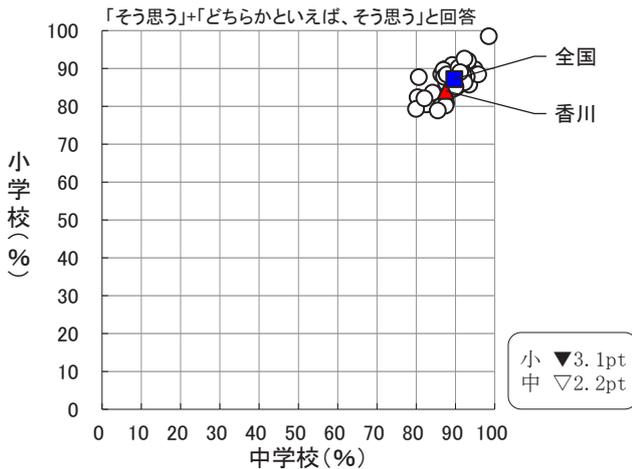
■ 25/25 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えをしっかりと伝えることができる

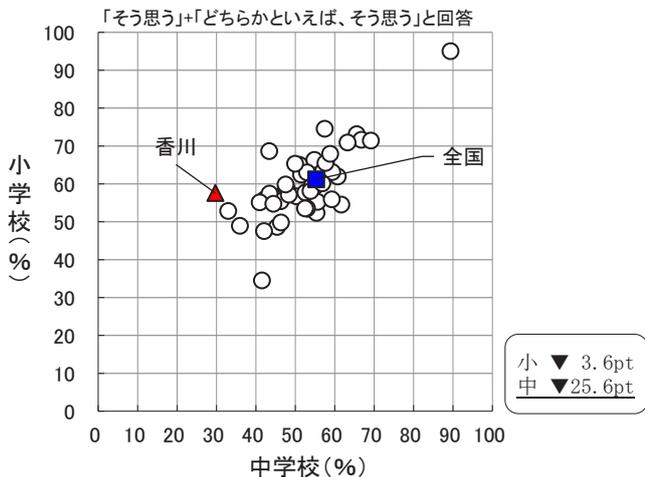
■ 27/27 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか
「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

児童生徒が自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動

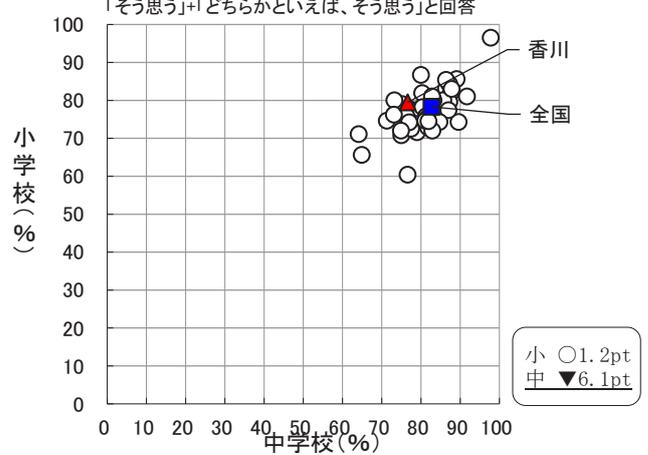
■ 29/29 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、児童(生徒)が自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか
「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考えがうまく伝わるよう工夫して発言できる

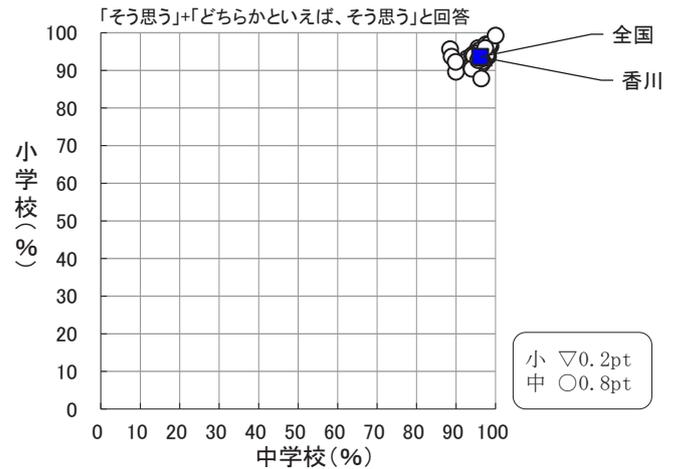
■ 26/26 調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか
「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

お互いに協力しながら課題の解決に取り組める

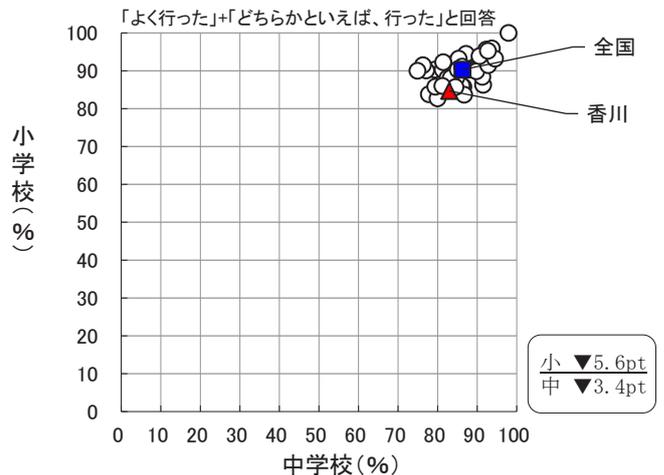
■ 28/28 調査対象学年の児童(生徒)は、授業や学校生活では、児童(生徒)が、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか
「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

個に応じた学習課題や活動の工夫

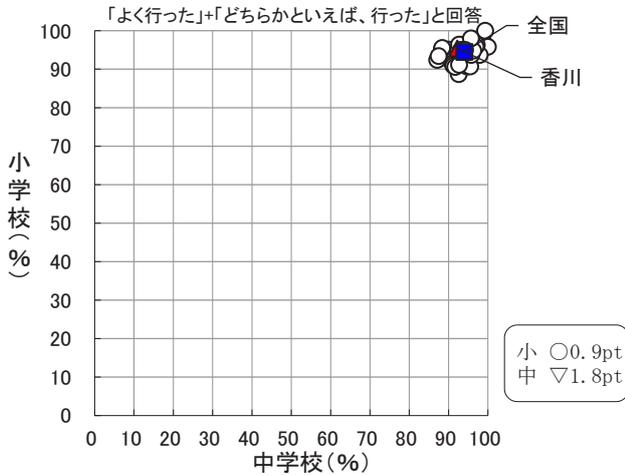
■ 30/30 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか
「よく行った」+「どちらかといえば、行った」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

個を生かす学習課題や活動の工夫

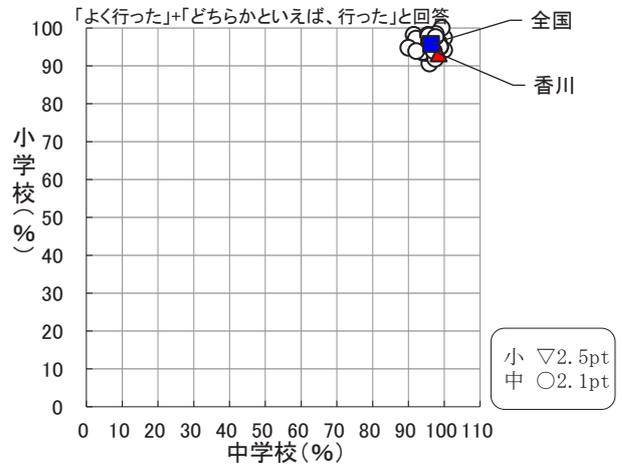
■ 31/31 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考えを引き出したり思考を深めたりする発問や指導

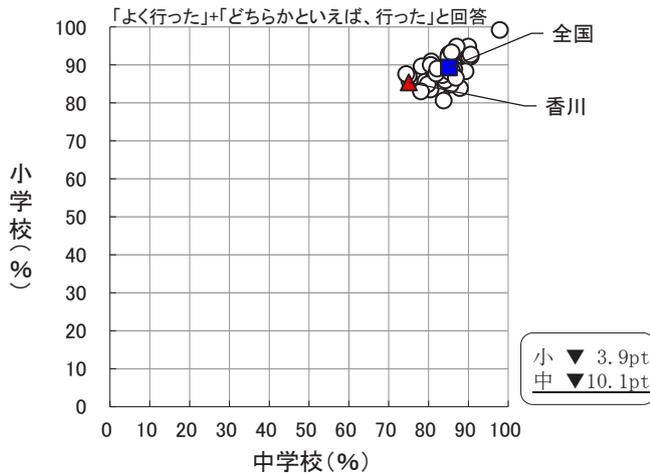
■ 32/32 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

児童生徒自ら課題を設定し、解決に向けて取り組む

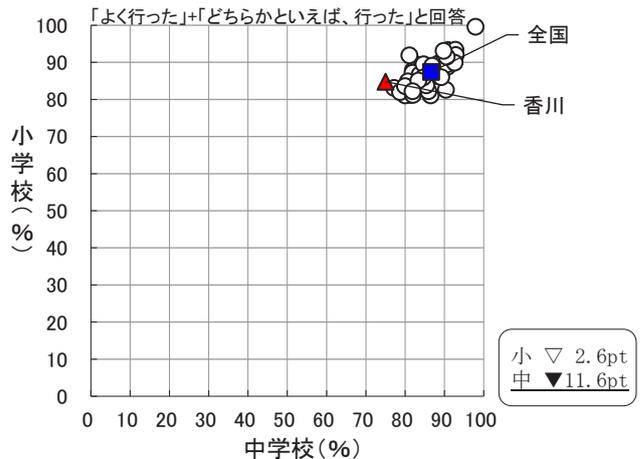
■ 33/33 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導

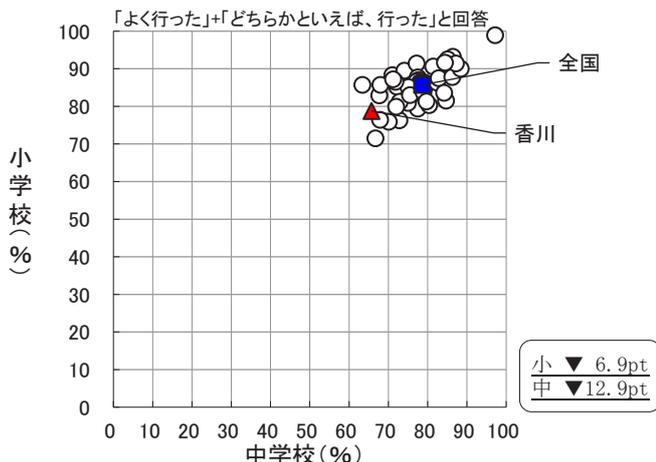
■ 34/34 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会

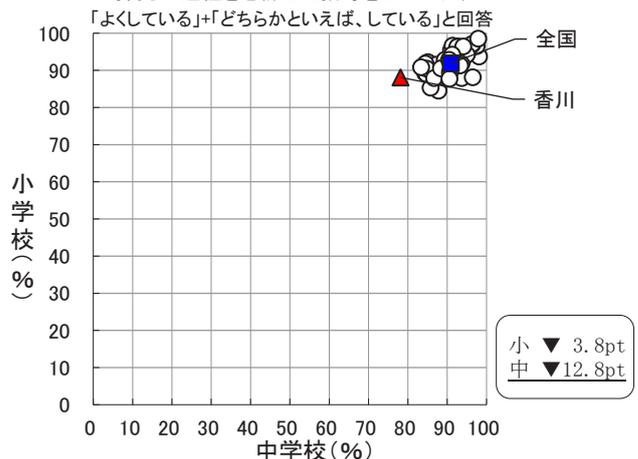
■ 35/35 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】

総合的な学習の時間の指導

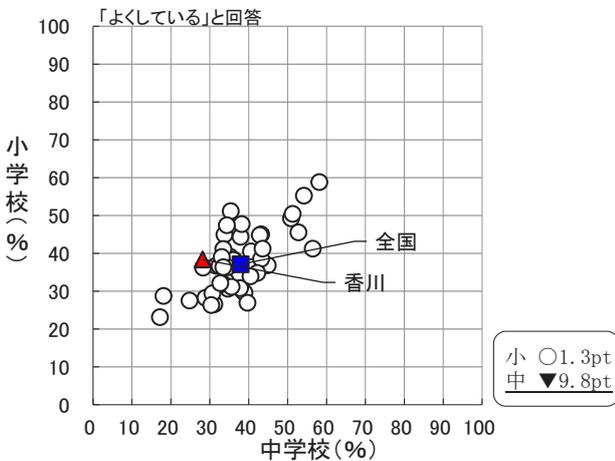
■ 36/36 調査対象学年の児童(生徒)に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】

学級活動において合意形成できるような指導

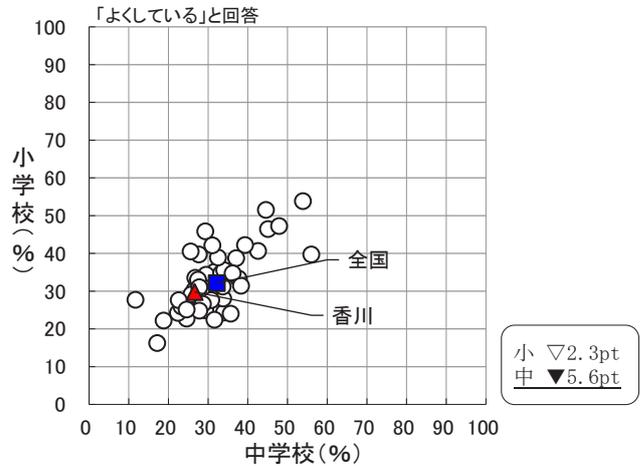
- 37/37 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】

学級活動において意思決定できるような指導

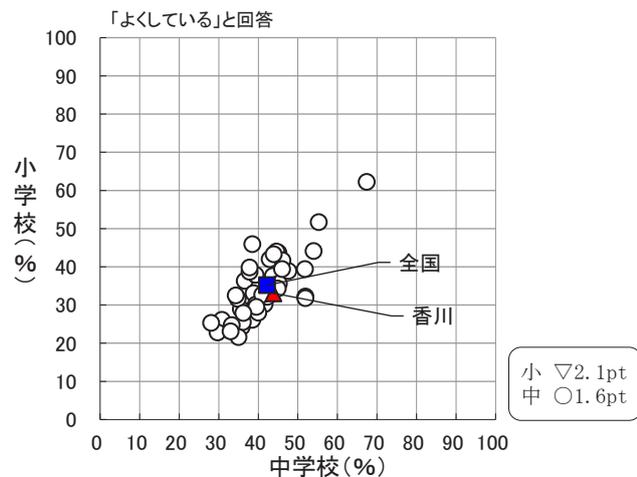
- 38/38 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】

考え、議論する道徳の指導

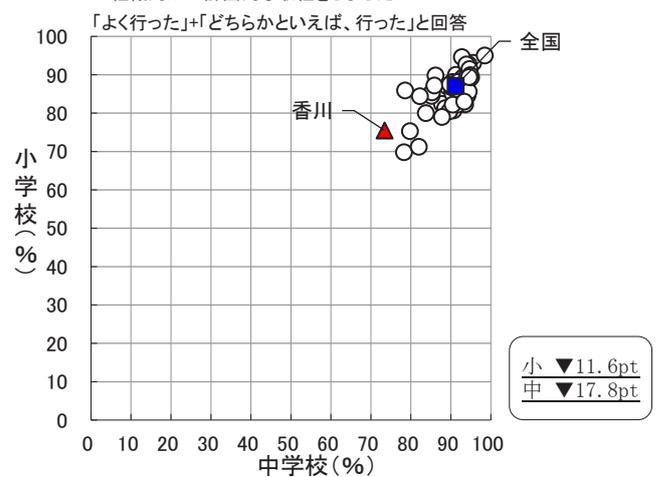
- 39/39 調査対象学年の児童(生徒)に対して、特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



【学習評価】

学習評価の組織的・計画的な取組

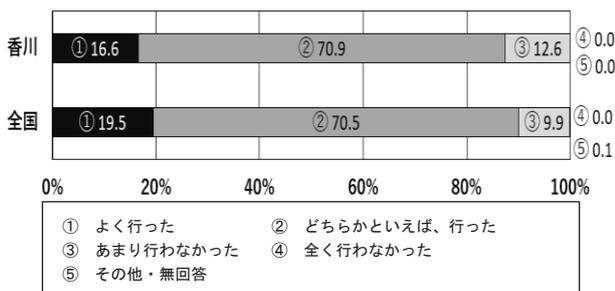
- 40/40 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか



【国語科の学習指導方法】

関係付けの仕方や表し方を理解し使うための指導

- 41/* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか

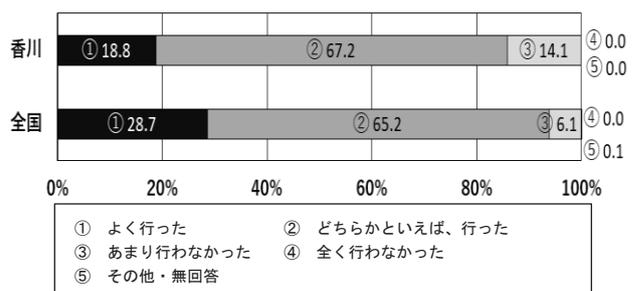


①の差 ①+②の差
小 ▼2.9pt 小 ▼2.5pt

【国語科の学習指導方法】

情報と情報との関係を捉えて理解する指導

- */41 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか

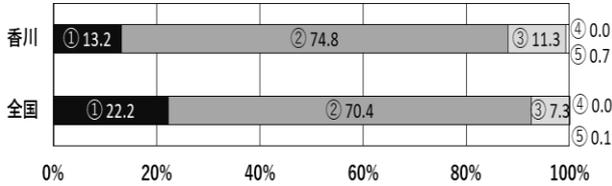


①の差 ①+②の差
中 ▼9.9pt 中 ▼7.9pt

【国語科の指導方法】

目的や意図、場面の状況に応じて、話す内容を検討する指導

- 42/* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか



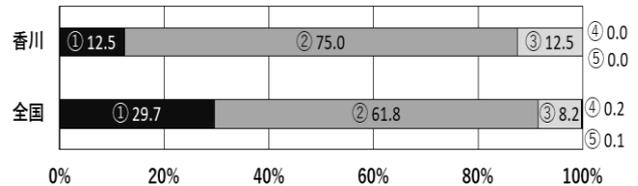
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼9.0pt
①+②の差 小 ▼4.6pt

【国語科の指導方法】

互いの発言を結び付けて考えをまとめる指導

- */42 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか



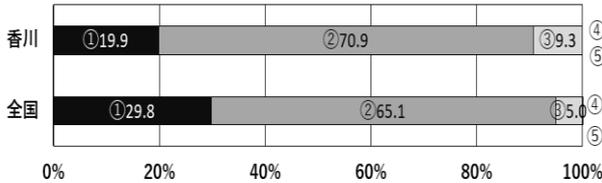
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼17.2pt
①+②の差 中 ▼4.0pt

【国語科の指導方法】

目的や意図に応じて、書き表し方を工夫して文章を書く指導

- 43/* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか



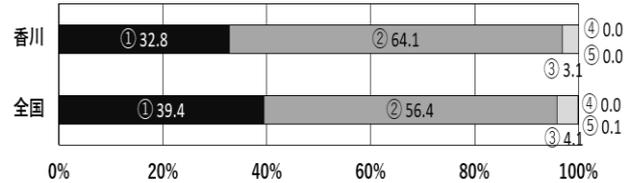
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼9.9pt
①+②の差 小 ▼4.1pt

【国語科の指導方法】

表現の効果を考えて書く指導

- */43 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか



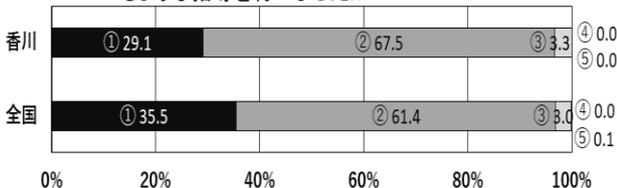
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼6.6pt
①+②の差 中 ○1.1pt

【国語科の指導方法】

物語の全体像を想像し、表現の効果を考えて読む指導

- 44/* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか



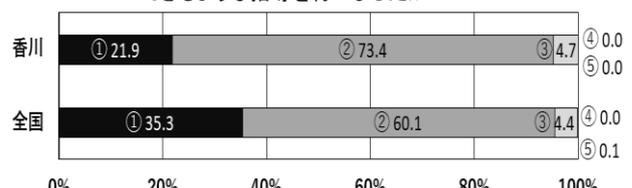
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼6.4pt
①+②の差 小 ▼0.3pt

【国語科の指導方法】

目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する指導

- */44 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行いましたか



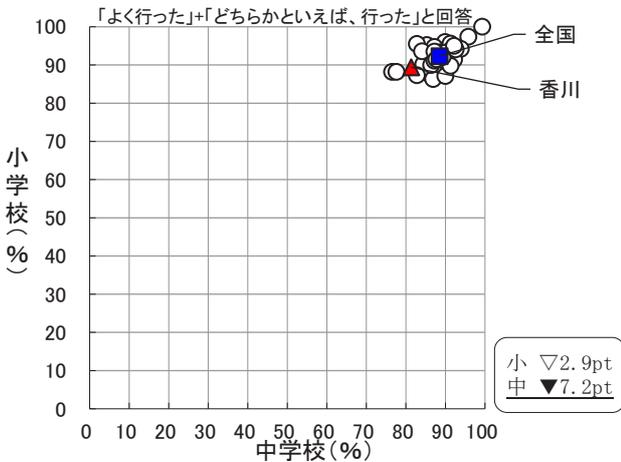
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼13.4pt
①+②の差 中 ▼0.1pt

【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った指導

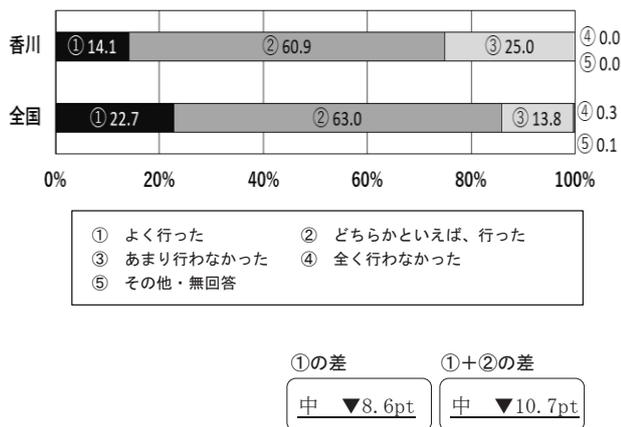
- 45/45 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

活動を通じた数量や図形の授業

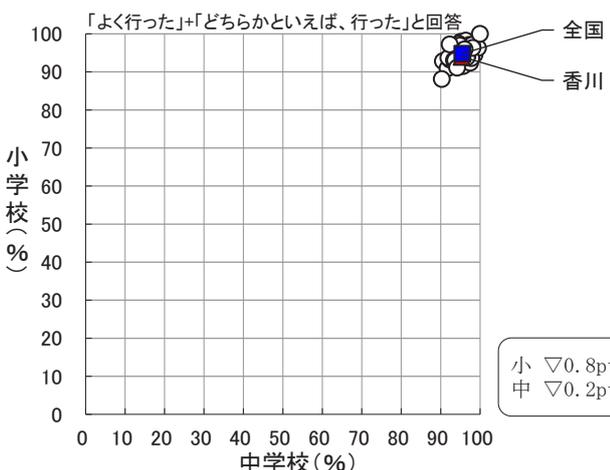
- */46 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

児童生徒のつまずきを想定した指導

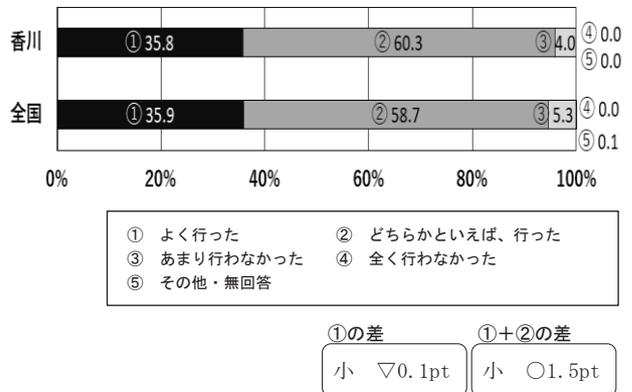
- 48/48 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、児童(生徒)がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

体験を伴った数量や図形の授業

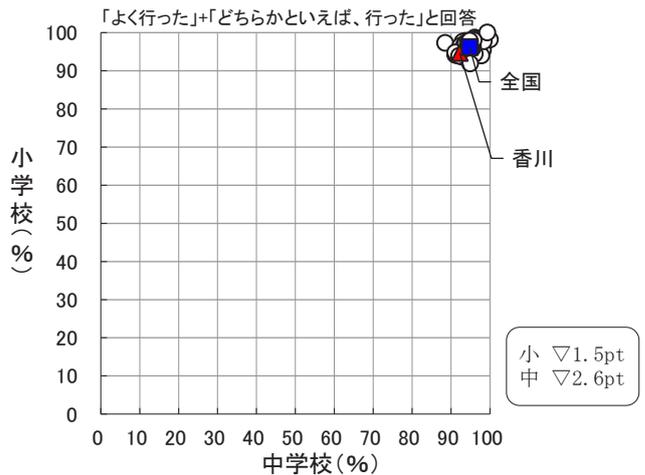
- 46/* 調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

児童生徒が筋道を立てて説明する授業

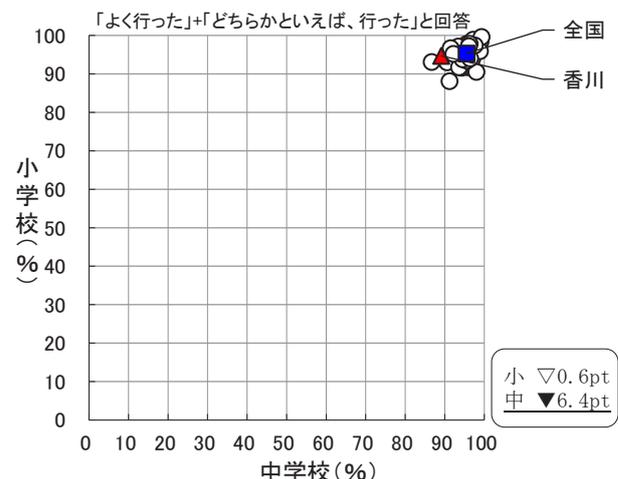
- 47/47 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童(生徒)に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか



【理科の指導方法】

自然の事物・現象から問題を見いだす指導

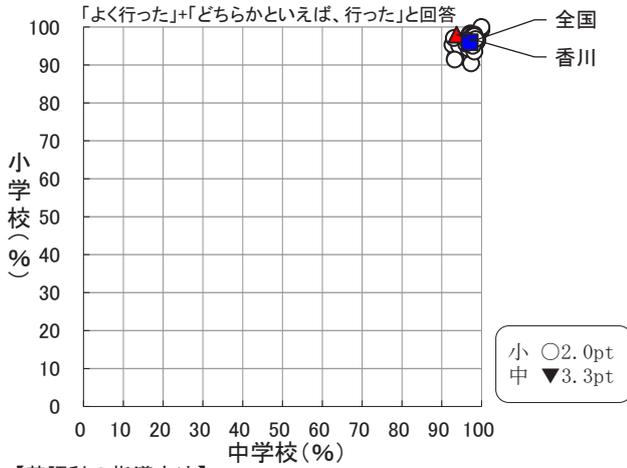
- 49/49 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか



【理科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

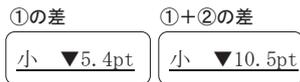
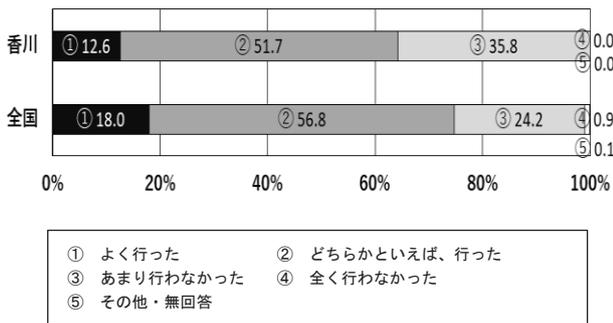
- 50/50 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【英語科の指導方法】

外国語教育の充実に向けた学校の取組

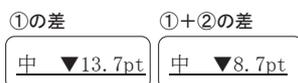
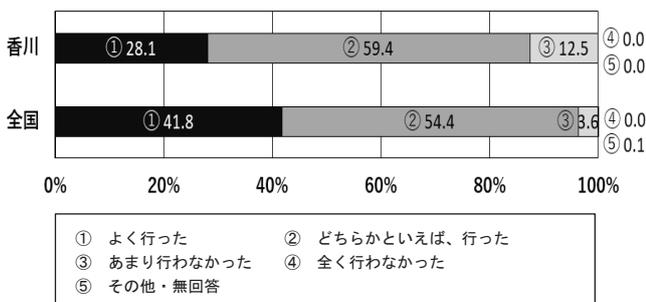
- 52/* 学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか



【英語科の指導方法】

英語を読んで、概要や要点を捉える言語活動

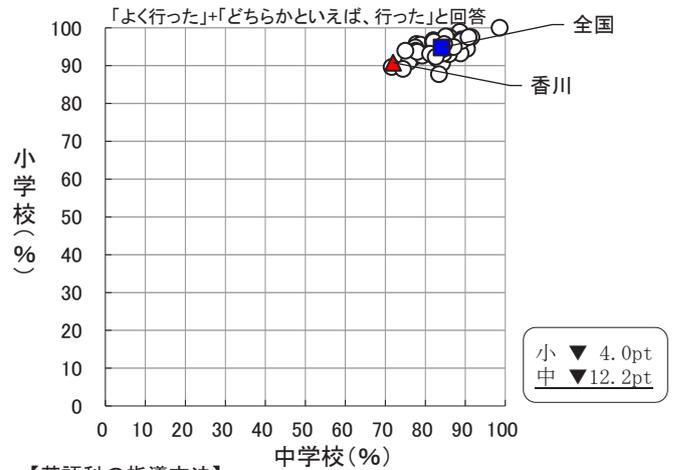
- */53 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか



【理科の指導方法】

自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てる指導

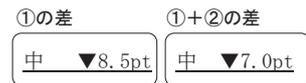
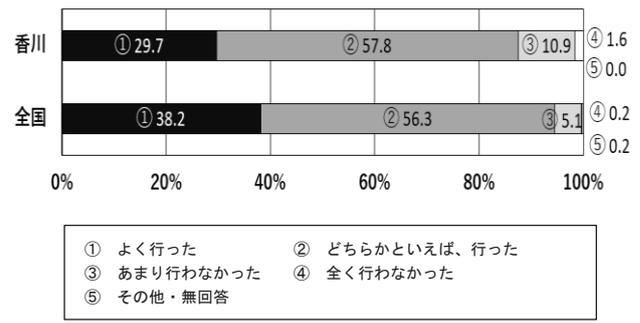
- 51/51 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか



【英語科の指導方法】

英語を聞いて、概要や要点を捉える言語活動

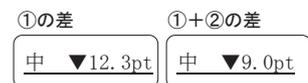
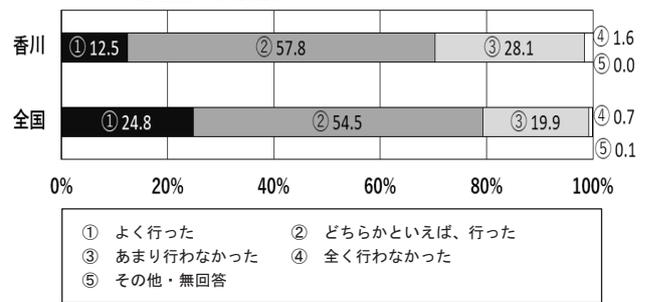
- */52 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか



【英語科の指導方法】

即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動

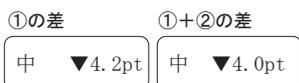
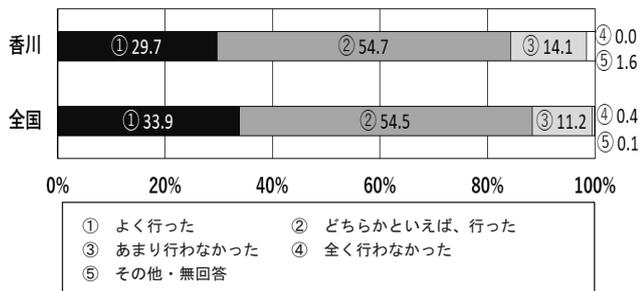
- */54 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか



【英語科の指導方法】

まとまった内容を英語で発表する言語活動

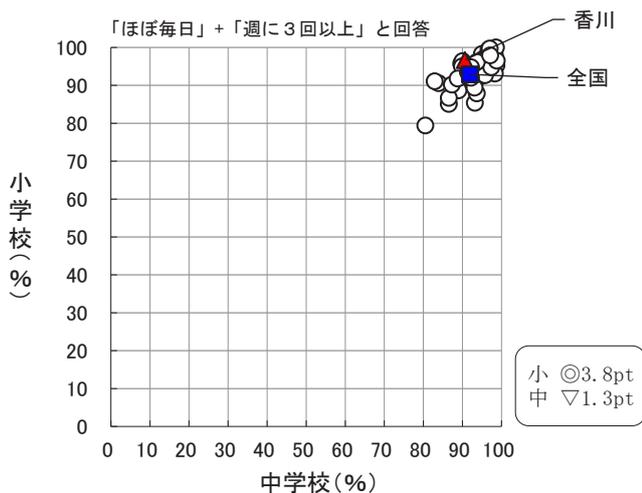
- * /55 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

大型提示装置等のICT機器を活用した授業

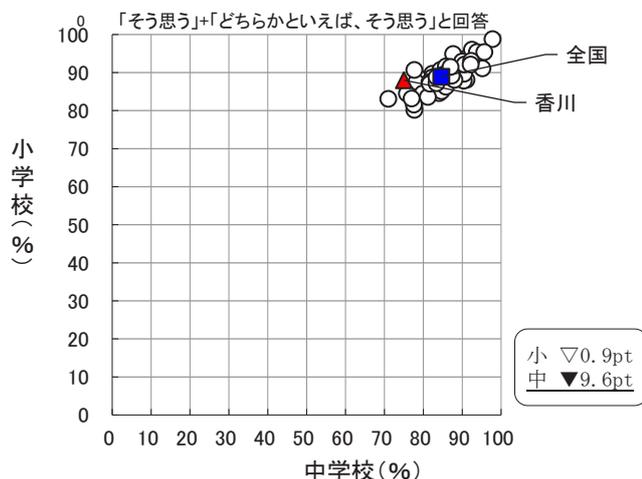
- 53/57 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

校外内におけるサポート

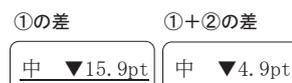
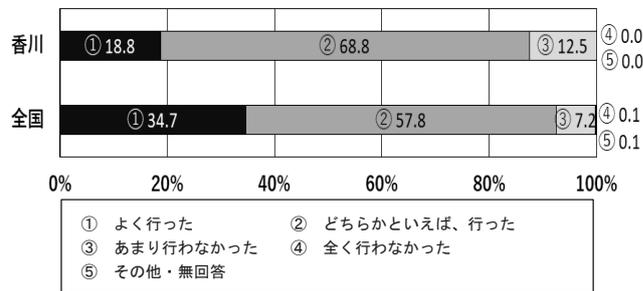
- 55/59 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか



【英語科の指導方法】

自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動

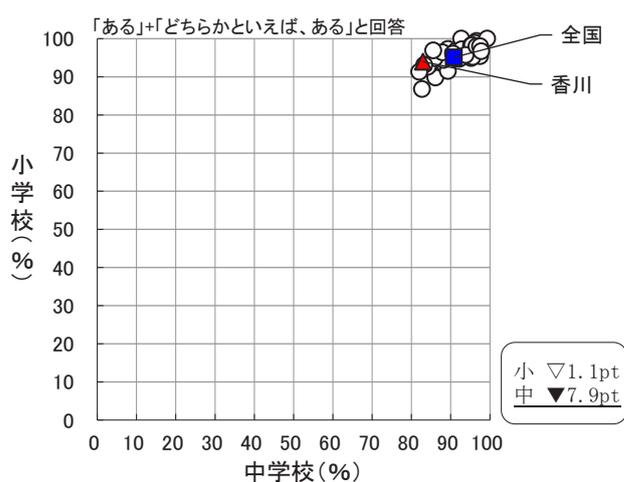
- * /56 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器の使い方を学ぶ研修機会

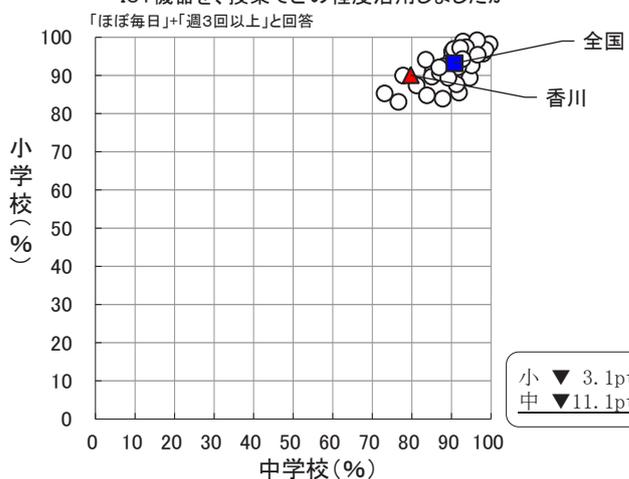
- 54/58 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか



【ICTを活用した学習状況】

1人1台端末の授業での活用

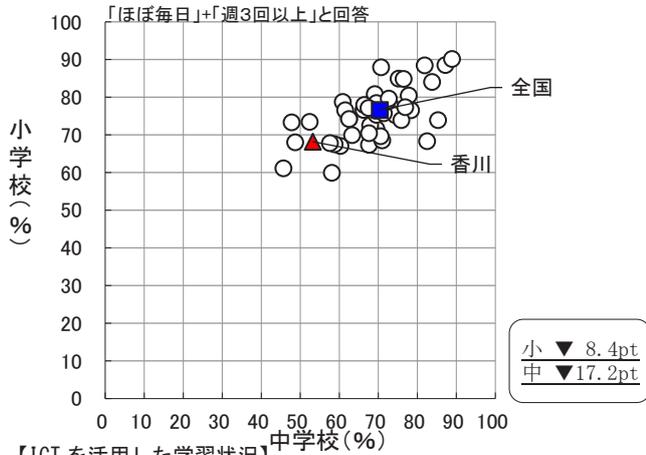
- 56/60 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



【ICTを活用した学習状況】

自分で調べる場面における1人1台端末の活用

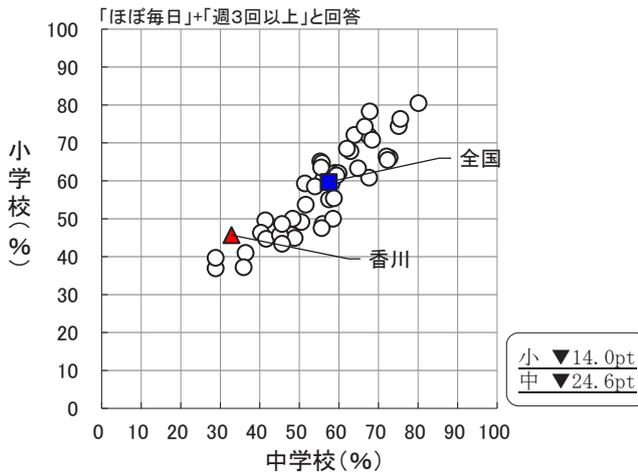
■ 57/61 調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

教職員と児童生徒がやりとりをする場面における1人1台端末の活用

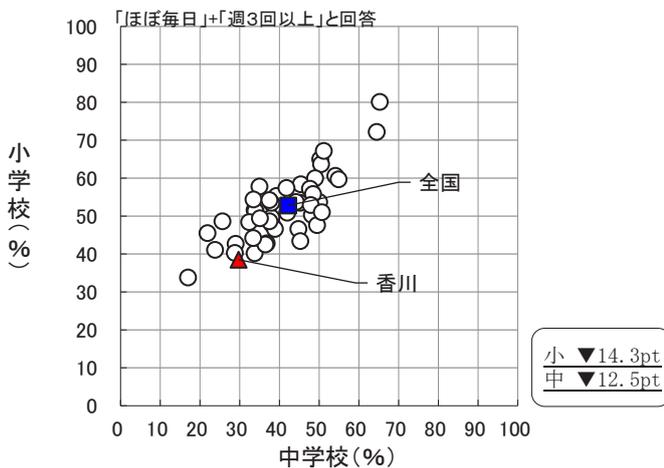
■ 59/63 教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

児童生徒の特性や理解度・進度に合わせた1人1台端末の活用

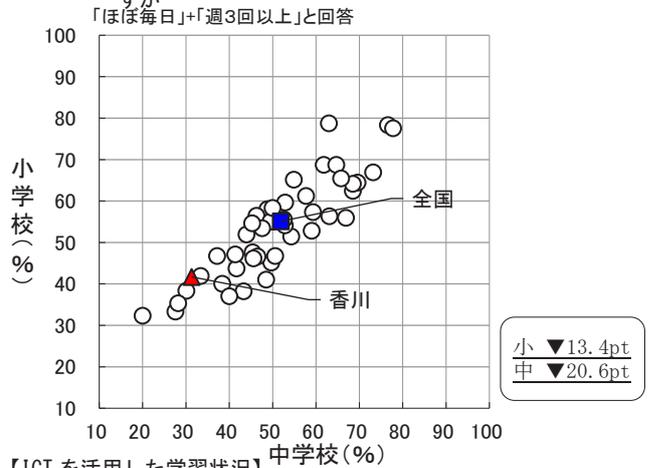
■ 61/65 調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

考えをまとめ、発表・表現する場面における1人1台端末の活用

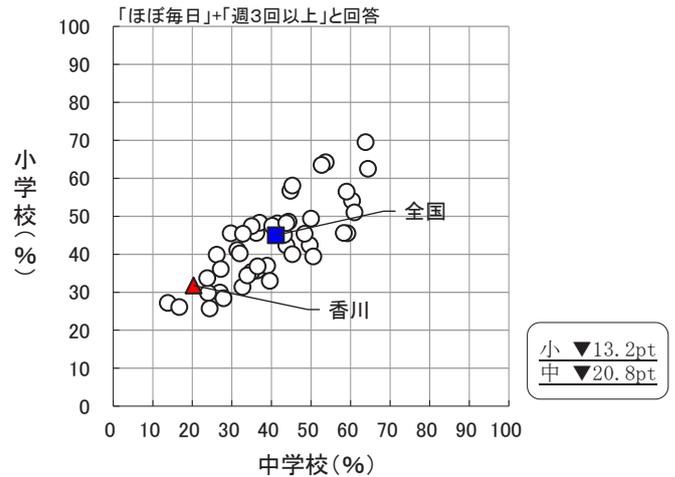
■ 58/62 調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

児童生徒がやりとりをする場面における1人1台端末の活用

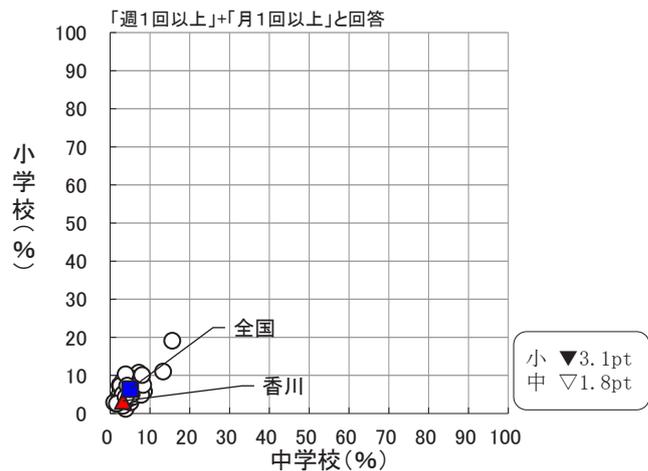
■ 60/64 調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

学校外の人々とやりとりする場面における1人1台端末の活用

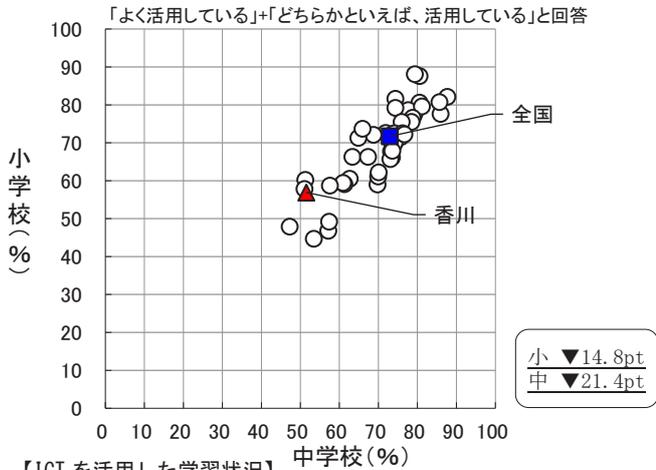
■ 62/66 前年度に、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童(生徒)が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を活用した教職員と家庭との連絡

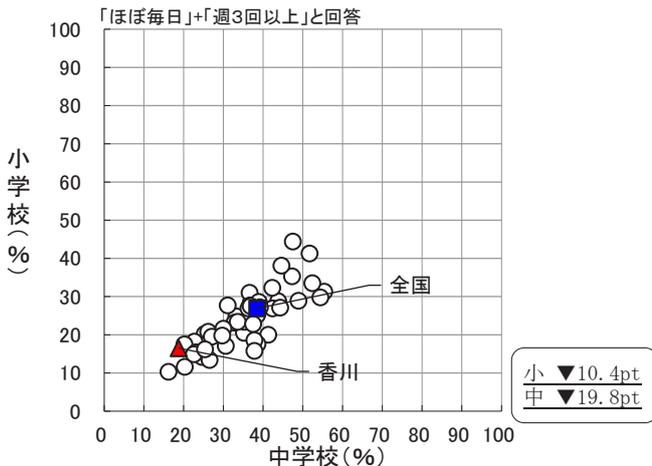
- 63/67 教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか



【ICT を活用した学習状況】

不登校児童生徒に対する 1 人 1 台端末の活用

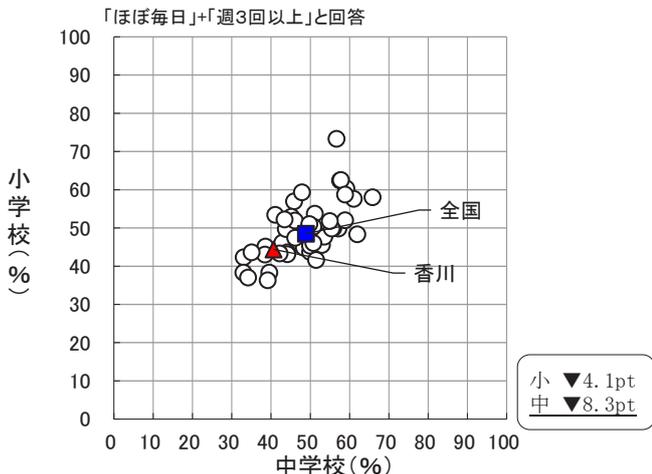
- 65-1/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか((65-2)の授業配信を含む)



【ICT を活用した学習状況】

特別な支援を要する児童生徒に対する 1 人 1 台端末の活用

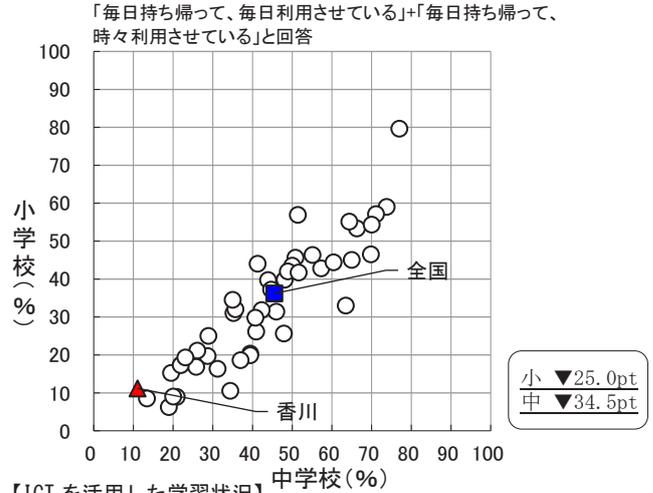
- 65-3/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【ICT を活用した学習状況】

1 人 1 台端末の家庭での活用

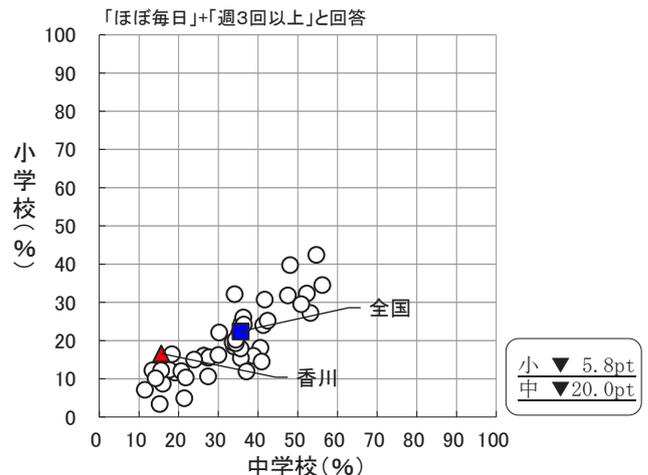
- 64/68 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



【ICT を活用した学習状況】

希望する不登校児童生徒に対する授業配信

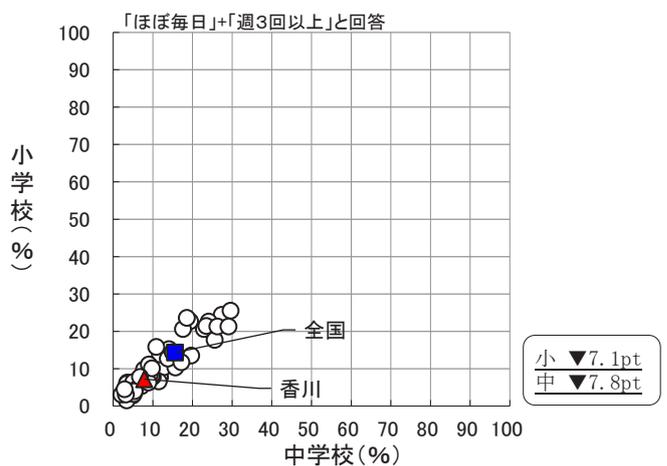
- 65-2/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校児童(生徒)に対する授業配信にどの程度活用していますか



【ICT を活用した学習状況】

外国人児童生徒に対する 1 人 1 台端末の活用

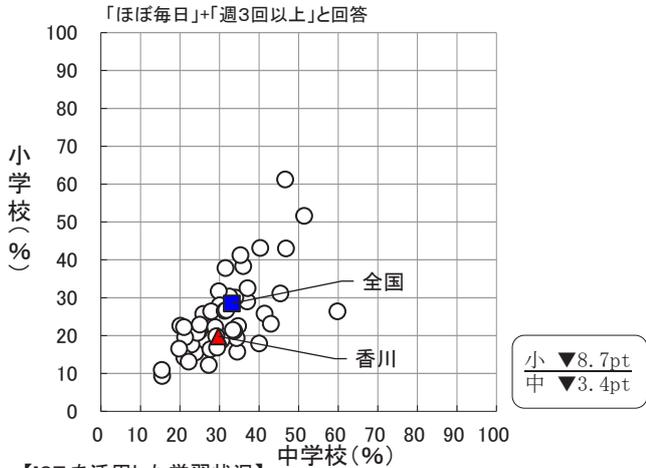
- 65-4/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、外国人児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

心身の状況の把握における1人1台端末の活用

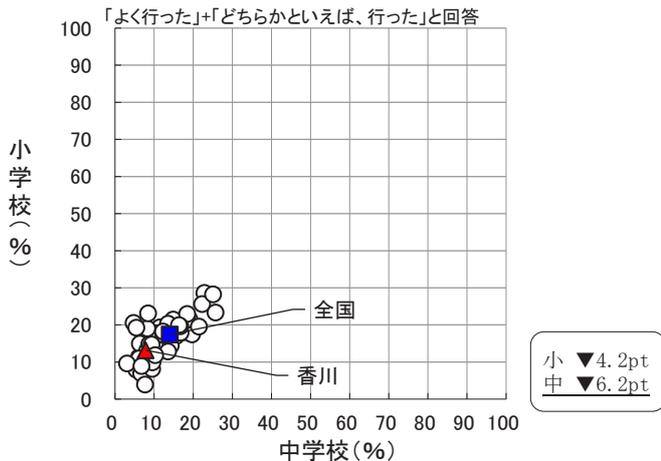
- 65-5/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)の心身の状況の把握にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

特性や発達の段階に応じた支援の実施

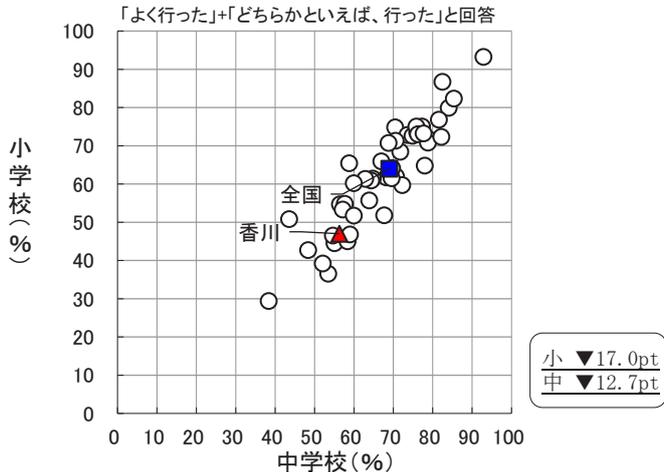
- 66/70 障害のある児童(生徒)が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置(※)等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか
※障害により情報機器端末の入出力自体に困難を抱えた児童(生徒)のための支援装置(例:音声読み上げソフト、点字ディスプレイ、音声文字変換システム、視線入力装置、ボタンマウス、プレススイッチ等)



【小学校教育と中学校教育との連携】

小・中学校の教育課程に関する共通の取組

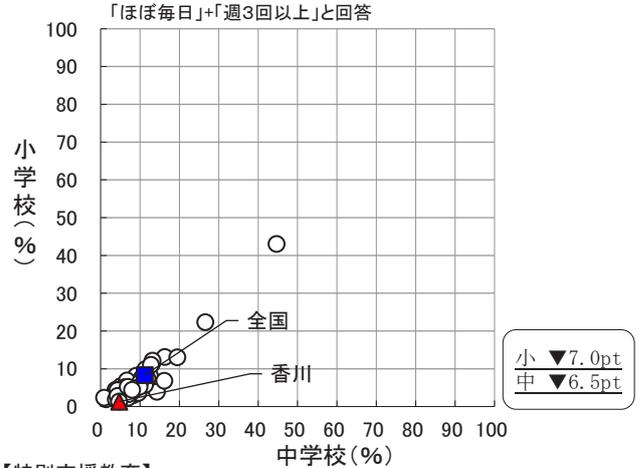
- 68/72 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

オンラインを活用した相談における1人1台端末の活用

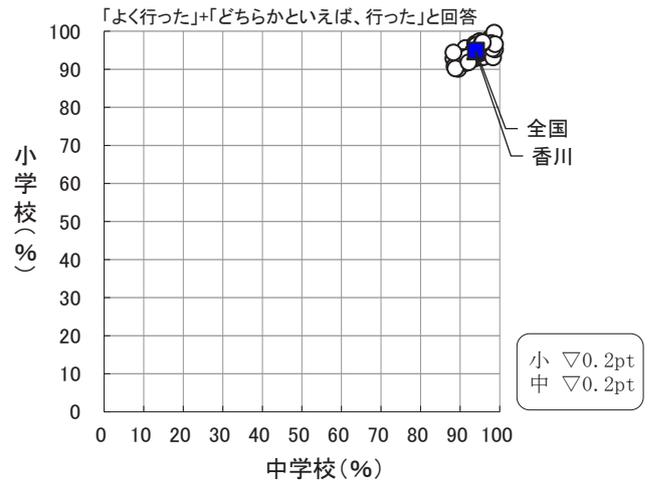
- 65-6/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)に対するオンラインを活用した相談・支援にどの程度活用していますか



【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

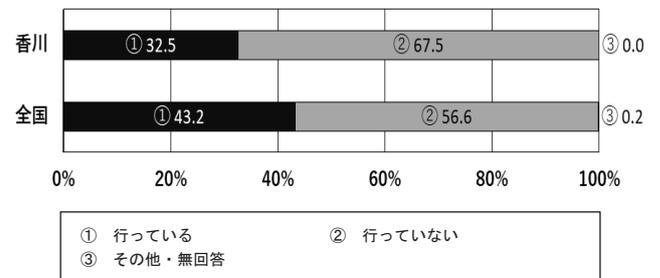
- 67/71 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象である第6学年の児童(第3学年の生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

職場見学の実施

- 69/* 職場見学を行っていますか



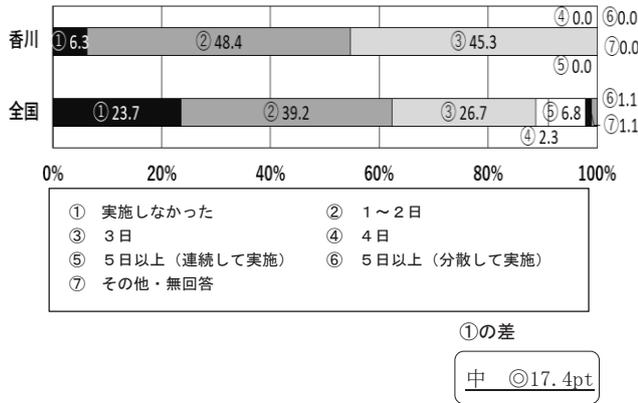
①の差

小 ▼10.7pt

【家庭や地域との連携等】

職場体験活動の実施

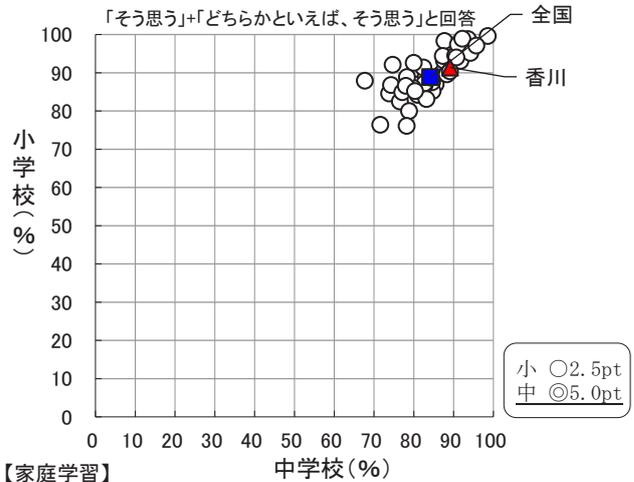
■ */73 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか



【家庭や地域との連携等】

コミュニティ・スクール等の取組による相互理解

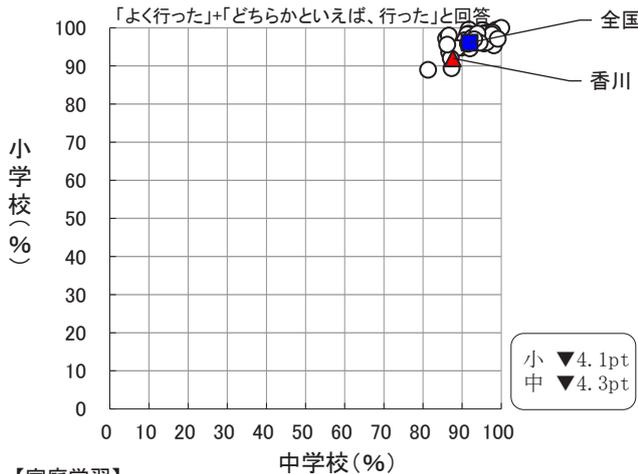
■ 70/74 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導

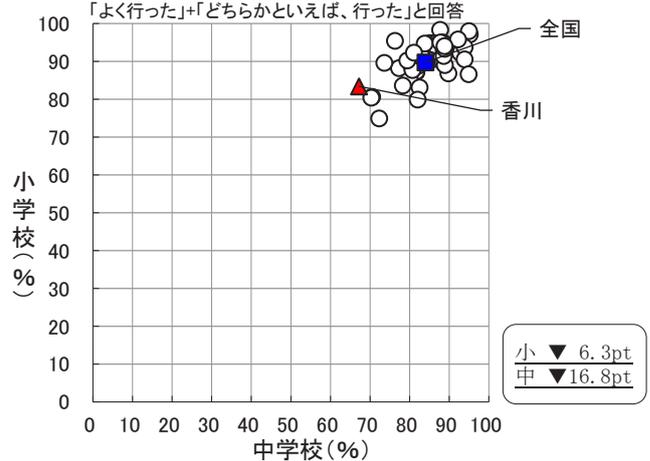
■ 71/75 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか



【家庭学習】

児童生徒が自分で工夫して取り組める活動

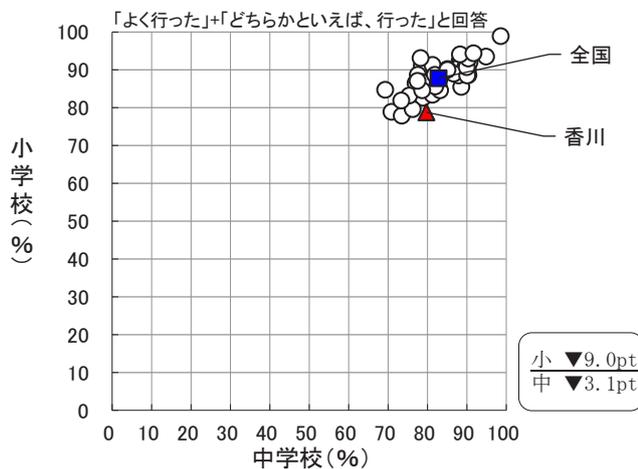
■ 72/76 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか



【家庭学習】

家庭学習の課題を指導改善や学習改善に生かす

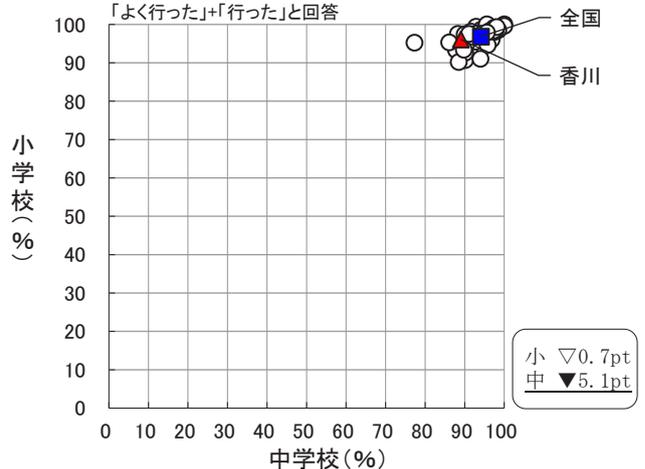
■ 73/77 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

学校全体で、教育活動を改善するために活用

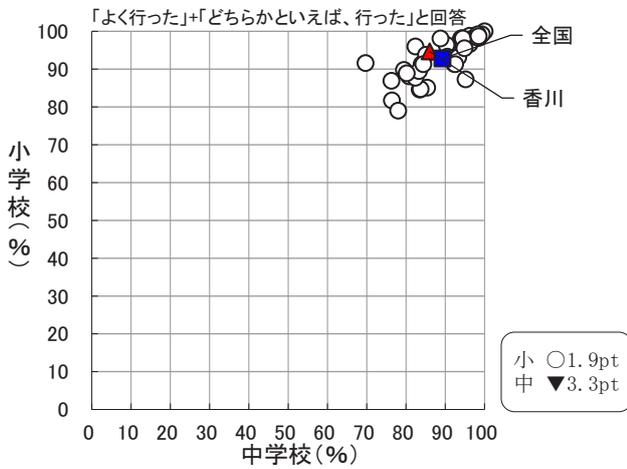
■ 74/78 令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

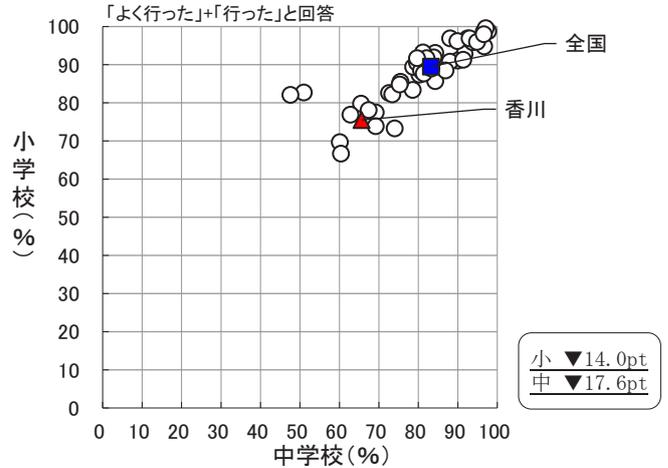
- 75/79 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

自校の結果の公表や説明

- 76/80 令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含みます)



香川県教育センターWeb サイトからも報告書をご覧になれます！

本報告書は、香川県教育センターWeb ページにも PDF 版を掲載しております。過年度の報告書もご覧いただくことができます。学習指導の改善にぜひご活用ください。

香川県
教育センター
Web サイト



<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/>

「子ども主体の授業改善」のページから見ることができます。